



欠

**MISSING**

# ● 京城府第二部特別經濟第八回 教育公債條例

昭和十五年六月二十五日  
條例第二十一號

- 第一條 本公債ハ小學校校舍建築費及校地擴張費ニ充ツル爲昭和十五年  
年度ニ於テ之ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ發行額ハ額面九十一萬七千圓トス
- 第三條 本公債ノ證券ハ無記名利札附トシ五千圓及千圓ノ二種トス
- 第四條 本公債ノ元金及利子ハ京城府第二部特別經濟ノ一般歳入ヲ以  
テ之ヲ支辨ス
- 第五條 本公債ハ特ニ指定シタル銀行又ハ相當ノ資格アル者ヲシテ之  
ヲ引受ケシムルコトヲ得
- 第六條 本公債ノ元金ハ昭和十六年九月ヨリ昭和三十四年九月迄ニ別  
表ノ通之ヲ償還ス但シ財政ノ都合ニ依リ定額以上ヲ償還シ又ハ償還  
年限ヲ短縮シ若ハ本公債ノ全部ヲ一時ニ償還スルコトアルベシ
- 第七條 本公債ノ利子ハ一年ニ付額面金額ノ百分ノ四、三以內トシ毎  
年三月及九月ニ於テ前六月分ヲ支拂フ但シ六月ニ滿チザル期間ニ對  
スル利子ハ日割ヲ以テ計算ス

第三編 第二部特別經濟例規 第五類 會計

〔京城例三〕

- 第八條 本公債ノ元金又ハ利子ハ證券又ハ利札ト引換ニ特ニ指定シタ  
ル銀行又ハ會社ヲシテ之ガ償還又ハ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第九條 本公債ノ證券又ハ利札ヲ紛失又ハ滅失シタルトキハ其ノ種類  
及番號ヲ府尹ニ届出デ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得  
但シ證券又ハ利札ガ償還期日ノ確定シタルモノ又ハ支拂期日ノ到達  
シタルモノナルトキハ現金ノ支拂ヲ請求スベシ
- 第十條 前條ノ規定ニ依リ請求アリタルトキハ左ノ條件ヲ具備スル場  
合ニ限り代證券若ハ代利札又ハ現金ヲ交付スルコトヲ得  
一 府尹ニ於テ相當ト認ムル保證人二人以上ノ連署ヲ以テ該證券又  
ハ利札ニ對シ除權判決アリタルコトヲ證明シタルトキ  
二 原證券又ハ原利札ヲ提出シタル者アル場合ニハ該代證券若ハ代  
利札又ハ現金ヲ返還スベキ旨ヲ約シ且府尹ニ於テ相當ト認ムル擔  
保ヲ提供シタルトキ  
前項ノ保證人ハ除權判決ノ取消アルトキハ請求人ト連帶シテ府ノ損  
害ヲ賠償スルコトヲ要ス
- 第十一條 本公債ノ證券又ハ利札ヲ汚損又ハ毀損シタルトキハ該證券  
又ハ利札ヲ提出シテ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但  
シ其ノ眞偽ヲ判別シ難キモノニ付テハ前條ノ例ニ依ル
- 第十二條 第九條及第十一條ノ規定ニ依リ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ  
請求スルトキハ府尹ノ定ムル所ニ依リ其ノ交付ニ要スル費用ヲ府ニ  
納付スベシ
- 第十三條 本公債ノ元金ヲ償還スル場合ニ於テ其ノ證券ニ附屬スル利  
札中欠缺セルモノアルトキハ之ニ相當スル金額ヲ控除ス但シ支拂期

第三編 第二部特別經濟例規 第五類 會計

五一八ノ二八

日ノ到達シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ  
前項ノ利札所持人ハ何時ニテモ其ノ利札ヲ提出シテ支拂ヲ請求スル  
コトヲ得  
第十四條 本公債ノ元金償還又ハ利子支拂ヲ取扱ハシムル銀行又ハ會  
社ニ對シ左ノ手数料ヲ交付スルコトヲ得

一 元金償還手数料 償還金額ノ千分ノ一以內  
二 利子支拂手数料 支拂金額ノ千分ノ二以內  
第十五條 本條例ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府尹之ヲ定ム  
附則  
本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

京城府第二部特別經濟第八回教育公債償還年次表

年度	期別	元金	償還	未償還元金	利	子	元利合計
一五	三		九一七、〇〇〇・〇〇	九一七、〇〇〇・〇〇	一〇、四四九・六七		一〇、四四九・六七
一五	九		九一七、〇〇〇・〇〇	九一七、〇〇〇・〇〇	一九、七一五・五〇		一九、七一五・五〇
一六	三		一七、〇〇〇・〇〇	九〇〇、〇〇〇・〇〇	一九、七一五・五〇		三六、七一五・五〇
一六	九		一七、〇〇〇・〇〇	八八三、〇〇〇・〇〇	一九、三五〇・〇〇		三六、三五〇・〇〇
一七	三		一七、〇〇〇・〇〇	八六六、〇〇〇・〇〇	一八、九八四・五〇		三五、九八四・五〇
一七	九		一八、〇〇〇・〇〇	八四八、〇〇〇・〇〇	一八、六一九・〇〇		三六、六一九・〇〇
一八	三		一八、〇〇〇・〇〇	八三〇、〇〇〇・〇〇	一八、二三二・〇〇		三六、二三二・〇〇
一八	九		一九、〇〇〇・〇〇	八一、〇〇〇・〇〇	一七、八四五・〇〇		三六、八四五・〇〇
一九	三		一九、〇〇〇・〇〇	七九二、〇〇〇・〇〇	一七、四三六・五〇		三六、四三六・五〇
一九	九		一九、〇〇〇・〇〇	七七三、〇〇〇・〇〇	一七、〇二八・〇〇		三六、〇二八・〇〇
二〇	三		二〇、〇〇〇・〇〇	七五三、〇〇〇・〇〇	一六、六一九・五〇		三六、六一九・五〇

〔京城例三〕

年度	期別	元金	償還	未償還元金	利	子	元利合計
二一	三		二一〇、〇〇〇・〇〇	二一〇、〇〇〇・〇〇	一六、一八九・五〇		三六、一八九・五〇
二一	九		二一〇、〇〇〇・〇〇	二一〇、〇〇〇・〇〇	一五、七五九・五〇		三六、七五九・五〇
二二	三		二二〇、〇〇〇・〇〇	二二〇、〇〇〇・〇〇	一五、三〇八・〇〇		三六、三〇八・〇〇
二二	九		二二〇、〇〇〇・〇〇	二二〇、〇〇〇・〇〇	一四、八五六・五〇		三六、八五六・五〇
二三	三		二二〇、〇〇〇・〇〇	二二〇、〇〇〇・〇〇	一四、三八三・五〇		三六、三八三・五〇
二三	九		二二〇、〇〇〇・〇〇	二二〇、〇〇〇・〇〇	一三、九一〇・五〇		三五、九一〇・五〇
二四	三		二二〇、〇〇〇・〇〇	二二〇、〇〇〇・〇〇	一三、四三七・五〇		三六、四三七・五〇
二四	九		二二〇、〇〇〇・〇〇	二二〇、〇〇〇・〇〇	一二、九四三・〇〇		三五、九四三・〇〇
二五	三		二四〇、〇〇〇・〇〇	二四〇、〇〇〇・〇〇	一二、四四八・五〇		三六、四四八・五〇
二五	九		二四〇、〇〇〇・〇〇	二四〇、〇〇〇・〇〇	一一、九三二・五〇		三五、九三二・五〇
二六	三		二五〇、〇〇〇・〇〇	二五〇、〇〇〇・〇〇	一一、四一六・五〇		三六、四一六・五〇
二六	九		二五〇、〇〇〇・〇〇	二五〇、〇〇〇・〇〇	一〇、八七九・〇〇		三五、八七九・〇〇
二七	三		二六〇、〇〇〇・〇〇	二六〇、〇〇〇・〇〇	一〇、三四一・五〇		三六、三四一・五〇
二七	九		二六〇、〇〇〇・〇〇	二六〇、〇〇〇・〇〇	九、七八二・五〇		三六、七八二・五〇
二八	三		二七〇、〇〇〇・〇〇	二七〇、〇〇〇・〇〇	九、二〇二・〇〇		三六、二〇二・〇〇
二八	九		二七〇、〇〇〇・〇〇	二七〇、〇〇〇・〇〇	八、六二一・五〇		三六、六二一・五〇
二九	三		二八〇、〇〇〇・〇〇	二八〇、〇〇〇・〇〇	八、〇一九・五〇		三六、〇一九・五〇

〔京城例三〕

第三編 第二部特別經濟例規 第五類 會計

五一八ノ二九

二九	九	二九、〇〇〇・〇〇	三一六、〇〇〇・〇〇	七、四一七・五〇	三六、四一七・五〇
三〇	九	三〇、〇〇〇・〇〇	二八六、〇〇〇・〇〇	六、七九四・〇〇	三六、七九四・〇〇
三一	九	三一、〇〇〇・〇〇	二五六、〇〇〇・〇〇	六、一四九・〇〇	三六、一四九・〇〇
三二	九	三二、〇〇〇・〇〇	二二五、〇〇〇・〇〇	五、五〇四・〇〇	三六、五〇四・〇〇
三三	九	三三、〇〇〇・〇〇	一九三、〇〇〇・〇〇	四、八三七・五〇	三六、八三七・五〇
三四	九	三四、〇〇〇・〇〇	一六二、〇〇〇・〇〇	四、一四九・四〇	三六、一四九・五〇
三五	九	三五、〇〇〇・〇〇	一二八、〇〇〇・〇〇	三、四六一・五〇	三六、四六一・五〇
計	九	九一七、〇〇〇・〇〇	四四八、三四〇・一七	二、七五二・〇〇	三六、七五二・〇〇
計	三			一、二九〇・〇〇	三六、〇二一・〇〇
計	三			五三七・五〇	三六、二九〇・〇〇
計	三			二五、五三七・五〇	
計	三			四四八、三四〇・一七	一、三六五、三四〇・一七

〔京城例三〕

### ● 京城府第二部特別經濟第八回 教育公債條例施行規程

昭和十五年六月二十五日  
告示第四百四十二號

#### 第一章 總則

- 第一條 本公債ノ元金償還又ハ利子支拂其ノ他之ニ關スル事務ハ京城府第二部特別經濟第八回教育公債條例(以下單ニ第二部特別經濟第八回教育公債條例ト稱ス)ニ依ルノ外本規程ニ依ルモノトス
- 第二條 本公債ノ元金償還又ハ利子支拂其ノ他之ニ關スル一切ノ事務ハ朝鮮殖産銀行(以下單ニ取扱銀行ト稱ス)ヲシテ取扱ハシム
- 第三條 取扱銀行ハ前條ノ取扱ニ關シ府ニ對シ一切ノ責ヲ負フモノトス但シ天災事變ニ依リ生ジタル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第四條 本公債ノ整理ニ關シ設備スベキ帳簿左ノ如シ
  - 一 京城府第二部特別經濟第八回教育公債原簿(第一號様式)
  - 二 京城府第二部特別經濟第八回教育公債證券番號簿(第二號様式)
  - 三 京城府第二部特別經濟第八回教育公債證券受拂簿(第三號様式)
  - 四 京城府第二部特別經濟第八回教育公債元金(第四號様式)
- 第五條 本規程ニ於テ公告ト稱スルハ府公式條例ニ依ルノ外官報及朝鮮總督府官報ニ公告スルヲ謂フ
- 第六條 本公債ノ證券見本ハ公債發行ノ日ヨリ之ヲ取扱銀行ニ配置ス

#### 第七條 第二部特別經濟第八回教育公債條例第九條又ハ第十一條但書ニ依リ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ請求スル者アリタルトキハ其ノ要領ヲ府ノ揭示場ニ公告スルノ外請求人ヨリ公告ニ要スル費用ヲ徵シ左ノ通告ス

- 一 證券ノ場合 官報、朝鮮總督府官報及新聞ニ各二日間
  - 二 利札ノ場合 同各一日間
- 紛失シタル證券又ハ利札ヲ發見シタルトキハ前項ニ準ジ各一日間之ヲ公告ス

第八條 第二部特別經濟第八回教育公債條例第九條又ハ第十一條ニ依リ交付スベキ代證券ノ種類ハ原證券ト同一ノモノトシ第九條ノ場合ニ在リテハ再渡、第十一條ノ場合ニ在リテハ引換ノ印ヲ捺捺スルモノトス利札ノ場合亦同ジ

第九條 代證券又ハ代利札ヲ交付シ又ハ現金ヲ支拂ヒタル後紛失シタル原證券又ハ原利札ヲ發見シタル旨届出アリタルトキハ取扱銀行ニ於テ該證券又ハ利札ヲ回收シ且本人ヨリ届書ヲ徵シ同時ニ之ヲ府ニ送付スルモノトス

第十條 代證券又ハ代利札ノ交付ニ要スル費用ハ左ノ通トス

- 一 證券一枚ニ付 金八十錢
- 一 利札二十枚迄毎ニ 金四十錢

但シ五枚以下ノ場合ハ一枚ニ付 金八錢

#### 第三章 保證及擔保

第十一條 第二部特別經濟第八回教育公債條例第十條第一項第一號ニ規定スル保證人ハ府住民ニシテ府尹ニ於テ相當ト認メタル能力者タ

ルコトヲ要ス

第十二條 保證人死亡シタルトキハ請求人ニ於テ速ニ新ニ保證人ヲ立テ府尹ノ承認ヲ受クベシ保證人ノ變更ヲ要スルトキ亦同ジ

第十三條 保證人ノ資産減損セリト認ムルトキハ府尹ノ請求人ニ對シ更ニ擔保ヲ提供ヲ求ムルコトアルベシ但シ請求人ハ府尹ノ承認ヲ經テ新ニ保證人ヲ立ツルコトヲ妨ゲズ

第十四條 第二部特別經濟第八回教育公債條例第十條第一項第二號ニ依リ提供スベキ擔保ハ府尹ニ於テ確實ト認ムル有價證券トシ其ノ價格ハ府尹ノ定ムル所ニ依ル

第十五條 前條ノ擔保額ハ代證券ニ在リテハ其ノ額面金額ト償還終了ニ至ル迄ノ期間ニ於ケル利子總額トヲ加ヘタル金額、利札ニ在リテハ其ノ利子總額ヲ以テ最低限度トス

第十六條 擔保ヲ提供シタル者擔保物ヲ變更セントスルトキハ府尹ノ承認ヲ受クベシ

第十七條 擔保ヲ提供シタル後擔保ノ原因ガ一部消滅シタル場合ニ於テハ其ノ限度ニ應ジ擔保ノ一部解除ヲ請求スルコトヲ得

第十八條 時價ノ變動ニ依リ擔保額ニ不足ヲ生ジタルトキハ府尹ノ請求人ニ對シ期間ヲ指定シ之ガ補填ヲ求ムルコトアルベシ但シ請求人ハ府尹ノ承認ヲ得テ新ニ保證人ヲ立ツルコトヲ妨ゲズ

第四章 抽籤手續

第十九條 本公債ノ元金ヲ償還スル爲昭和十六年ヨリ償還終期迄毎年二月及八月ノ二回抽籤ヲ執行シ償還ノ順位ヲ定ム

日時、場所、公債ノ名稱、償還金額其ノ他必要ナル事項ヲ公告ス

第二十條 前條ノ抽籤ハ抽籤機ヲ使用スルモノトス籤球ハ證券ノ種類毎ニ色別ト爲シ其ノ表面ニ番號ヲ刻ス

第二十一條 抽籤執行ノ場合ニ於テハ府會議員、取扱銀行員各一名以上及總務部長立會ノ上府尹ノ面前ニ於テ係員ヲシテ籤球ヲ抽籤機ニ容レセシメ充分回轉混合シタル後所定ノ箇數ヲ抽出シテ之ヲ行フモノトス

抽出シタル籤球ノ種類別番號ハ係員ヲシテ之ヲ朗讀セシメ當籤番號表(第五號様式)ニ記載セシム

第二十二條 當籤シタル本公債證券ノ種類、番號其ノ他必要ナル事項ハ元金償還期日前二十日迄ニ之ヲ公告ス

第二十三條 抽籤ヲ終リタルトキハ抽籤調書(第六號様式)ヲ作成シ府尹及立會人二名以上之ニ署名捺印スルモノトス

第二十四條 籤球ハ當籤、未當籤ニ區分シ各別ニ之ヲ袋ニ納メ封印ノ上之ヲ保管スルモノトス

第五章 元金償還

第二十五條 當籤又ハ滿期ノ爲償還スベキ本公債證券ノ種類、番號、償還金額及償還期日等ハ府ヨリ書面ヲ以テ豫メ之ヲ取扱銀行ニ通知スルモノトス

第二十六條 本公債ノ元金ハ昭和十六年ヨリ償還終期迄毎年三月及九月ノ二回各末日ヨリ償還ヲ開始スルモノトス

第二十七條 財政ノ都合ニ依リ本公債定額以上ヲ償還シ又ハ償還年限ヲ短縮シ若ハ全部ヲ一時ニ償還セントスルトキハ豫メ之ヲ公告ス

〔京城例三〕

〔京城例三〕

買入銷却ヲ爲シタルトキハ本公債證券ノ種類、番號其ノ他必要ナル事項ヲ其ノ都度公告ス

前二項ノ公告ヲ爲シタルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ取扱銀行ニ通知スルモノトス

第二十八條 本公債ノ元金償還ヲ請求スル者アルトキハ取扱銀行ニ於テ左ノ各號ヲ調査シ正當ナリト認メタルモノニ付テハ證券ト引換ニ之ガ償還ヲ爲スモノトス

一 證券ノ眞贋ヲ見本ト對照スルコト

二 證券ノ種類、番號、償還金額及償還期日等ヲ第二十五條及第二十七條ノ通知ニ照合スルコト

三 支拂期日ノ到達セザル附屬利札欠缺ノ有無

四 第二部特別經濟第八回教育公債條例第九條又ハ第十一條ノ證券ニアラザルヤ否

五 元金償還期後滿十年ヲ經過シタルモノニアラザルヤ否

第三章 償還及支拂金

第六節 利息支拂

第三十條 償還及支拂金ハ償還ノ都度其ノ證券表面ノ中央ニ償還年月日ヲ記載シ償還ノ印ヲ捺捺シ尙附屬利札ノ表面ニ消印ヲ捺捺シ毎償還期月後一月内ニ之ヲ取據メ府ニ送付スルモノトス

第三章 第二部特別經濟例規 第五類 會計

第三十一條 本公債ノ利子ハ一年ニ付額面金額ノ百分ノ四、三トシ毎年三月及九月ノ二回各末日ヨリ支拂ヲ開始スルモノトス

第三十二條 前條利子ノ支拂ヲ請求スル者アルトキハ取扱銀行ニ於テ左ノ各號ヲ調査シ正當ナリト認メタルモノニ付テハ利札ト引換ニ之ガ支拂ヲ爲スモノトス

一 利札ノ眞贋ヲ見本ト對照スルコト

二 利札ノ支拂期日到達シタルヤ否

三 償還證券ノ利札ニアラザルヤ否

四 第二部特別經濟第八回教育公債條例第九條又ハ第十一條ノ利札ニアラザルヤ否

五 支拂期日後滿五年ヲ經過シタルモノニアラザルヤ否

第三十三條 端數利子ノ支拂ヲ要スルトキハ府ハ豫メ端數利子額及支拂上必要ナル事項ヲ取扱銀行ニ通知スルモノトス

第三十四條 取扱銀行ハ支拂利札ニ對シ支拂ノ都度其ノ裏面ニ支拂年月日ヲ記載シ支拂ノ印ヲ捺捺シ毎支拂期月後一月内ニ之ヲ取據メ府ニ送付スルモノトス

第三十五條 府ハ本公債ノ元金償還又ハ利子支拂ノ爲當該期日ノ前日迄ニ取扱銀行ニ對シ概算ヲ以テ前渡金ヲ交付スルモノトス

取扱銀行ニ於テ前渡金ヲ受取リタルトキハ直ニ前渡金領收證(第七

第三編 第二部特別經濟例規 第五類 會計

號樣式)ヲ府ニ送付スルモノトス

第三十六條 取扱銀行ハ元金償還又ハ利子支拂期月後一月内ニ前渡金受拂計算書(第八號樣式)ヲ調製シ府ニ之ヲ送付スルモノトス  
前項ノ場合ニ於テ前條ノ前渡金ニ殘高アルトキハ償還又ハ支拂期日ノ屬スル會計年度經過後三十日迄ニ前項ニ倣ヒ計算書ヲ添ヘ府ニ返納スルモノトス府ニ於テ前項ノ返納金ヲ受取リタルトキハ取扱銀行ニ對シ領收證(第九號樣式)ヲ送付スルモノトス  
第三十七條 本公債ノ元金償還又ハ利子支拂期月ヲ經過シタルモノニ付償還又ハ支拂ノ請求アリタルトキハ取扱銀行ハ前渡金請求書(第十號樣式)ヲ府ニ送付シ其ノ交付ヲ受ケタル後償還又ハ支拂ノ手續ヲ爲スモノトス  
第三十八條 府ハ前條ノ前渡金請求書ヲ受ケタルトキハ所屬年度ヲ調査シ取扱銀行ニ對シ前渡金交付ノ手續ヲ爲スモノトス

第三十九條 前二條ノ取扱ニ付テハ第三十五條及第三十六條ノ規定ヲ準用ス

第八章 取扱手数料其ノ他

第四十條 第二部特別經濟第八回教育公債條例第十四條ニ規定スル手数料ハ前渡金計算書ニ基キ左ノ割合ニ依リ算出シタル金額ヲ取扱銀行ノ請求ニ依リ府ヨリ之ヲ交付スルモノトス  
一 元金償還手数料 額面金額ノ千分ノ一  
二 利子支拂手数料 利札面金額ノ千分ノ二

第四十一條 本規程ニ定メタル印章及諸用紙類ハ取扱銀行ノ請求ニ依リ府ヨリ之ヲ交付スルモノトス

附則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號樣式)甲

第	號	發行年月日	發行價格	引受者	償還年月日
年四分三厘附	號	昭和十五年六月二十五日	額面百圓ニ付百圓	朝鮮殖産銀行	昭和 年 月 日
京城府第二部特別經濟第八回教育公債 圓券 半期分利子					

〔京城例三〕

(第一號樣式)乙

京城府第二部特別經濟第八回教育公債原簿集計

年 月 日 摘要	拂 顛 末				支 子 利				備考
	昭和二十七年九月渡	昭和二十九年九月渡	昭和三十一年九月渡	昭和三十三年九月渡	昭和二十五年九月渡	昭和二十七年九月渡	昭和二十九年九月渡	昭和三十一年九月渡	
元金償還及利子支拂顛末	昭和二十八年三月渡	昭和三十年三月渡	昭和三十一年三月渡	昭和三十三年三月渡	昭和二十六年三月渡	昭和二十八年三月渡	昭和三十年三月渡	昭和三十一年三月渡	利札番號
合元	昭和二十九年三月渡	昭和三十一年三月渡	昭和三十三年三月渡	昭和三十五年三月渡	昭和二十七年三月渡	昭和二十九年三月渡	昭和三十一年三月渡	昭和三十三年三月渡	計利未償還

京城府第二部特別經濟第八回教育公債原簿

〔京城例三〕

第三編 第二部特別經濟例規

第五類 會計





第三編 第二部特別經濟例規 第五類 會計

五一八ノ三八

但シ昭和 年月 日 (元金償還) 前渡金  
右領收候也  
昭和 年月 日 (利子支拂)

朝鮮殖産銀行 何 ㊦

京城府出納吏 殿

(第八號様式)

昭和 年 月 分

京城府第二部特別經濟第八回教育公債元金受拂計算書

摘要	受入高	支拂高	残高	備考
元金償還前渡金	圓	圓	圓	
利子支拂前渡金				
計				

上記ノ簿ニ俟也

昭和 年 月 日

京城府尹 殿

朝鮮殖産銀行 ㊦

(第八號様式) 附屬其ノ一

昭和 年 月 分

京城府第二部特別經濟第八回教育公債元金償還内課書

券面種類	枚数	額金額	元金償還金額	手数料	備考
		圓	圓	圓	
		圓	圓	圓	
		圓	圓	圓	

利札面額	枚数	利札面額	利子支拂金額	手数料	備考
圓		圓	圓	圓	
圓		圓	圓	圓	
圓		圓	圓	圓	

(第八號様式) 附屬其ノ二

昭和 年 月 分

京城府第二部特別經濟第八回教育公債利子支拂内課書

利札面額	枚数	利札面額	利子支拂金額	手数料	備考
圓		圓	圓	圓	
圓		圓	圓	圓	
圓		圓	圓	圓	

(第八號様式) 附屬其ノ三

返納書

一金何程也

但シ京城府第二部特別經濟第八回教育公債(元金償還)前渡金殘高

内課

〔京城例三〕

朝鮮殖産銀行 ㊦

〔京城例三〕

元金償還	利子支拂	利札面額	枚数	支拂金額	備考
何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	
何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	
何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	

右請求候也

昭和 年 月 日

京城府尹 殿

朝鮮殖産銀行 ㊦

(第九號様式)

京城府第二部特別經濟第八回教育公債(元金償還)前渡金殘高領收證

一金何程也

内課

金何程 元金償還未済高

金何程 欠缺利札元金ヨリ控除高

金何程 利子支拂未済高

右領收候也

昭和 年 月 日

朝鮮殖産銀行何々殿

京城府出納吏 職氏

名 ㊦

(第十號様式)

京城府第二部特別經濟第八回教育公債(元金償還)期月經過拂渡前渡金請求書

一金何程也

第三編 第二部特別經濟例規

第五類 會計

五一八ノ三九

關  
係  
法  
規

# 關係法規

## ●府制

昭和五年十二月一日  
制令第十一號

### 改正 昭和一三年三月制令六號

- 第一條 府ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法令ニ依リ府ニ屬スル事務ヲ處理ス
- 第二條 府ノ廢置、名稱及區域ハ朝鮮總督之ヲ定ム
- 第三條 府ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ處分ヲ要スル財産アルトキハ其ノ處分ハ關係アル府會、教育部會、邑會、面協議會、學校評議會及學校組合會ノ意見ヲ徵シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム
- 第四條 府ノ廢置又ハ區域變更ノ場合ニ於テ府ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本令ニ規定スルモノノ外朝鮮總督之ヲ定ム
- 第五條 府内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ府住民トス
- 第六條 府内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ府住民トス
- 第七條 府ニ府會ヲ置キ議長及府會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

關係法規

〔京城例一〕

### 第八條 府會議員ハ之ヲ選舉ス

- 一 人口三萬未滿ノ府 二十四人
  - 二 人口三萬以上五萬未滿ノ府 二十七人
  - 三 人口五萬以上十萬未滿ノ府 三十人
  - 四 人口十萬以上ノ府 三十三人
- 人口十萬ヲ超ユル府ニ於テハ人口五萬ヲ加フル毎ニ議員三人ヲ增加ス
- 前二項ノ人口ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ  
議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ増減セズ但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 内地人議員及朝鮮人議員ノ數ハ何レモ議員定數ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ズ但シ關員ヲ生ジタル場合ニ於テ次ノ補闕選舉ヲ行フ迄ノ間ハ此ノ限ニ在ラズ
- ### 第九條 帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ一年以來府住民ト爲リ且一年以來朝鮮總督ノ指定シタル府稅年額五圓以上ヲ納ムル者ハ其ノ府ニ於テ府會議員ノ選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲グル者ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 禁治產者及準禁治產者
  - 二 破產者ニシテ復權ヲ得ザル者
  - 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

五 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク)又ハ戰時事變ニ際シ召集中ノ者並志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノ者

選舉權ヲ有スル者府稅滯納處分中ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ズ

第一項ニ規定スル一年ノ期間ハ府邑面ノ廢置又ハ區域變更ノ爲中斷セラルコトナシ此ノ場合ニ於テ新ニ府ノ區域ト爲リタル地域ニ於テ負擔シタル邑面制第九條第一項ニ規定スル邑面稅及學校費賦課金又ハ學校組合費ハ之ヲ第一項ニ規定スル府稅ト看做ス

第十條 府會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ被選舉權ヲ有シ但シ左ニ掲グル者ニシテ在職中ノモノ及前條第二項ニ規定スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 所屬道及當該府ノ官吏及有給吏員

二 判事、檢事及警察官吏

三 小學校ノ教員

第十一條 府會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十二條 府會議員中副員ヲ生ジタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當

スルトキハ補闕選舉ヲ行フベシ

一 副員ノ數議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ

二 内地人議員又ハ朝鮮人議員ノ數第八條第六項ニ規定スル最少員數ノ六分ノ五ニ滿チザルニ至リタルトキ

三 府尹必要アリト認ムルトキ

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲選舉ヲ行フ場合ニ於テ議員中副員アルトキハ併セテ補闕選舉ヲ行フベシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十三條 府會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ノ外府ニ關スル左ノ事件ヲ議決ス但シ特別經濟ニ關スル事件ハ此ノ限ニ在ラズ

一 府條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 歳入出豫算ヲ定ムルコト

三 決算報告ニ關スルコト

四 法令ニ規定スルモノヲ除クノ外府稅、夫役現品、使用料又ハ手数料ノ賦課徵收ニ關スルコト

五 府債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ利率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第四十九條第二項ノ借入金ヲ除ク

六 基本財産及積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト

七 不動産ノ管理及處分ニ關スルコト

八 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

九 特別會計ヲ設ケルコト

十 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

十一 訴訟及和解ニ關スルコト

〔京城例〕

第二十二條 府尹ハ府ヲ統轄シ府ヲ代表ス

府尹ハ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經ベキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ其ノ議決ヲ執行シ其ノ他府ノ事務ヲ擔任ス

第二十三條 府尹ハ吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

第二十四條 府會又ハ教育部會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府尹ハ其ノ意見ニ依リ又ハ道知事ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル府會又ハ教育部會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決又ハ選舉ヲ取消スベシ

第二十五條 府會又ハ教育部會ノ議決明ニ公益ヲ害シ又ハ府ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ府尹ハ其ノ意見ニ依リ又ハ道知事ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル府會又ハ教育部會ノ議決仍明ニ公益ヲ害シ又ハ府ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得但シ前項ノ規定ニ依リ更ニ再議ニ付スルコトヲ妨グズ

第二十六條 府會又ハ教育部會成立セザルトキ、召集ニ應ゼザルトキ

府尹必要アリト認ムルトキハ前項各號ニ掲グル事件ノ外府ニ關スル事件ヲ府會ノ議決ニ付スルコトヲ得

第十四條 府會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フベシ

第十五條 府會ハ府ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得但シ特別經濟ニ關スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

府會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ前項ニ規定スル府會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第十六條 府會ハ府ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ府尹其ノ他ノ關係官廳ニ提出スルコトヲ得

第十七條 府會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

府會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ府會成立セズ、召集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ府會ヲ召集スルコト能ハザルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條 府會ハ議員中ヨリ副議長一人ヲ選舉スベシ

副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第十九條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長及副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スベシ

前項ノ假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同ジキトキハ抽籤ヲ以テ定ム

第二十條 府會ハ會議規則ヲ設クベシ

第二十一條 本令ニ規定スルモノノ外府會、府會議員並府會議員ノ選舉及其ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ府尹ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得前二條ノ規定ニ依リ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第二十七條 府會又ハ教育部會ニ於テ議決スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ府會若ハ教育部會成立セザルトキ又ハ府尹ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府尹ハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

第二十八條 前二條ノ規定ニ依ル處分ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ府會又ハ教育部會ニ報告スベシ

第二十九條 府會又ハ教育部會ノ權限ニ屬スル事件ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ府尹之ヲ專決處分スルコトヲ得

第三十條 府ニ吏員ヲ置クコトヲ得

吏員ハ有給トス但シ府條例ノ定ムル所ニ依リ名譽職ト爲スコトヲ得

吏員ハ府尹之ニ任免ス

第三十一條 府ニ出納吏ヲ置キ官吏又ハ吏員ノ中ヨリ府尹之ヲ命ズ出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第三十二條 官吏ノ府ノ行政ニ關スル職務關係ハ本令中別段ノ定アル場合ヲ除クノ外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ係ル

第三十三條 吏員ノ服務紀律竝出納吏及吏員ノ賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十四條 府會議員及名譽職吏員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受

クルコトヲ得

名譽職吏員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得費用辨償額及其ノ支給方法ハ府條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三十五條 有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ府條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ

有給吏員ニハ府條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第三十六條 收益ノ爲ニスル府ノ財產ハ基本財產トシテ之ヲ維持スベシ

府ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財產又ハ積立金等ヲ設クルコトヲ得

第三十七條 府ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

府ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十八條 府ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 府ハ其ノ必要ナル費用及法令ニ依リ府ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

府ハ其ノ財產ヨリ生ズル收入、使用料、手数料、其ノ他府ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ府稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第四十條 府稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ  
一 國稅及道稅ノ附加稅  
二 特別稅

第四十一條 三月以上府内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ週リ府稅ヲ

納ムル義務ヲ負フ

第四十二條 府内ニ住所ヲ有セズ又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖モ府内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、府内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ府内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十三條 納稅者ノ府外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ府外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

府ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メザルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場合及住所滞在府ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生ズル收入ニ非ザルモノニ對シ府稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十四條 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第四十五條 府稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證書ヲ携帯スベシ

第四十六條 府稅其ノ他府ニ屬スル徵收金ハ道ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵及還付ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

〔京城例一〕

第四十七條 府稅、使用料、手数料及營造物ノ使用方法ニ關スル事項ニ付テハ法令ニ規定アルモノヲ除クノ外府條例ヲ以テ之ヲ定ムベシ

其ノ府條例中ニハ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第四十八條 本令ニ規定スルモノノ外府稅、夫役現品、使用料、手数料其ノ他本令ニ依ル徵收金及其ノ賦課徵收ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十九條 府ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、府ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變ノ爲必要アル場合ニ限リ府債ヲ起スコトヲ得

府ノ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ之ヲ償還スベシ

第五十條 府ハ毎會計年度歲入出豫算ヲ定ムベシ

府ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第五十一條 府費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スベキモノハ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第五十二條 府ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第五十三條 府ノ收入金及支拂金ニ關スル時效ニ付テハ政府ノ收入金及支拂金ノ例ニ依ル

第五十四條 本令ニ規定スルモノノ外府ノ財務ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五十五條 府ノ經濟中内地人教育ヲ目的トスルモノト朝鮮人教育ヲ目的トスルモノトハ各之ヲ特別經濟トシ一般經濟ヨリ分別ス

特別經濟ノ費用ハ其ノ特別經濟ニ屬スル財產ヨリ生ズル收入、使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充テ仍不足アルトキハ府稅及夫

役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

特別經濟ニ屬スベキ費用中特ニ必要アルモノハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ一般經濟ニ於テ之ヲ支辨スルコトヲ得

第五十六條 前條第二項ノ府稅及夫役現品ハ内地人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ在リテハ之ヲ内地人ニ、朝鮮人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ在リテハ之ヲ朝鮮人ニ賦課ス

第五十七條 特別經濟ニ關スル事件ヲ議決セシムル爲第一教育部會及第二教育部會ヲ置キ第一教育部會ハ議長及内地人タル府會議員ヲ以テ、第二教育部會ハ議長及朝鮮人タル府會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第一教育部會及第二教育部會ノ議長ハ府尹ヲ以テ之ニ充ツ  
第一教育部會ハ内地人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ關スル事件ヲ、第二教育部會ハ朝鮮人教育ヲ目的トスル特別經濟ニ關スル事件ヲ議決ス

第五十八條 第十三條乃至第二十條ノ規定ハ教育部會ニ之ヲ準用ス  
第五十九條 本令ニ規定スルモノノ外特別經濟及教育部會ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六十條 府ハ第一次ニ於テ道知事第二次ニ於テ朝鮮總督之ヲ監督ス  
監督官廳ハ府ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
第六十一條 府ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ道知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

道知事ハ府ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ之ヲ削減スルコトヲ得

號 一五年三月七三號 四月九六號

第一章 府ノ廢置、名稱及區域

第一條 府ノ廢置、名稱及區域ハ行政區劃タル府ノ廢置、名稱及區域ニ依ル

第二章 府會及教育部會

第二條 府會議員ノ定數ヲ定ムル標準タル府ノ人口ハ朝鮮總督府官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ府ノ設置又ハ區域變更アリタルトキハ其ノ府ノ人口ハ一邑面又ハ數邑面ノ全部ノ區域ヲ以テ府ヲ置キタル場合ニ在リテハ一邑面ノ人口又ハ關係邑面ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ一邑面又ハ數邑面ノ全部ノ區域ヲ府ノ區域ニ編入シタル場合ニ在リテハ關係府邑面ノ人口ヲ集計シタルモノニ依リ其ノ他ノ場合ニ在リテハ道知事ノ認定シタル人口ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ認定シタル人口ハ道知事之ヲ告示スベシ  
第三條 府會議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ府尹抽籤シテ之ヲ定ム但シ副員アルトキハ其ノ副員ヲ以テ之ニ充ツベシ

副員ノ爲内地人議員又ハ朝鮮人議員ノ數府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ニ滿テザルトキハ其ノ最少員數ニ滿ツル迄副員ノ補充アリタルモノト看做シ之ヲ除キタル議員ニ付前項ノ規定ヲ適用ス  
第一項ノ規定ニ依リ解任ノ爲府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ヲ下ルニ至ルベキ虞アルトキハ其ノ最少員數ニ滿ツル迄ノ議員ヲ抽籤シテ定メ之ヲ除キタル議員ニ付第一項ノ規定ヲ適用ス

府制施行規則

昭和五年十二月二十九日  
朝鮮總督府令第四百四號

改正 昭和七年一月總令一〇號 九年五月六〇號 一〇年二月一五號 一一年一月二號 一二年八月一六號

第一章 府ノ廢置、名稱及區域

第一條 府ノ廢置、名稱及區域ハ行政區劃タル府ノ廢置、名稱及區域ニ依ル

第四條 必要アルトキハ府尹ハ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第五條 府尹ハ選舉期日前五十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ但シ第八條第二項ノ規定ニ依リ確定名簿ヲ用フル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 府尹ハ選舉期日前三十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄府廳ニ於テ選舉人名簿ヲ閱覽シ供スベシ

第七條 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ府尹ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ府尹ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ之ヲ決定シ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正スベシ  
前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定アリタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シ又ハ名簿ヲ修正シタルトキハ府尹ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第八條 選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス  
確定名簿ハ道知事ノ指定スル場合ヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フベシ  
前條第二項ノ場合ニ於テ道知事ノ決定アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ府尹ハ名簿確定前ナルトキハ直ニ之ヲ修正シ名簿確定後ナルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ直ニ之ヲ修正スベシ  
前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ府尹ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ  
投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ府尹ハ確定名簿ニ依リ

分會ノ區劃毎ニ名簿ヲ抄本ヲ調製スベシ

第九條 第七條ノ場合ニ於テ府尹ノ決定確定シ若ハ道知事ノ決定アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキ又ハ天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ其ノ名簿ノ調製、縦覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ道知事ノ定ムル所ニ依ル

第十條 選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ縦覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十一條 府尹ハ選舉期日ヨリ少クトモ三十日前ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ同ジ)投票ノ日時及選舉スベキ議員數ヲ告示スベシ投票分會場ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スベシ

第十二條 府尹ハ選舉會場ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ  
府尹ハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スベシ

第十三條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ  
投票分會ハ府尹ノ指定シタル官吏又ハ吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ

第十四條 府尹ハ選舉會場ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ  
府尹ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

〔京城例三〕

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スベシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過グルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書クコト能ハザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ

投票用紙ハ府尹ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

投票分會ニ於テ爲シタル投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ府尹ニ送致スベシ

第十四條 確定名簿ニ登錄セラレザル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレルベキ道知事ノ決定書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレコトヲ得ザル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ選舉ノ當日選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ府制第九條第二項ニ該當スル者ナルトキ亦同ジ

第十六條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ府尹又ハ投票分會長之ヲ決定スベシ

第十七條 府尹ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スベシ

第十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス  
一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ  
二 現ニ府會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ  
七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ  
第十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ府尹之ヲ決定スベシ及朝鮮人ノ當選者ノ數各府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ニ滿ツル迄ハ内地人朝鮮人別ニ當選者ヲ定ムベシ  
第十九條 當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取り年齡同ジキトキハ府尹抽籤シテ之ヲ定ムベシ  
第二十條 選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル者ハ當選者ト爲ルコトヲ得ズ  
第二十一條 當選者選舉期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セザルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ第二十八條第一項ノ規定ヲ準用ス  
第二十二條 府尹ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ  
第二十三條 投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル願末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ投票函ト同時ニ之ヲ府尹ニ送致スベシ  
第二十四條 選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間府尹之ヲ保存スベシ  
第二十五條 當選者定マリタルトキハ府尹ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄ノ寫)ヲ府尹ニ送致スベシ

〔京城例〕

ルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ報告スベシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ道知事ニ報告スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ府尹ニ申立ツベシ

官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ之ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ノ官吏當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ニ應ズベキ旨ヲ府尹ニ申立テザルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

府ニ對シ又ハ府ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府尹若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非ザレバ當選ニ應ズルコトヲ得ズ

前項ニ規定スル者第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ府尹ニ申立テザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第二十二條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、當選ヲ失ヒタルトキ又ハ死亡シタルトキハ府尹ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 第二十一條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ府尹ハ直ニ當選者ノ住所及氏名ヲ告示シ且

之ヲ道知事ニ報告スベシ  
當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ府尹ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ報告スベシ

第二十四條 選舉ノ規定ニ違反ノ事實アルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズル虞アル場合ニ限り道知事ハ選舉ノ全部若ハ一部又ハ當選ヲ取消スベシ

前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ取消シタル場合ニ於テ當選ニ異動ヲ生ズル虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ  
選舉ノ規定ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ選舉人ハ當選者定マリタル日ヨリ五日以内ニ其ノ事由ヲ道知事ニ申立テ第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ求ムルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ第二十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前項ノ申立アリタルニ依リ處分ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條 道知事選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキハ直ニ之ヲ告示スベシ  
朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ府尹ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十六條 當選ノ取消アリタルトキハ府尹ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第十八條ノ規定ヲ準用ス  
朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ亦前項ニ同ジ但シ同一人ニ關シ議員失職又ハ辭任ニ因リ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ選舉期日ヨリ一年ヲ過ギタル後當選無効ト爲リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ府會議員關員ト看做ス  
第二十七條 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ  
選舉ノ取消アリタルトキ亦前項ニ同ジ

前項但書ノ場合ニ於テハ府會議員關員ト看做ス  
第二十七條 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ  
選舉ノ取消アリタルトキ亦前項ニ同ジ

第二十八條 府會議員被選舉權ヲ有セザル者ナルトキ又ハ第二十一條第五項ニ掲グル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第二十一條第五項ニ掲グル者ニ該當スルヤ否ハ議員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セザル場合ヲ除クノ外府尹之ヲ決定スベシ  
一 禁治産者又ハ準禁治産者ト爲リタルトキ  
二 破産者ト爲リタルトキ  
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定アリタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得  
前二項ノ規定ニ依リ議員ノ失職確定シタルトキハ府尹ハ其ノ住所及氏名ヲ告示シ且之ヲ道知事ニ報告スベシ議員死亡シタルトキ又ハ職ヲ辭シタルトキ亦同ジ

第二十九條 府會議員ハ選舉若ハ當選ノ取消アル迄、朝鮮地方選舉取締規則ノ規定ニ依リ當選無効ト爲ル迄又ハ前條第一項ノ決定確定シ若ハ前條第二項ノ申立ニ對シ決定アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ  
第三十條 府尹及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

〔京城例〕

第三十一條

府會ハ府尹之ヲ招集ス但シ輕易ナル事件ニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ議員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アリタルトキハ之ヲ府會ノ議決ト看做スコトヲ得

府尹ハ會期ヲ定メテ府會ヲ招集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ府尹必要アリト認ムルトキハ更ニ期限ヲ定メ府會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

招集及會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ告知スベシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

府會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ府尹ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ附スルコトヲ得會議ニ附スル日ヨリ三日前ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同ジ

府會ハ府尹之ヲ閉閉ス

第三十二條 府會ハ議員定數ノ半數以上、教育部會ハ其ノ議員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得但シ第三十四條ノ規定ニ依ル除外ノ爲半數ニ滿チザルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿チザルトキ又ハ招集ニ應ズルモ出席議員定數ヲ關

キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿チザルトキハ此ノ限ニ在ラズ  
第三十三條 府會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議員ハ議長ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之ガ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハズ

第三十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ

關係法規

〔京城例三〕

但シ府會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十五條 府會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ノ定ムル所ニ依リ會議規則ニ其ノ定ナキトキハ府會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 府會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ  
二 議員三人以上ノ發言ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項ノ議員ノ發言ハ討論ヲ須ヒズ其ノ可否ヲ決スベシ

第三十七條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第三十八條 會議中本令又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハザルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシムルコトヲ得

第三十九條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十條 議長ハ會議録ヲ調製シ會議ノ頭末及出席議員ノ姓名ヲ記載スベシ

會議録ハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ府會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第四十條ノ二 府制第二十四條又ハ同令第二十五條ノ規定ニ依リ爲シ



タル議決又ハ選舉ノ取消處分ハ府會開會中ニ非ザルトキハ府尹ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第四十條ノ三 道知事府會ノ停會ヲ命ジタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十一條 第三十條、第三十一條、第三十三條乃至前條ノ規定ハ教育部會ニ之ヲ準用ス

第三章 府稅其ノ他府ノ收入

第四十二條 府ハ左ノ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ特別經濟ノ費用ニ付テハ戶別稅附加稅ヲ除クノ外之ヲ賦課スルコトヲ得ズ

一 地稅附加稅

二 削除

三 營業稅附加稅

四 取引所稅附加稅

五 鑛稅附加稅

六 戶別稅附加稅

七 家屋稅附加稅

八 特別地稅附加稅

九 車輛稅附加稅

一〇 不動産取得稅附加稅

第四十三條 削除

第四十四條 特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ之ヲ賦課スルモノトス

特別經濟ノ費用ニ付テハ特別稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

第四十五條 附加稅ハ左ノ制限ヲ越ユルコトヲ得ズ

一 地稅附加稅

地稅ノ百分ノ七十五

二 削除

三 營業稅附加稅

營業稅ノ百分ノ八十

四 取引所稅附加稅

取引所稅ノ百分ノ三十五

五 鑛稅附加稅

鑛區稅ノ百分ノ七但シ鑛區ノ分合ニ因ル場合ヲ除クノ外鑛業權設定ノ登錄アリタル月ヨリ起算シ三年間ハ鑛區稅ノ百分ノ三

六 家屋稅附加稅

鑛產稅ノ百分ノ十  
家屋稅額

七 特別地稅附加稅

平安南道、平安北道、江原道、咸鏡南道、咸鏡北道特別地稅ノ百分ノ八十  
其ノ他ノ道 特別地稅ノ百分ノ九十四

八 車輛稅附加稅

車輛稅額

九 不動産取得稅附加稅

不動産取得稅ノ百分ノ二十五

第四十六條 一般經濟ノ費用ニ付テ賦課スル戶別稅附加稅ハ道制施行規則第四十六條ノ三第二項ニ規定スル指數一箇ニ付十圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四十七條 特別ノ必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前二條ニ規定スル制限ヲ超過シテ賦課スルコトヲ得

第四十八條 相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ府稅ヲ納ムル義務ヲ負フ但シ戶主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續又ハ之ニ準ズベキ相續ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リ

〔京城例三〕

テ得タル財產ノ限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第四十九條 國又ハ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地家屋物件及營造物ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

國ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

墓地並外國政府ノ所有ニ屬スル領事館及其ノ敷地ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

第四十九條ノ二 府ハ公益上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル場合ニ於テハ府稅ヲ賦課セザルコトヲ得

第五十條 永代借地及其ノ上ニ在ル建物ニ對シテハ其ノ借地料ヨリ國稅及道稅ヲ控除シタル殘額ガ府稅額ニ等シキトキ又ハ之ヲ超過スルトキハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

借地料ヨリ國稅及道稅ヲ控除シタル殘額ガ府稅額ヨリ少キトキハ其ノ差額ヲ府稅トシテ賦課スルコトヲ得

第五十一條 夫役現品ハ特別ノ必要アルトキニ限り道知事ノ認可ヲ受ケテ之ヲ賦課スルコトヲ得但シ急迫ノ場合ニ賦課スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ズ

夫役現品ハ之ヲ金額ニ算出シテ賦課スベシ

關係法規

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役現品ハ金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役現品ニ付テハ之ヲ適用セズ

急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役現品ノ履行ヲ爲サザルトキハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ納付ヲ命ズベシ

第五十二條 數人又ハ府ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ府ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ府ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコトヲ得

第五十三條 府尹ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅延期ヲ許スコトヲ得

府尹ハ特別ノ事情アル者ニ對シ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經テ府稅ヲ減免スルコトヲ得

第五十四條 府稅ヲ徵收セントスルトキハ府尹ハ納稅者ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ記載シタル納稅告知書ヲ發スベシ但シ第五十五條ノ規定ニ依リ徵收セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ徵收セントスルトキハ府尹又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員ニ於テ納入告知書ヲ發スベシ但シ即納ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

府尹ノ指定シタル使用料、手数料其ノ他ノ收入ハ其ノ府ニ於テ發行スル收入證紙ヲ以テ納付セシムルコトヲ得

第五十五條 府ハ朝鮮總督ノ指定シタル府稅ニ付テハ其ノ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收義務者ハ徵收スベキ府稅ヲ府尹ノ指定シタル  
期日迄ニ府ニ拂込ムベシ

第五十六條 府ハ前條ノ徵收ノ費用トシテ拂込金額ノ百分ノ四ヲ徵收  
義務者ニ交付スベシ

第五十七條 第五十五條第一項ノ規定ニ依ル徵收義務者避クベカラザ  
ル災害ニ依リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ稅金拂込義務ノ免除  
ヲ府尹ニ申請スルコトヲ得

府尹前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ府會ノ決定ニ付スベシ  
前項ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以  
内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

第五十八條 府稅ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メ  
タル國稅徵收法第四條ノ一、第四條ノ三乃至第四條ノ八及國稅徵收  
令施行規則第十條第一項ノ規定ヲ準用ス

第五十九條 府稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリ  
ト認ムルトキハ納稅告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ府  
尹ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ規定ハ使用料、手数料、過料ノ徵收及夫役現品ノ賦課ニ關シ  
之ヲ準用ス

營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ其ノ處分アリタル日ヨリ  
三十日以内ニ之ヲ府尹ニ申立ツルコトヲ得  
前三項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府尹ハ七日以内ニ之ヲ決定スベ  
シ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ交付ヲ受ケ

二 隨時ノ收入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發スルモノハ之  
ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三 隨時ノ收入ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發セザルモノハ  
領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ府債、交付金、補助金、寄附  
金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納  
閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第六十七條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 費用辨償、報酬、給料、旅費、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其  
ノ支給スベキ事實ノ生ジタル日ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル  
支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲  
シタル日ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキ  
ハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 三 府債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬  
スル年度

四 補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度  
五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度  
六 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ  
屬スル年度

第六十八條 各年度ノ經費ハ其ノ年度ノ收入ヲ以テ之ヲ支拂スベシ  
年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラザルニ至リタルト  
キハ道知事ノ認可ヲ受ケ翌年度ノ歳入ヲ繰上ゲ之ニ充用スルコトヲ  
得此ノ場合ニ於テハ其ノ充用ヲ要スル額ヲ翌年度ノ歳入出豫算ニ編

タル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

第四章 府ノ財務

第六十條 府尹ハ毎會計年度各經濟毎ニ府稅其ノ他一切ノ收入ヲ歳入  
トシ一切ノ經費ヲ歳出トシ歳入出豫算ヲ調製シ年度開始前府會又ハ  
教育部會ノ議決ヲ經ベシ  
豫算ヲ府會又ハ教育部會ニ提出スルトキハ府尹ハ併セテ財産表ヲ提  
出スベシ

第六十一條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スベ  
シ  
第六十二條 歳入出豫算ハ經常臨時ノ二部ニ分ツベシ  
歳入出豫算ハ之ヲ款項ニ區分シ且必要アルモノハ項ニ其ノ内譯ヲ附  
スベシ

第六十三條 府ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費  
ヲ設クベシ  
特別會計ニハ豫備費ヲ設ケザルコトヲ得  
豫備費ハ府會又ハ教育部會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第六十四條 府尹ハ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經テ豫算ノ追加又ハ更  
正ヲ爲スコトヲ得  
豫算ハ年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ズ

第六十五條 府尹豫算ノ議決ヲ經タルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告シ  
其ノ要領ヲ告示シ豫算ノ原本ヲ出納吏ニ交付スベシ  
第六十六條 歳入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル  
一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度

〔京城例〕

入スベシ  
第六十九條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ  
第七十條 支出ハ債主又ハ其ノ代理人ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコ  
トヲ得ズ

〔京城例〕

第七十一條 出納吏ハ府尹ノ命令アルニ非ザレバ支拂ヲ爲スコトヲ得  
ズ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他本  
令ノ規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得ザルトキ亦同ジ

第七十二條 左ノ經費ニ付テハ府ノ官吏又ハ吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲  
サシムル爲現金ヲ之ニ前渡スルコトヲ得  
一 府債ノ元利支拂  
二 人夫賃其ノ他小額宛多數人ニ即金拂ヲ要スル經費  
三 遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲナス經費

特別ノ必要アルトキハ前項ノ現金前渡ハ府ノ官吏吏員以外ノ者ニ之  
ヲ爲スコトヲ得  
第七十三條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得  
第七十四條 前二條ニ掲グルモノノ外必要アルトキハ道知事ノ認可ヲ  
受ケ現金ノ前渡又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第七十五條 前金支拂ニ非ザレバ購入又ハ借入等ノ契約ヲ爲シ難キモ  
ノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得  
第七十六條 歳入ノ課納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタ  
ル歳入ヨリ支拂フベシ

歳出ノ課拂過渡ト爲リタル金額、現金前渡、概算拂、前金拂及繰替  
拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スベシ

**第七十七條** 府ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス  
府尹ハ出納閉鎖後三月以内ニ決算ヲ調製シ次ノ通常豫算ヲ議スル會  
議送ニ之ヲ府會又ハ教育部會ニ報告スベシ  
決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説  
明ヲ附スベシ

**第七十八條** 決算ハ其ノ報告ニ關スル府會又ハ教育部會ノ議決ト共ニ  
之ヲ道知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スベシ

**第七十九條** 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スベ  
シ第七十六條ノ拂戻金、戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同ジ

**第八十條** 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入ス  
ベシ

**第八十一條** 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄繰上繰越  
使用スルコトヲ得

**第八十二條** 工事ノ請負、物件ノ賣買貸借及努力ノ供給ハ競争入札ニ  
付スベシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ府條例ニ特別ノ規定アル場  
合ハ此ノ限ニ在ラズ

**第八十三條** 府ノ出納ハ少クトモ毎月一回府尹之ヲ検査スベシ  
出納吏更迭シタルトキハ府尹ハ臨時ニ府ノ出納ヲ検査スベシ

**第八十四條** 府ハ其ノ歳入歳出ニ屬スル公金ノ受拂ニ付郵便振替貯金  
ノ法ニ依ルコトヲ得

**第八十五條** 府ハ現金ノ出納及保管ノ爲府金庫ヲ置クコトヲ得  
金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行ハ道知事ノ認可ヲ受ケ府尹之ヲ  
定ム

之ヲ變更スルコト但シ借入額ノ減少、利息ノ定率ノ低減、償還年限  
ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セズシテ低利  
ノ借替ヲ爲ス場合ヲ除ク

**第九十三條** 左ニ掲グル事件ハ道知事ノ認可ヲ受クベシ

一 前條第一號以外ノ條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 基本財産ノ管理及處分ニ關スルコト

三 積立金等ノ設置、管理及處分ニ關スルコト但シ之ヲ其ノ目的ノ  
爲使用スル場合ヲ除ク

四 不動産ノ處分ニ關スルコト但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合  
ヲ除ク

五 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ  
又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト

**第九十四條** 監督官廳ノ認可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ認可申  
請ノ趣旨ニ反セズト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコト  
ヲ得

監督官廳ハ其ノ認可ヲ要スル事件中輕易ナルモノニ限り認可ヲ受ケ  
シメザルコトヲ得

**第七節 雜則**

**第九十五條** 退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與  
ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ其ノ處分アリタル日ヨリ六月以内  
ニ之ヲ府尹ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府尹ハ遲滞ナク之ヲ決定スベシ

**關係法規**

**第八十六條** 金庫ハ出納吏ノ通知アルニ非ザレバ現金ノ出納ヲ爲スコ  
トヲ得ズ

**第八十七條** 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ノ保管スル現金ハ府ノ歳入歳  
出ニ屬スルモノニ限り支出ニ妨ゲナキ限度ニ於テ府尹ハ其ノ運用ヲ  
許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ハ府尹ノ定ムル所ニ  
依リ利子ヲ納ムベシ

**第八十八條** 府ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス銀行ヨリ擔保ヲ徵スベシ其ノ  
種類、價格及程度ニ關シテハ道知事ノ認可ヲ受ケ府尹之ヲ定ム

**第八十九條** 府尹ハ定期及臨時ニ金庫ノ現金及帳簿ヲ検査スベシ

**第五章 特別經濟**

**第九十條** 特別經濟ニ屬スベキ費用中左ニ掲グルモノハ之ヲ一般經濟  
ノ支辨トス

一 府會議員ノ費用辨償其ノ他ノ會議費

二 吏員費、金庫費其ノ他ノ事務費

**第九十一條** 特別經濟ハ内地人教育ヲ目的トスルモノハ之ヲ第一部特  
別經濟、朝鮮人教育ヲ目的トスルモノハ之ヲ第二部特別經濟ト稱  
ス

**第六章 府ノ監督**

**第九十二條** 左ニ掲グル事件ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一 府稅及負擔金、電氣、瓦斯、軌道及自動車ノ使用料ニ關スル條  
例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 府債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ  
〔京城例〕

〔京城例三〕

關係者前項ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ  
三十日以内ニ之ヲ道知事ニ申立ツルコトヲ得

**第九十六條** 異議又ハ不服ノ申立及之ニ對スル決定ハ文書ヲ以テ爲ス  
ベシ第二十一條第二項、第四項又ハ第六項ノ規定ニ依リ申立並第二  
十四條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ求ムル申立及之ニ對スル決定亦同  
ジ

**第九十七條** 本令中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

**附則**

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二部特別經濟ノ費用ニ付テハ當分ノ内家屋稅附加稅ヲ賦課スルコト  
ヲ得

前項ノ規定ニ依リ賦課スル家屋稅附加稅ニ付テハ第四十五條ノ規定ヲ  
適用セズ

道制施行ノ日迄ハ第五十條中道稅トアルハ地方稅トス

**附則** (昭和十五年三月府令第七十三號)

本令ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令施行前法人ノ事業  
年度ノ終了シタルモノニ對スル特別所得稅附加稅ノ賦課ニ付テハ仍從  
前ノ規定ニ依ル

●府事務取扱規程

昭和十四年十二月十一日  
訓令第四十八號

**第一條** 府事務ノ取扱ニ關シテハ別ニ定ムルモノノ外本規程ニ依ルベ

- 第二條 府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經タル事件ニ付許可若ハ認可ノ申請ヲ爲シ又ハ報告ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ申請書若ハ報告書ニ府會又ハ教育部會ノ議決書寫及會議錄寫ヲ添附スベシ
- 前項ノ會議錄ハ其事件ニ關係アル部分ニ付記號ヲ附シタルモノ又ハ抜寫ヲ爲シタルモノナルコトヲ要ス
- 第三條 條例改正ノ認可申請書ニハ各條毎ニ新舊對照書ヲ添附スベシ
- 第四條 府制施行規則(以下單ニ規則ト稱ス)第四十七條ノ規定ニ依ル制限外賦課ニ關スル認可申請書ニハ税目、税率、賦課年度及事由ヲ記載スルノ外左ノ書類ヲ添附スベシ
  - 一 當該年度ノ歳入出豫算及説明書
  - 二 府有財産明細書
  - 三 府職員ノ現員現給調
  - 四 制限外賦課ヲ爲サントスル年度ノ前年度ニ於ケル收支調
  - 五 最近五箇年間ノ府稅負擔額調
- 第五條 規則第五十一條ノ規定ニ依ル夫役現品ノ賦課ニ關スル認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
  - 一 賦課目的及賦課ヲ必要トスル事由
  - 二 賦課區域及其ノ區域内ノ總戶數、賦課戶數並ニ役員數若ハ納入者數
  - 三 平均賦課率及等級別賦課率
  - 四 金額換算方法
  - 五 徵收方法

〔京城例三〕

- 官通牒第九號(府又ハ學校組合ノ起債ニ關スル件)及大正五年官通牒第八十八號(學校組合ノ起債ニ關スル件)ニ依ルノ外左ノ書類ヲ添附スベシ
  - 一 事業計畫概要書
  - 二 事業費明細書
  - 三 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 前項ノ規定ハ起債計畫及基金運用計畫承認ノ申請ニ付之ヲ準用ス
- 第十一條 規則第九十三條第二號乃至第四號ノ基本財産ノ管理及處分、積立金等ノ設置、管理及處分並ニ不動産ノ處分ニ關スル認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
  - 一 處分セントスルモノノ所在、種類、數量及價格但シ土地建物ニ付テハ其ノ位置及形狀ヲ表示シタル圖面ヲ添附スルコト
  - 二 處分ヲ要スル事由
  - 三 處分ノ方法現金ニ付テハ其ノ使途
  - 四 管理又ハ蓄積ノ現況
  - 五 物件ニ付テハ處分價格決定ノ根據及參考ト爲ルベキ賣買實例並ニ豫定價格千圓以上ノモノニ付テハ地方金融機關ノ評價格
  - 六 處分ニ依リ取得スベキ對價アルトキハ其ノ處置及第一號並ニ第五號ニ準ジタル事項
  - 七 其ノ他必要ト認ムル事項
- 第十二條 規則第九十三條第五號ノ繼續費ノ設定又ハ變更ニ關スル認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ正副二通提出スベシ
  - 一 設定又ハ變更ヲ要スル事由

關係法規

- 六 事業ニ要スル經費
- 第六條 規則第六十八條第二項ノ規定ニ依ル翌年度歳入繰上充用ニ關スル認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
  - 一 充用金額
  - 二 充用ノ事由
  - 三 豫算經理ノ狀況及收支現計表
  - 四 翌年度收支見込表
  - 五 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 第七條 歳入出決算報告ハ説明書ノ外左ノ書類ヲ添附シ翌年度九月末日迄ニ正副二通提出スベシ
  - 一 事業報告書
  - 二 稅外公課ノ徵收成績表
  - 三 基本財産、積立金等ノ收支計算表
  - 四 上水道使用料前納金收支計算表
- 第八條 規則第八十三條第一項ノ規定ニ依ル検査ハ毎月十日迄ニ其ノ前月分ヲ、規則第八十九條ノ規定ニ依ル定期検査ハ毎年三月末日ニ夫々之ヲ行フベシ
- 第九條 規則第八十五條第二項ノ規定ニ依ル金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行決定ニ關スル認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ
  - 一 一年度間府費取扱高見込表
  - 二 銀行ノ最近事業年度營業報告書、損益計算書、貸借對照表及最近月末現在貸借對照表並ニ財産明細表
- 第十條 規則第九十二條第二號ノ起債ニ關スル認可申請書ハ大正三年
  - 一 事業計畫ノ概要
  - 二 繼續年期及各年度別收支計算表
  - 三 變更ノ場合ハ既定繼續費トノ比較
  - 四 關スル認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
    - 一 負擔セントスル義務又ハ拋棄セントスル權利ノ内容
    - 二 義務ノ負擔又ハ權利ノ拋棄ヲ爲サントスル事由
    - 三 義務負擔ニ在リテハ其ノ年次別内譯及其ノ支辨方法
    - 四 權利ノ拋棄ニ付テハ府ノ財政ニ及ボス影響
- 第十四條 規則第九十六條ノ規定ニ依ル異議申立ノ決定書ニハ左ノ事項ヲ記載シ府尹之ニ記名捺印スベシ
  - 一 申立人ノ住所及氏名
  - 二 主文
  - 三 事實及理由
  - 四 決定ノ年月日
- 前項ノ決定書ハ配達證明郵便又ハ使丁ヲ以テ送達シ其ノ送達ヲ證スル書面ヲ原議書ニ添附スベシ
- 第十五條 府尹ハ遲滞ナク左ノ事件ヲ報告スベシ但シ特別ノ規定ニ依リ報告スベキモノハ此ノ限ニ在ラズ
  - 一 府會議員ノ選舉期日ヲ定メ又ハ變更シタルトキ若ハ選舉ニ關シ告示ヲ爲シタルトキハ其ノ期日及告示ノ寫
  - 二 吏員ニ懲戒ヲ行ヒタルトキハ其ノ事由、年月日及懲戒ヲ受ケタル者ノ職氏名並ニ懲戒ノ内容

〔京城例三〕

關係法規

- 三 府會又ハ教育部會ノ招集告知ヲ發シタルトキハ招集年月日及告知事件名
- 四 府會又ハ教育部會ヲ閉ヂタルトキハ其ノ會ノ議決書寫、會議錄寫、委員會ノ狀況、議員ニ配付シタル一切ノ參考書類寫及府制運用上參考ト爲ルベキ事項
- 五 規則第三十一條第一項但書ノ規定ニ依リ書面回議ヲ爲シタルトキハ其ノ願末
- 六 府制第二十七條ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日事由及處分事項
- 七 府尹ニ對シ府會又ハ教育部會ヨリ意見書提出アリタルトキハ其ノ處置願末
- 八 規則第九十六條ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ申立書及決定書ノ寫並ニ事實ヲ證スル書類
- 九 規則第八十九條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日及検査ノ願末
- 十 検査委員ヨリ府會又ハ教育部會ニ對シ府制第十五條ノ規定ニ依リ検査ノ願末ヲ報告アリタルトキハ其ノ内容及之ニ對スル府尹ノ意見
- 十一 府尹ノ事務引繼アリタルトキハ其ノ引繼書寫
- 十二 報告例七十二號ニ依リ府債ノ借入報告ヲ爲ストキハ其ノ借入契約書寫二部
- 十三 金庫事務取扱銀行ト契約ヲ爲シタルトキハ其ノ契約書寫
- 十四 重要ナル事件ニ付告示ヲ爲シタルトキハ其ノ事由及告示ノ寫
- 十五 現金、證券其ノ他財産ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ種類、數量、價格及其ノ賠償ニ關スル處置願末

- 十六 訴訟ヲ提起セラレタルトキハ事件ノ内容及之ニ對スル府尹ノ意見
  - 十七 其ノ他重要ト認ムル事件
- 附則  
本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●府制、學校組合令及朝鮮學校費改正經過規程

昭和五年十二月二十九日  
朝鮮總督府令第百八號

- 第一條 府ノ區域ヲ包含スル學校組合(以下單ニ學校組合ト稱ス)及府ノ學校費(以下單ニ學校費ト稱ス)ノ事務及財産ハ本令ニ依リ府之ヲ承繼ス
- 第二條 府ノ承繼シタル學校組合ノ事務及財産ハ府ノ第一部特別經濟ニ、學校費ノ事務及財産ハ府ノ第二部特別經濟ニ屬ス但シ會議及事務所ノ用ニ供セシ財産ハ府ノ一般經濟ニ屬ス
- 第三條 府ノ承繼シタル學校組合又ハ學校費ノ事務ニ關シ學校組合令若ハ學校組合令施行規則又ハ朝鮮學校費令若ハ朝鮮學校費令施行規則ニ依リ爲シタルモノト看做ス

〔京城例三〕

リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲亦前項ニ同ジ

- 第四條 府ノ特別經濟ノ府稅及使用料ニ關シ從前學校組合又ハ學校費ニ於テ行ヒタル組合費、賦課金又ハ使用料ニ關スル規定ハ府條例ヲ設定施行スルニ至ル迄ノ間府條例ト同一ノ效力ヲ有ス
- 第五條 昭和六年度ノ府ノ戶別稅ノ各人ノ賦課額ハ府尹之ヲ決定徵收シ府會又ハ教育部會ノ成立ヲ俟テ更ニ之ヲ其ノ議決ニ付スベシ
- 前項ノ場合ニ於テ府會又ハ教育部會ノ議決ニ依リ賦課額ヲ變更シタルトキハ次ノ納期ニ於テ差引徵收又ハ還付ヲ爲スベシ
- 第六條 昭和五年度學校組合又ハ學校費ノ收支ハ昭和六年三月三十一日ヲ以テ打切り府尹之ヲ決算スベシ
- 前項ノ決算ノ處理ニ付テハ府ノ特別經濟ノ決算ノ處理ノ例ニ依ル
- 第七條 府制第九條第一項ニ規定スル府稅納付ノ要件ニ付テハ從前負擔シタル學校組合費又ハ學校費賦課金ハ之ヲ同項ニ規定スル府稅ト看做ス
- 第八條 學校組合ニ於テ爲シタル組合費、使用料、過料若ハ夫役現品ノ賦課徵收又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關スル處分ニ付異議アル者ハ從前ノ規定ニ依ル期間内ニ之ヲ府尹ニ申立ツベシ其ノ學校組合ノ管理者ニ申立テタル異議ハ之ヲ府尹ニ申立テタル異議ト看做ス
- 前項ニ規定スル異議ノ決定及其ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ府制施行規則第五十九條第四項ノ規定ヲ準用ス
- 第一項ニ規定スル事件ニ關スル異議ニ付學校組合會ノ爲シタル決定ニ對スル異議ノ申立ニ付テハ從前ノ例ニ依ル
- 第九條 學校組合ノ組合員タリシ者ニシテ府ノ區域外ニ於ケル從前ノ關係法規

●府會議員ノ增員選舉ノ特例ニ關スル件

昭和十一年五月二日  
朝鮮總督府令第三十二號

- 第一條 府ノ區域變更ニ因リ府制第八條第五項但書ノ規定ニ依リ府會議員ノ定數ヲ增加シタル爲選舉ヲ行フ場合及府制第十二條第二項ノ規定ニ依リ同選舉ト併セテ補闕選舉ヲ行フ場合ニ於テ道知事特別ノ事情アリト認ムルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ區域ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得
- 選舉分會ノ名稱及其ノ區域並ニ各選舉分會ニ配當スベキ議員數ハ道知事之ヲ定ム
- 第二條 選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉分會ヲ定ム
- 選舉人名簿調製後選舉人ノ所屬ニ異動ヲ生ズルコトアルモ其ノ選舉入ハ前所屬ノ選舉分會ニ於テ投票ヲ爲スベシ

第三條 選舉人名簿ハ選舉分會毎ニ之ヲ調製スベシ

選舉人名簿ノ縦覽ハ府廳又ハ府尹ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ爲スベシ

第四條 内地人又ハ朝鮮人ノ當選者ノ數ヲ現ニ府會議員ノ職ニ在ル内地人又ハ朝鮮人ノ數ト合スルトキハ府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ヲ下ルノ虞アル場合ニ於テハ府尹ハ豫メ其ノ最少員數ニ滿ツル迄内地人又ハ朝鮮人別ニ當選者ヲ定ムベキ選舉分會ヲ指定スベシ

第五條 府尹ハ選舉期日ヨリ少クトモ三十日前ニ選舉會場、選舉ノ日時、選舉分會ノ區域、選舉分會ニ於テ選舉スベキ議員數及前條ノ規定ニ依リ指定シタル選舉分會アルトキハ其ノ名稱ヲ告示スベシ

各選舉分會ノ投票ハ同日時ニ之ヲ行フ  
天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ府尹ハ其ノ投票ヲ行フベキ選舉分會ノミニ付期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ少クトモ選舉期日ヨリ五日前ニ之ヲ告示スベシ

天災事變ノ爲投票ヲ行フコト能ハザルトキハ府尹ハ更ニ開票ノ期日ヲ定メ告示スベシ此ノ場合ニ於テ選舉會場ノ變更ヲ要スルトキハ豫メ更ニ場所ヲ告示スベシ

第六條 選舉分會ハ府尹又ハ其ノ指定シタル官吏若ハ吏員選舉分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ズ

第七條 府尹ハ選舉分會毎ニ當該選舉分會ノ區域内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スベシ

府尹ハ前項ノ投票立會人ノ中ヨリ選舉立會人ヲ選任スベシ

第八條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉分會長之ヲ決定スベシ

第九條 選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ選舉分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ府尹ニ送致スベシ

第十條 選舉分會長ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ投票函ト同時ニ之ヲ府尹ニ送致スベシ

第十一條 選舉分會ニ於ケル有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ當該選舉分會ニ於ケル當選者トス但シ各選舉分會ヲ通ジ内地人又ハ朝鮮人ノ當選者ノ數現ニ府會議員ノ職ニ在ル内地人又ハ朝鮮人ノ數ト合シ府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ニ滿ツル迄ハ第四條ノ規定ニ依リ指定シタル選舉分會ニ於テハ内地人又ハ朝鮮人別ニ當選者ヲ定ムベシ第一條ノ規定ニ依リ設置シタル選舉分會一ナルトキハ當該選舉分會ニ付亦同ジ

府制施行規則第二十二條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムル場合ニ於テハ當該選舉分會ニ付前項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムル場合ニ於テ當該選舉分會二以上アルトキハ府制第八條第六項ニ規定スル最少員數ニ滿ツル迄第一項但書ノ規定ヲ準用シテ當選者ヲ定ムベキ選舉分會ハ府尹抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第十二條 一人ニシテ數選舉分會ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ヲ辭スベキカヲ府尹ニ申立ツベシ

〔京城例〕

其ノ期間内ニ之ヲ申立テザルトキハ府尹抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第十三條 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキ若ハ定數ニ達セザルニ至リタルトキハ本令ニ依リ更ニ當該選舉分會ニ於テ選舉ヲ行フベシ

第十四條 必要アルトキハ府尹ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ選舉分會ノ區域内ニ於テ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

府會議員増員選舉特例施行ニ關スル件

昭和十一年五月二日  
內務局長通牒

今般府令第三十二號ヲ以テ首題ノ件發布セラレタル處右ハ府ノ區域變更ニ因リ府制第八條第五項但書ノ規定ニ依リ府會議員ノ定數ヲ増加シタル爲行フ選舉及府制第十二條第二項ノ規定ニ依リ行フ補闕選舉ニシテ府制施行規則ノ規定ニ依ルヲ適當トセザル特殊ノ事情存スル場合ニ限り之ヲ適用スルコトヲ得シメントスル趣旨ナルガ之ガ施行ニ關シ左記事項留意相成度

記

一 本令ニ依リ行フ選舉ニ關シテハ昭和六年二月總督府訓令第六號府會議員、邑會議員及商協議會會員ノ選舉ニ關スル規程ニ準ジ執行

關係法規

一 本令第一條ノ規定ニ依リ認可申請ニハ道令案ノ外選舉分會ノ區域設定ノ理由及配當議員數算定ノ基礎ト爲ルベキ各選舉分會ノ區域内ノ人口、有權者數等竝ニ特別ノ事情アルトキハ之ヲ詳具シ仍選舉分會ノ區域ヲ表示シタル圖面ヲ添附スルコト

二 選舉分會ハ必要ニ應ジ府ノ區域ノ全部又ハ一部ニ付之ヲ設定スルコトヲ得

三 選舉分會ニ配當スベキ議員數ハ増員議員數及同時ニ補闕選舉ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ議員數ヲ謂フモノトス

四 選舉分會ノ數ハ府制第八條第六項ノ規定ニ依リ最少員數調節ノ關係上可成之ヲ限定スルヲ可トス

五 被選舉人ハ各選舉分會ニ通ジテ選舉セラル、コトヲ得ルモノトス

六 選舉人名簿縦覽ノ場所ハ可成府出張所其ノ他選舉分會場ト爲スベキ場所ヲ指定セシメ官吏又ハ官吏立會ノ上縦覽セシムルコト

七 本令第五條ニ於テ選舉會場トハ選舉分會場及開票會場ヲ、選舉ノ日時トハ投票及開票ノ日時ヲ、選舉期日トハ投票ノ日ヲ指稱スルモノトス

八 本令ニ依リ一ノ選舉分會ヲ設ケテ行ヒタル選舉ニ於テ最少員數ヲ滿チシムル爲當選者ヲ定ムルノ要アルトキハ第十一條但書後段ノ規定ニ依ルベキモノナルヲ以テ第四條ノ規定ニ依リ選舉分會ノ指定ハ之ヲ要セザルモノトス



關係法規

テ其ノ年齢ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ當選者ト定メタリ(同年同月同日ナルヲ以テ府尹ニ於テ抽籤シタル氏名當籤セリ依テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ)

第何(何々)選舉分會

氏名

第何(何々)選舉分會

氏名

(右ノ内各選舉分會毎ニ配當議員數ニ相當スル當選者ヲ定ムルトキハ最少員數ニ内地人(朝鮮人)何人不足スルヲ以テ之ニ滿ツル迄府會議員ノ増員選舉ノ特例ニ關スル件第四條ノ規定ニ依リ指定シタル選舉分會ニ於テ左ノ者ヲ當選者ト定メタリ但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同ジキヲ以テ何々

第何(何々)選舉分會

氏名

(右ノ内各選舉分會毎ニ配當議員數ニ相當スル當選者ヲ定ムルトキハ最少員數ニ内地人(朝鮮人)何人不足スルヲ以テ之ニ滿ツル迄府會議員ノ増員選舉ノ特例ニ關スル件第四條ノ規定ニ依リ指定シタル第何(何々)、第何(何々)、及第何(何々)選舉分會ノ順序ニ依リ順次左ノ者ヲ當選者ト定メタリ但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同ジキヲ以テ何々

第何(何々)選舉分會

氏名

第何(何々)選舉分會

氏名

(其ノ餘ノ被選舉人ノ内選舉分會毎ニ有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以テ當選者トス但シ氏名ハ得票ノ數相同ジキヲ以テ何々

第何(何々)選舉分會

氏名

第何(何々)選舉分會

氏名

十一 府尹ハ投票ノ有效無效ヲ區別シ各別ニ之ヲ括束シ更ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ封印セリ  
十二 午前(午後)何時選舉事務ヲ了シタリ  
十三 左ノ者ハ選舉會ノ事務ニ從事シタリ

職 氏

職 氏

官職 氏

選舉會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

府尹ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス

昭和何年何月何日

何道何府尹 氏

選舉立會人 氏

氏

氏

氏

氏

〔京城例〕

備考 様式ニ掲グル事項ノ外府尹ニ於テ選舉ニ關シ緊要ナル事項アリト認ムルトキハ之ヲ記載スベシ

告示様式

何府告示第 號

府制第八條第五項但書ノ規定ニ依リ府會議員ノ定數ヲ増加シタル爲行フ選舉(及府制第十二條第二項ノ規定ニ依ル補關選舉)左記ニ依リ之ヲ執行ス

昭和何年何月何日

記

一 選舉ノ日時

昭和何年何月何日午前何時ヨリ午後何時迄

二 選舉會場(及投票分會場)

第何(何々)選舉分會場

(内)

(何々)投票分會場

(何々)投票分會場

第何(何々)選舉分會

何ノ場所

何ノ場所

何ノ場所

何々

三 選舉分會ノ區域(及投票分會ノ區域)

第何(何々)選舉分會

何々何々

關係法規

〔京城例〕

(何々)投票分會

(何々)投票分會

第何(何々)選舉分會

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々

何々何々



### ●府邑面、學校費、學校組合ノ廢置又ハ區域變更等ノ場合ニ於ケル事務及財産ニ關スル件

昭和六年五月六日  
朝鮮總督府令第五十七號

**第一條** 府邑ノ設置アリタル場合ニ於テハ府尹又ハ邑長ハ歲入出豫算ガ府會、教育部會又ハ邑會ノ議決ヲ經テ成立スルニ至ル迄ノ間必要ナル收支ニ付豫算ヲ設ケ府ニ在リテハ道知事、邑ニ在リテハ郡守又ハ島司ノ認可ヲ受クベシ

**第二條** 府邑面ノ設置アリタル場合ニ於テハ道知事ハ必要ナル事項ニ付府條例又ハ邑面規則ヲ設定施行セラルルニ至ル迄ノ間從來其ノ地域ニ施行セラレタル府條例又ハ邑面規則ヲ新ニ設置セラレタル府ノ條例又ハ邑面ノ規則トシテ當該地域ニ引續キ施行スルコトヲ得

**第三條** 府邑面ノ廢置アリタル場合ニ於テハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル府邑面其ノ事務ヲ承繼ス其ノ地域ニ依リ難キトキハ道知事ハ事務ノ分界ヲ定メ又ハ承繼スベキ府邑面ヲ指定ス

定ニ拘ラズ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

**第四條** 郡島ノ廢置アリタル場合ニ於テハ學校費ノ事務ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル郡島ノ學校費又ハ府之ヲ承繼ス其ノ地域ニ依リ難キトキハ道知事ハ事務ノ分界ヲ定メ又ハ承繼スベキ學校費又ハ府ヲ指定ス

前項ノ規定ニ依リ府ノ承繼シタル學校費ノ事務ハ府ノ第二部特別經濟ニ屬ス

**第五條** 府邑面ノ區域變更アリタル場合ニ於テ事務ノ分割ヲ要スルトキハ其ノ事務ノ分割及承繼ニ付テハ道知事之ヲ定ム

郡島ノ區域變更アリタル場合又ハ學校組合令第四條ノ二第二項ノ場合ニ於テ學校費又ハ學校組合ノ事務ノ分割ヲ要スルトキ亦前項ニ同シ

**第六條** 學校組合令第四條ノ二第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ學校組合消滅シ又ハ廢止セラレタル場合ニ於テハ其ノ事務及財産ハ府之ヲ承繼ス

前項ノ規定ニ依リ府ノ承繼シタル事務及財産ハ府ノ第一部特別經濟ニ屬ス但シ退隱料又ハ遺族扶助料ノ支給ニ關スル義務並會議及事務所ノ用ニ供セシ財産ハ府ノ一般經濟ニ屬ス

**第七條** 學校組合ノ分割アリタル場合ニ於テ其ノ事務ノ分割ヲ要スルトキハ其ノ事務ノ分割及承繼ニ付テハ道知事之ヲ定ム

**第八條** 學校組合ヲ合併シタル場合ニ於テハ其ノ合併ニ因リテ消滅シタル學校組合ノ事務ハ合併後存續スル學校組合又ハ合併ニ因リテ設置シタル學校組合之ヲ承繼ス

〔京城例〕

### 第九條

府邑面ノ廢置アリタル場合ニ於テ消滅シタル府邑面ノ收支ハ消滅ノ日ヲ以テ之ヲ打切り其ノ府尹又ハ邑面長タリシ者之ヲ決算スベシ

府ノ設置若ハ區域變更又ハ學校組合ノ分合アリタル場合ニ於テ消滅シタル學校組合ノ收支ハ消滅ノ日ヲ以テ打切り其ノ管理者タリシ者之ヲ決算スベシ

**第十條** 郡島ノ廢置アリタル場合ニ於テ消滅シタル學校費ノ收支ハ消滅ノ日ヲ以テ打切り其ノ事務ノ擔任者タリシ郡守又ハ島司之ヲ決算スベシ

前項ノ決算ハ事務ヲ承繼シタル府邑面、學校費又ハ學校組合ニ於テ各其ノ決算處理ノ例ニ依リ之ヲ處理スベシ

**第十一條** 學校組合令第四條ノ二第三項ノ場合ヲ除クノ外學校組合ノ廢止アリタル場合ニ於テハ其ノ學校組合ノ管理者タリシ者其ノ殘務ヲ處理スベシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ殘務ノ處理ニ付テハ仍學校組合存續スルモノト看做ス

**第十二條** 面ヲ廢シテ邑ヲ設置シ又ハ邑ヲ廢止シテ面ヲ設置シタル場合ニ於テハ其ノ事務及財産ノ關係ニ付テハ新ニ設置シタル邑又ハ面ハ從前ノ面又ハ邑ノ存續ト看做ス

前項ノ場合ニ於テ現ニ面協議會員又ハ邑會議員ノ職ニ在ル者ハ邑會議員又ハ面協議會員トシテ其ノ殘任期間在任ス

關係法規

第一項ノ場合ニ於テ邑面制又ハ之ニ依リテ發スル命令中面又ハ邑ニ關スル規定ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ邑又ハ面ニ關スル規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

第一項ノ場合ニ於テ現ニ面又ハ邑ノ書記、技手、會計員又ハ區長ノ職ニ在ル者ハ引續キ邑又ハ面ノ書記、技手、會計員又ハ區長ヲ命ゼラレタルモノト看做ス

**第十三條** 學校組合令第四條ノ二第三項ノ規定ニ依リ學校組合廢止セラレタル場合ニ於テ府ノ區域ト爲ラザル地域内ニ引續キ住所ヲ有スル從前ノ學校組合ノ組合員ハ學校組合廢止後當分ノ内府ノ學校ヲ共用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ府ノ學校ヲ共用スル者ハ府住民ノ例ニ依リ府ノ第一部特別經濟ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第一項ノ規定ニ依リ學校ヲ共用セントスル者ハ其ノ學校組合廢止セラレタル日ヨリ一月内ニ其ノ旨ヲ府尹ニ申出ヅベシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ●府邑面、學校費又ハ學校組合ノ吏員等ノ服務規律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル件

昭和六年四月一日  
朝鮮總督府令第三十號

第一章 服務規律

第一條 府邑面、學校費又ハ學校組合ノ吏員(以下單ニ吏員ト稱ス)ハ忠實勤勉ヲ旨トシ法令ニ從ヒ其ノ職務ニ盡スベシ

第二條 吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハズ廉恥ヲ重ンジ品位ヲ傷フノ所爲アルベカラズ

吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハズ職權ヲ亂用セズ懇切公平ナルコトヲ努ムベシ

第三條 吏員ハ總テ公務ニ關スル機密ヲ私ニ漏洩シ又ハ未發ノ事件若ハ文書ヲ私ニ漏示スルコトヲ得ズ其ノ職ヲ退キタル後ニ於テモ亦同シ

裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ祕密ニ付訊問ヲ受クルトキハ指揮監督者ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得事實參考ノ爲訊問ヲ受クル者ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テ吏員ノ掌ル國、道其ノ他公共團體ノ事務ニ付テハ國、道其ノ他公共團體ノ代表者ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第四條 有給ノ吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ營業ヲ爲シ又ハ給料若ハ報酬ヲ得テ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ズ

第五條 有給ノ吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ擅ニ職務ヲ離レ又ハ職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ズ

第六條 吏員ハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハズ自己又ハ他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ供給セシムルノ約束ヲ爲スコトヲ得ズ

吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハズ自己又ハ他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ受クルコトヲ得ズ

トヲ得ズ

第七條 左ニ掲グル者ト直接ノ關係ヲ有スル職務ニ在ル吏員ハ其ノ者又ハ他ノ者ノ爲ニスル者ノ懇請ヲ受クルコトヲ得ズ

一 府邑面、學校費又ハ學校組合ニ對シ工事等ノ請負又ハ物件勞力等ノ供給ノ契約ヲ爲ス者

二 府邑面、學校費又ハ學校組合ニ屬スル金錢ノ出納保管ヲ擔任スル者

三 府邑面、學校費又ハ學校組合ヨリ補助金又ハ利益ノ保證ヲ受クル起業者

四 府邑面、學校組合ト土地物件ノ賣買贈與貸借又ハ交換ノ契約ヲ爲ス者

五 其ノ他府邑面、學校費又ハ學校組合ヨリ現ニ利益ヲ得又ハ得ントスル者

第八條 本章ノ規定ハ邑面長及學校組合管理者ニ付之ヲ準用ス但シ第四條ノ規定ハ邑面長及名譽職タル學校組合管理者ニ、第五條ノ規定ハ名譽職タル學校組合管理者ニ付之ヲ準用セズ

前項ノ場合ニ於テ本章ノ規定中指揮監督者トアルハ第一次監督官廳トス

第二章 賠償責任及身元保證

第九條 府ノ出納吏又ハ邑面若ハ學校組合ノ出納事務ヲ掌ル吏員其ノ掌管ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財產ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ府尹、邑面長又ハ學校組合管理者ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムベシ但シ避クベカラザル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使

〔京城例〕

用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラザリシトキハ府會、教育部會、邑會若ハ學校組合ノ議決又ハ面協議會ノ諮問ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スベシ

邑面長又ハ學校組合管理者其ノ掌管ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財產ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ第一次監督官廳ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムベシ但シ避クベカラザル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラザリシトキハ邑會、面協議會又ハ學校組合ノ意見ヲ徵シ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スベシ

第十條 府ノ出納吏又ハ邑面若ハ學校組合ノ出納事務ヲ掌ル吏員府制施行規則第七十一條、邑面制施行規則第七十一條又ハ學校組合令施行規則第五十三條ノ規定ニ違反シテ支出ヲ爲シタルトキハ府尹、邑面長又ハ學校組合管理者ハ期間ヲ指定シ之ニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償セシムベシ

第十一條 吏員其ノ職務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ府尹、郡守、島司、邑面長又ハ學校組合管理者ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムベシ

邑面長又ハ學校組合管理者其ノ職務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ第一次監督官廳ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムベシ

第十二條 前三條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ付不服アルトキハ處分アリタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ通知事ニ申立ツルコトヲ得

邑面長又ハ學校組合管理者ノ處分ニ付前項ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テ關係法規

〔京城例〕

ハ其ノ申立ハ郡守又ハ島司ヲ經由スベシ

第十三條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ府稅、邑面稅、學校費賦課金又ハ學校組合費ノ例ニ依ル

第十四條 吏員又ハ府ノ出納吏ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認ムルトキハ府尹、郡守、島司、邑面長又ハ學校組合管理者ハ道知事ノ認可ヲ受ケ其ノ種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムベシ

第一次監督官廳必要アリト認ムルトキハ邑面長又ハ學校組合管理者ヲシテ身元保證ヲ邑面又ハ學校組合ニ提出セシムルコトヲ得其ノ種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ハ道知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムベシ

第三章 事務引繼

第十五條 邑面長又ハ學校組合管理者更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ七日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼グベシ後任者ニ引繼グコトヲ得ザル事情アルトキハ之ヲ邑面長又ハ學校組合管理者ノ職務ヲ代理スル者ニ引繼グベシ此ノ場合ニ於テハ代理者ハ後任者ニ引繼グコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ之ヲ引繼グベシ

前項ノ規定ニ依ル引繼ノ場合ニ於テハ書類帳簿及財產ノ目錄、收支ニ關スル計算書並ニ處分未濟若ハ未著手又ハ將來企畫スベキ見込ノ事項ニ付其ノ順序方法及意見ヲ記載シタル書面ヲ調製スベシ

第十六條 府ノ出納吏又ハ邑面若ハ學校組合ノ出納事務ヲ掌ル吏員更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ七日以内ニ其ノ擔任スル事務

務ヲ後任者ニ引繼グベシ後任者ニ引繼グコトヲ得ザル事情アルトキハ之ヲ府尹、邑面長又ハ學校組合管理者ニ引繼グベシ此ノ場合ニ於テ府尹、邑面長又ハ學校組合管理者ハ後任者ニ引繼グコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ之ヲ引繼グベシ

前項ノ規定ニ依ル引繼ノ場合ニ於テハ現金ニ付テハ收支計算書、書類帳簿其ノ他ノ物件ニ付テハ目録ヲ調製シ仍帳簿ニハ事務引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ次ニ合計高及年月日ヲ記入シ且引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受クル者之ニ連署スベシ

前二項ノ規定ハ會計員ヲ置カザル面ノ面長又ハ出納事務ヲ掌ル學校組合管理者ノ更迭ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 第十五條第二項及前條第二項ノ規定ニ依リ調製スベキ書類帳簿物件及財産ノ目録ハ現ニ設備セル目録又ハ臺帳ニ依リテ引繼ヲ爲ストキノ現在ノ確認シ得ル場合ニ於テハ之ヲ以テ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ引繼書ニ記載スベシ

第十八條 第十五條又ハ第十六條ノ規定ニ依ル期間内ニ引繼ヲ了スルコトヲ得ザルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十九條 第十五條乃至前條ノ規定ハ府邑面若ハ學校組合ノ廢置、區域ノ變更又ハ學校組合ノ分合アリタル場合ニ於ケル邑面長、學校組合管理者、府ノ出納吏又ハ邑面若ハ學校組合ノ出納事務ヲ掌ル吏員ノ事務引繼ニ付之ヲ準用ス

第二十條 事務ノ引繼終リタルトキハ府尹、邑面長又ハ學校組合管理者ハ直ニ願末ヲ具シ第一次監督官廳ニ報告スベシ

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第四號及第五號、大正五年朝鮮總督府令第十五號並ニ大正六年朝鮮總督府令第三十九號ハ之ヲ廢止ス

道制施行ノ日迄ハ第三條中道トアルハ道地方費トス

●府會議員、邑會議員及面協議會員ノ選舉ニ關スル規程

昭和六年二月二十五日  
朝鮮總督府訓令第六號

第一條 府會議員、邑會議員及面協議會員ノ選舉ハ他ノ法令中別段ノ定アルモノノ外本規定ニ依リ執行スベシ

第二條 府制施行規則第六條又ハ邑面制施行規則第五條ノ規定ニ依リ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供セントスルトキハ府尹又ハ邑面長ハ縱覽開始ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第三條 府制施行規則第九條又ハ邑面制施行規則第八條ノ規定ニ依リ選舉人名簿ノ調製、縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ヲ定メタルトキハ道知事又ハ郡守、島司ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第四條 府制施行規則第十二條第二項若ハ第四項ノ規定ニ依リ選舉立會人若ハ投票立會人又ハ邑面制施行規則第十一條第二項ノ規定ニ依リ選舉立會人ハ選舉期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ選任シ別記様式ニ依リ選任狀ヲ本人ニ交付スベシ但シ臨時急施ヲ要スル場合ハ適宜

〔京城例〕

ノ措置ヲ爲スコトヲ得

第五條 府尹投票立會人ヲ選任シタルトキハ直ニ之ヲ投票分會長ニ通知スベシ

第六條 選舉會場(又ハ投票分會場)ニハ其ノ門戸ニ標札ヲ掲グベシ

第七條 選舉會場(又ハ投票分會場)ニ於ケル選舉人ノ出入口ハ成ルベク之ヲ各別ト爲スベシ

第八條 府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長必要アリト認ムルトキハ到著番號札ヲ選舉人ニ交付スルコトヲ得

第九條 投票記載ノ場所ハ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ノ交換其ノ他ノ不正ノ手段ヲ用フルコト能ハザラシムル爲相當ノ設備ヲ爲スベシ

第十條 投票函ハ成ルベク二重ノ蓋ヲ作り各別ニ鎖鑰ヲ設クベシ

第十一條 府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ選舉會場(又ハ投票分會場)ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後蓋(又ハ内蓋)ヲ鎖スベシ

第十二條 投票函ノ蓋(又ハ内蓋)ヲ鎖シタルトキハ其ノ鑰ハ府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長ニ於テ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人(又ハ投票立會人)ト共ニ封印ヲ爲シ府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長之ヲ保管スベシ

第十三條 府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長ハ選舉立會人(又ハ投票立會人)ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿(又ハ選舉人名簿ノ抄本)ニ對照シ且成ルベク選舉人ヲシテ別記様式ニ依ル投票簿ニ捺印セシメタル後投票用紙ヲ交付スベシ

第十四條 選舉人誤リテ投票用紙ヲ汚損シタルトキハ府尹(又ハ投票

分會長)又ハ邑面長ハ其ノ請求ニ依リ前交付ノ分ト引換ニ再交付ヲ爲スベシ

〔京城例〕

第十五條 投票ハ府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長及選舉立會人(又ハ投票立會人)ノ面前ニ於テ選舉人ヲシテ自ラ之ヲ投函セシムベシ

第十六條 選舉人投票前選舉會場(又ハ投票分會場)外ニ退出シ又ハ退出ヲ命ゼラレタルトキハ府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長ハ投票用紙ヲ返付セシムベシ

第十七條 投票ヲ終リタルトキハ府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長ハ選舉立會人(又ハ投票立會人)ト共ニ投票函ノ投票口(及外蓋)ヲ鎖スベシ

投票函ノ外蓋ノ鎖ハ第十二條ノ例ニ依リ府尹(又ハ投票分會長)又ハ邑面長之ヲ保管スベシ

第十八條 投票函ハ其ノ閉鎖後府尹ニ送達スル場合ノ外之ヲ會場外ニ搬出スルコトヲ得ズ

第十九條 府尹又ハ邑面長ハ投票ノ當日(府ニ於テ投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送達ヲ受ケタル後)選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スベシ

第二十條 府尹又ハ邑面長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スベシ

第二十一條 投票ヲ點檢スルトキハ府尹又ハ邑面長ハ選舉事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一被選舉人ノ得票ヲ別記様式ニ依ル得票簿ニ記入シ其ノ得票數ヲ計算セシムベシ

第二十二條 前條ノ計算終リタルトキハ府尹又ハ邑面長ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀スベシ

關係法規

- 第二十三條 府尹又ハ邑面長ハ投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ封印ヲ施スベシ
- 第二十四條 府制施行規則第二十一條第一項又ハ邑面制施行規則第二十一條第一項ノ規定ニ依ル當選ノ告知ハ別記様式ニ依リ之ヲ爲スベシ
- 第二十五條 選舉人名簿及府會議員ノ選舉人名簿ノ抄本ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
- 第二十六條 投票用紙ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
- 第二十七條 選舉錄及投票錄ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

選任狀様式

選任狀

府制施行規則第十二條第二項(府制施行規則第十二條第四項)(邑面制施行規則第十一條第二項)ノ規定ニ依リ昭和何年何月何日ヲ以テ行フ府會議員(邑會議員)(面協議會員)ノ選舉立會人(投票立會人)ニ選任シタルニ付選舉當日午前何時迄ニ選舉會場(投票分會場)タル何場所ヘ參著相成リ度シ

昭和何年何月何日

何府尹(何邑面長) 氏

氏 名 宛

名 印

投票簿様式

投票簿

選舉人名簿番號	氏	名	印

得票簿様式

得票簿

總得票數	票	被選舉人氏名
一	二	三
四	五	六
七	八	九
十		

當選告知書様式

當選告知書

昭和何年何月何日行ヒタル府會議員(邑會議員)(面協議會員)ノ選舉ニ於テ當選セラレタルニ付告知ス

昭和何年何月何日

何府尹(何邑面長) 氏

氏 名 宛

名 印

選舉人名簿様式

番號	府稅(邑面稅)納額	住	所	生年月日	氏名

〔京城例〕

番號	府稅(邑面稅)納額	住	所	生年月日	氏名

表紙

昭和何年何月何日現在調

府(邑)會議員(面協議會員)選舉人名簿

何道府尹(何郡島何邑)(何面)

備考

- 一本名簿ハイ、ロ、ハ別ニ口座ヲ設ケ番號ハ各口座ヲ通ジテ之ヲ記入スベシ(府ニ於テ投票分會ヲ設ケ區域毎ニ本名簿ヲ區分スル場合ハ各別ニ同様ノ處理ヲ爲スモノトス)
- 本名簿ハ之ヲ分綴スルモ妨ガナシ此ノ場合ニ於テハ各表紙ニ「何冊ノ内何號」ト記載スベシ

關係法規

〔京城例〕

- 三 府稅(邑面稅)納額ハ名簿調製期日ノ屬スル年度ノ前年度ノ賦課額ヲ記載スベシ
- 四 選舉人名簿ヲ調製シタルトキハ卷末ニ左ノ如ク記載スベシ  
此ノ選舉人名簿ハ昭和何年何月何日ノ現在ニ依リ之ヲ調製セリ  
何道府尹(何郡島何邑面長) 氏 名 印
- 五 選舉人名簿ヲ縱覽ニ供シタルトキハ卷末ニ左ノ如ク記載スベシ  
此ノ選舉人名簿ハ昭和何年何月何日ヨリ七日間府廳(邑面事務所)ニ於テ縱覽セシメタリ  
何道府尹(何郡島何邑面長) 氏 名 印
- 六 決定ニ依リ選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ旨及修正ノ年月日ヲ其ノ欄外ニ記載シ府尹(邑面長)檢印スベシ
- 七 選舉人名簿確定シタルトキハ卷末ニ左ノ如ク記載スベシ  
此ノ選舉人名簿ハ昭和何年何月何日ヲ以テ確定セリ  
何道府尹(何郡島何邑面長) 氏 名 印

府會議員選舉人名簿抄本様式

番地	府稅納額	住	所	生年月日	氏名

關係法規

番號	府稅納額	住	所	生年月日	氏名
			里洞町	番地	年月日

表紙

昭和何年何月何日現在調  
府會議員選舉人名簿抄本

何道何府會議員選舉何何投票分會

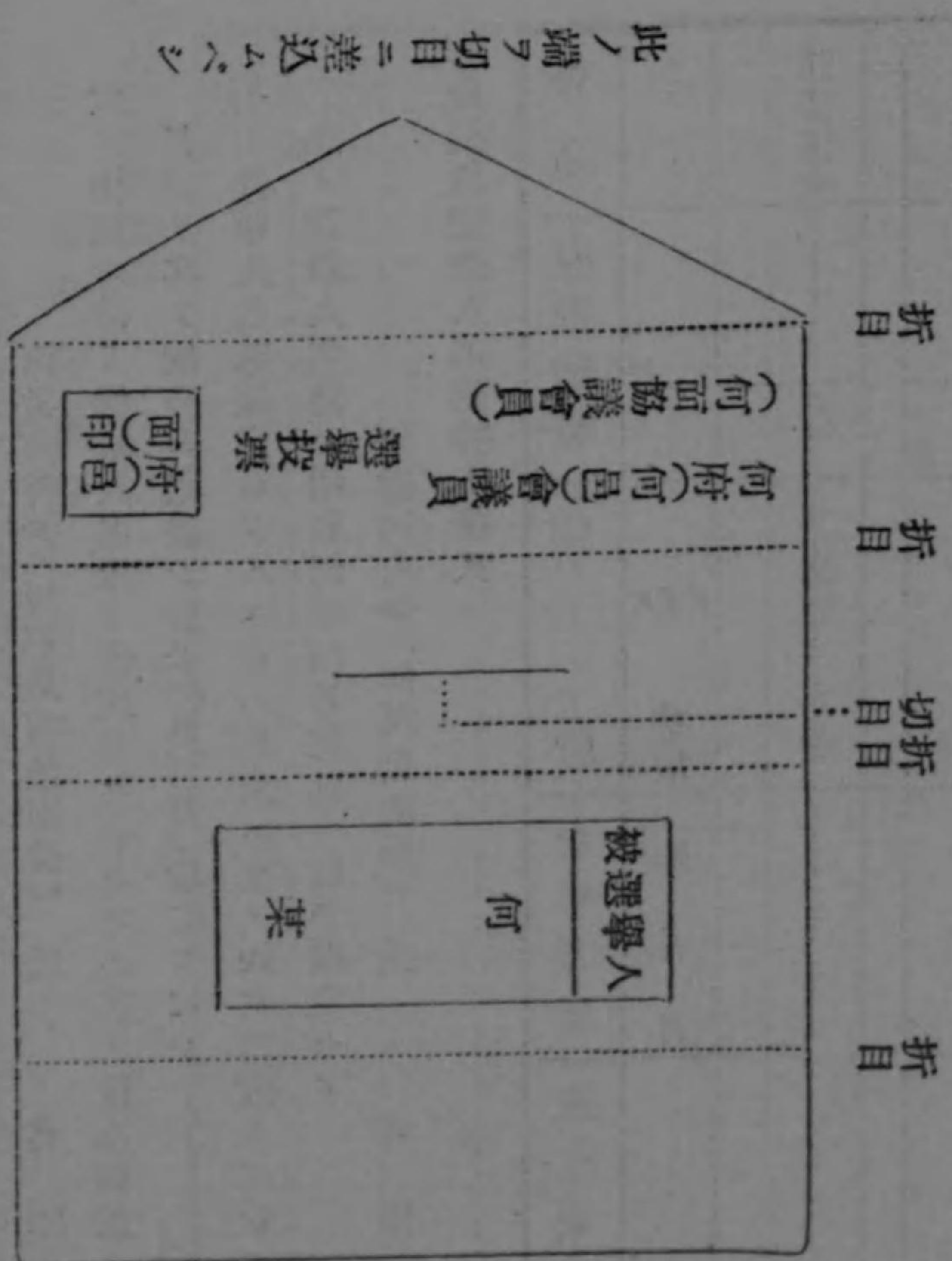
備考

- 一 選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ此ノ選舉人名簿ノ抄本ヲモ修正シ其ノ旨及修正ノ年月日ヲ其ノ欄外ニ記載シ府尹檢印スベシ
  - 二 選舉人名簿抄本ヲ調製シタルトキハ卷末ニ左ノ如ク記載スベシ
- 此ノ選舉人名簿抄本ハ昭和何年何月何日確定ノ選舉人名簿ニ依リ之ヲ調製セリ

何道何府尹 氏

名 印

投票用紙様式



五五四

選舉錄様式

- 昭和何年何月何日 行何道何府(何郡島何邑)會議員(何郡島何面協議會)選舉會選舉錄
- 一 府(邑)會議員(面協議會員)何人選舉ノ爲何府廳(何邑面事務所)(何ノ場所)ニ選舉會場ヲ設ケタリ
- 二 左ノ選舉立會人ハ何レモ投票時刻迄ニ選舉會ニ參會シタリ

住所 氏

名

〔京城例〕

- 住所 氏 名
  - 住所 氏 名
  - 住所 氏 名
- 投票時刻ニ至リ選舉立會人中氏名參會セザルニ依リ府尹(邑面長)ハ臨時ニ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

- 三 選舉會ハ昭和何年何月何日午前(午後)何時ニ之ヲ開キタリ
- 四 府尹(邑面長)ハ選舉立會人ト共ニ投票ニ先テ選舉會ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後蓋(又ハ内蓋)ヲ鎖シ府尹(邑面長)及選舉立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

- 五 府尹(邑面長)ハ選舉立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿ニ對照シタル後(到著番號札ト引換ニ)投票用紙ヲ交付シタリ
- 六 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ定數ヲ闕キタルニ依リ府尹(邑面長)ハ臨時ニ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

- 住所 氏 名
  - 住所 氏 名
- 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタルモ尙選舉立會人ハ二人(三人)在リ其ノ闕員ヲ補フノ必要ナキヲ認メ其ノ補闕ヲ爲サザル旨ヲ宣言シタリ

- 七 選舉人ハ自ラ投票ヲ認メ府尹(邑面長)及選舉立會人ノ面前ニ關係法規

〔京城例〕

- 於テ之ヲ投函シタリ
- 八 左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登錄ナキモ之ニ登錄セラレベキ決定書ヲ所持シ選舉會場ニ到リタルニ依リ府尹(邑面長)ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシメタリ

住所 氏

名

- 九 左ノ選舉人ニ對シテハ何何ノ事由ニ依リ府尹(邑面長)ニ於テ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ拒否シタリ

住所 氏

名

- 十 左ノ選舉人ハ誤リテ投票用紙ヲ汚損シタル旨ヲ以テ更ニ之ヲ請求シタルニ依リ其ノ相違ナキヲ認メ之ト引換ニ投票用紙ヲ交付シタリ

住所 氏

名

- 十一 左ノ選舉人ハ投票前選舉會場外ニ退出セントシタルヲ以テ投票用紙ヲ返付セシメタリ

住所 氏

名

- 十二 左ノ選舉人ハ選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ(喧騒ニ涉リ)選舉會場ノ秩序ヲ紊シタルニ依リ府尹(邑面長)ニ於テ之ヲ制止シタルモ其ノ命ニ從ハザルヲ以テ投票用紙(到著番號札)ヲ返付セシメ之ヲ選舉會場外ニ退出セシメタリ

住所 氏

名

- 十三 府尹(邑面長)ハ選舉會場外ニ退出ヲ命ジタル左ノ選舉人ニ對シ選舉會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認メ投票ヲ爲サシメタリ

五五五

關係法規

府尹(邑面長)ニ於テ選舉會場外ニ退出ヲ命ジタル左ノ選舉人ハ  
最後ニ入場シテ投票ヲ爲シタリ

十四 午前(午後)何時ニ至リ府尹(邑面長)ハ投票時間ヲ終リタ  
ル旨ヲ告ゲ選舉會場ノ入口ヲ鎖シタリ

十五 午前(午後)何時選舉會場ニ在ル選舉人ノ投票結了シタルヲ  
以テ府尹(邑面長)ハ選舉立會人ト共ニ投票函ノ投票口(及外蓋)  
ヲ鎖シタリ

十六 選舉會ニ於テ投票ヲ爲シタル選舉人ノ總數 何 人

選舉人名簿ニ登錄セラレタル選舉人ニシテ投票ヲ爲シタル者

決定書ニ依リ投票ヲ爲シタル者 何 人

投票拒否ノ決定ヲ受ケタル者ノ總數 何 人

十七 各投票分會長ヨリ投票函左ノ如ク到着セリ

投票分會ノ投票函ハ投票分會長職氏名及投票立會人氏名携帯シ何  
月何日午前(午後)何時著之ヲ檢スルニ異狀ナシ

十八 昭和何年何月何日府尹(邑面長)ハ(總テノ投票函ノ送致ヲ  
受ケタルヲ以テ其ノ當日)午前(午後)何時ヨリ開票ヲ開始シタ  
リ

十九 府尹(邑面長)ハ選舉立會人立會上(逐次)投票函ヲ開キ投  
票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算シタルニ左ノ如シ

投票總數 何 票

投票總數ト投票人總數ト符合ス(投票總數ト投票人總數ト符合セ  
ズ即チ投票總數ニ比シ何票多シ(少シ)(其ノ理由ノ明カナルモノ  
ハ之ヲ記載スベシ)

二十 府尹(邑面長)ハ總テノ投票ヲ混同ノ選舉立會人ト共ニ之ヲ  
點檢シタリ

二十一 選舉事務ニ従事スル職氏名及職氏名ノ二人ハ各別ニ同一被  
選舉人ノ得票數ヲ計算シタリ

二十二 有效又ハ無効ト決定シタル投票左ノ如シ

投票總數 何 票

一 有效ト決定シタルモノ 何 票

一 無効ト決定シタルモノ 何 票

內 何 票

一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ 何 票

二 現ニ府(邑)會議員(面協議會員)ノ職ニ在ル者ノ氏名  
ヲ記載シタルモノ 何 票

三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ 何 票

四 、、、、、、 何 票

二十三 午前(午後)何時投票ノ點檢ヲ終リタルヲ以テ府尹(邑面  
長)ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シタリ

〔京城例〕

二十四 各被選舉人ノ得票數左ノ如シ

何 票 氏 名

右ノ内先ツ府制第八條第六項ニ規定スル最少員數タル何人ニ滿ツ  
ル迄ハ内地人朝鮮人別ニ有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以  
テ當選者トス但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同ジキニ依リ其ノ年齢  
ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニシ  
テ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ(同年同月  
同日ナルヲ以テ府尹(邑面長)ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ  
仍テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ)

内地人

氏 名

朝鮮人

氏 名

氏 名

其ノ餘ノ被選舉人ノ内更ニ有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ  
以テ當選者トス但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同ジキニ依リ其ノ年  
齡ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニ  
シテ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ(同年同  
月同日ナルヲ以テ府尹(邑面長)ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セ  
リ仍テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ)

關係法規

氏 名

何道何府尹(何郡島何邑面長)氏 名

選舉立會人 氏 名

〔京城例〕

(邑面ニシテ府制第八條第六項ノ規定ヲ準用セザルトキ)

右ノ内有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以テ當選者トス但シ  
氏名及氏名ハ得票ノ數相同ジキニ依リ其ノ年齢ヲ調査スルニ氏名  
ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニシテ氏名年長者ナル  
ヲ以テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ(同年同月同日ナルヲ以テ邑  
面長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ仍テ氏名ヲ以テ當選者ト定  
メタリ)

氏 名

二十五 府尹(邑面長)ハ投票ノ有效無効ヲ區別シ各別ニ之ヲ括束  
シ更ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ封印セリ

二十六 午前(午後)何時選舉事務ヲ結了シタリ

二十七 左ノ者ハ選舉會ノ事務ニ従事シタリ

職 氏 名

職 氏 名

二十八 選舉會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

官職 氏 名

府尹(邑面長)ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人  
ト共ニ茲ニ署名ス

昭何年何月何日



備考 様式ニ掲グル事項ノ外投票分會長ニ於テ投票ニ關シ緊要ナル事項アリト認ムルトキハ之ヲ記載スベシ

### 府會議員ノ選舉ニ關スル件

昭和六年三月八日  
內務部長通牒

府會議員ノ選舉ニ關シテハ二月二十五日朝鮮總督府訓令第六號府會議員及面協議會員ノ選舉ニ關スル規程ノ外別紙選舉人名簿ノ調製及取扱順序ニ依リ豫メ周密ナル準備ヲ爲シ選舉執行ニ付萬算ナキヲ期セラレタシ

追テ選舉人名簿ノ調製及取扱順序ニ付テハ將來ニ於テモ同様ノ取扱ヲ爲スベキモノニ付御了知相成度爲念申添フ

△別紙 府會議員、邑會議員及面協議會員選舉人名簿調製及取扱順序

改正制度實施後初度ノ選舉ニ關スル府會議員、邑會議員及面協議會員ノ選舉人名簿ハ四月一日現在ニ依リ之ヲ調製スベキ義ナルヲ以テ豫メ有權者ヲ調査シ置キ更ニ四月一日ニ於テ引續キ選舉權ノ要件ヲ具備スルヤ否ヲ調査シ其ノ資格ヲ有スル者ノミヲ名簿ニ登載スベク之ガ調製及取扱ハ左ノ方法ニ依ルベシ

一 昭和五年度府稅(地稅附加稅、營業稅附加稅、家屋稅附加稅、戶別稅、特別戶別稅、特別營業稅)又ハ面賦課金(地稅割、營業稅割、

戶別稅、特別營業割)五圓以上(而稅年額低下ノ豫定ナルトキハ其ノ額ニ依ル)ヲ納付シタルモノヲ選ブコト

(參照) 本項ニ於ケル納付額ハ昭和五年度ニ於ケル賦課總額(調定額)トス家督相續ノ場合ニ於ケル被相續人ノ納付額ハ之ヲ算入スベカラズ

其ノ間ニ於テ府面ノ廢置又ハ區域ノ變更アリタル場合新ニ面ノ區域ト爲リタル地域ニ於テ負擔シタル面賦課金(地稅割、營業稅割、戶別稅、特別營業割)ハ本項ノ面賦課金ニ又新ニ府ノ區域ト爲リタル地域ニ於テ負擔シタル面賦課金(地稅割、營業稅割、戶別稅、特別營業割)學校組合費又ハ學校費賦課金ハ本項ノ府稅ニ算入スベシ

二 右ノ者ノ中ヨリ昭和五年四月一日以來間斷ナク年額五圓以上ノ納付義務ヲ有スル者ヲ選ブコト

(參照) 納付額ハ一年ノ期間間斷ナク繼續スルコトヲ要ス從テ事實上毎納期納付スルコトアルモ其ノ間納付義務ガ一時闕ケルカ又ハ納付額ガ五圓未滿ニ低下スルコトアルトキハ有權者タルコトヲ得ズ

前項一年ノ期間ノ起算ハ昭和五年四月一日午前零時ヨリ之ヲ爲スベク右期間ハ府邑面ノ廢置又ハ區域ノ變更ニ依リ中斷セラルルコトナキモノトス

〔京城例〕

昭和六年度ニ於ケル府稅又ハ邑面稅ノ納付資格ニ付テハ同年額間ヲ通ジテ五圓以上ヲ納付スベキ資格ヲ具備セバ足ル

三 右ノ者ノ中ヨリ帝國臣民タル男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ一年以來府邑面内ニ住所ヲ有スル者ヲ選ブコト

(參照) 一年以來住所ヲ有スルモノトハ昭和五年四月一日ヨリ繼續シテ間斷ナク府邑面内ニ生活ノ本據ヲ有スル者ヲ云フ從テ旅行ノ如キハ其ノ期間中斷スルコトナシ

四 右ノ者ノ中ヨリ年齡二十五年以上ノ者ヲ選ブコト

(參照) 明治三十九年四月一日以前ニ出生ノ者ヲ調査スルモノトス

五 右ノ者ノ中ヨリ禁治產者、準禁治產者、破產者ニシテ復權ヲ得ザル者、六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者、陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未ダ入營セザル者及歸休下士官ヲ除ク)又ハ戰時事變ニ際シ召集中ノ者並ニ志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノ者ヲ除クコト

六 以上調査シタル者ニ付昭和六年四月一日現在ニ於テ仍以上各項ノ資格ヲ具有スル者ヲ選ブコト

七 以上各號ノ順序ニ依ル調査ハ先ヅ別紙様式ニ依ル府會議員(邑會議員)(面協議會員)選舉資格調書ヲ設ケ整理シ之ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スルコト

八 選舉權ヲ有スル者ト雖府稅又ハ邑面稅(面賦課金)滯納處分中ハ選舉權ヲ行使シ得ザルニ付名簿調製期日現在又ハ其ノ後ニ於テ之ニ該當スルニ至リタルトキハ名簿ニ其ノ旨付箋シ置クコト

關係法規

九 選舉人名簿ハ四月二十一日ヨリ七日間府廳又ハ邑面事務所ニ於テ關係者ノ縱覽ニ供スルコト

(參照) 名簿ノ縱覽ハ相當責任アル者監視ノ下ニ之ヲ爲サシメ名簿ハ鎖鑰アル書函ニ嚴重藏置スルコト

十 決定ニ基キ選舉人名簿ノ修正ヲ要スルトキハ五月十七日迄ニ修正ヲ加フルコト

十一 確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セザリシ場合(選舉權ナキ者ヲ誤テ登錄シタル場合府尹又ハ邑面長ニ於テ其ノ誤謬ヲ發見スルモ名簿ハ修正スベカラズ付箋シ置クコト)又ハ選舉當日第八號ニ該當スル者ハ選舉權ヲ行使セシメザルコト(名簿調製期日又ハ其ノ後ニ於テ第八號ニ該當シ名簿ニ付箋シタル者選舉當日迄ニ該當セザルニ至リタルトキハ選舉權ヲ行使セシムベシ)

(様式)

何府會議員(何邑會議員)(何面協議會員)選舉資格調書

氏名	何之某	住所	何町(里洞)何番地	
			生年月日	明治何年何月何日
府稅(邑)	地稅附加稅	營業稅	家屋稅	戶別稅
昭和何年度	附加稅	附加稅	附加稅	附加稅
昭和何年度				
昭和何年度				
昭和何年度				
				合計



關係法規

選舉人名簿調製ノ日ヨリ選 リ一箇年前ヨリ引續キ府邑 面内ニ住所ヲ有スルヤ否	有	無
其ノ他		
選舉權	有	無
選舉權行使中止 ノ事由及期間		
備考		

備考

- 一 本調書ハ選舉人名簿登載準備ノ爲府稅(邑面稅)納稅義務者ニ付一人毎ニ調製スヘシ但シ女子、法人及外國人ヲ除ク
- 二 各欄ノ記載方ハ左記ニ依ル
  - 1 住所欄  
町(洞里)名及地番ヲ記載ス
  - 2 生年月日欄  
イ 朝鮮人ニ付テモ帝國ノ曆ニ換算シ記載スベシ  
ロ 生年月日ハ戶籍簿、居住簿、戶口調査書ニ依リ明カナラザルモノハ本人ニ就キ取調ブル等適宜ノ方法ニ依リ調査スベシ
  - 3 府稅(邑面稅)年額欄  
イ 府稅(邑面稅)年額ハ府制第九條(邑面制第九條)ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル府稅(邑面稅)ニ付前年度(昭和五年度)賦課額及本年度(昭和六年度)賦課額若ハ賦課見込

- 額ヲ記載スルモノトス但シ昭和六年度稅額ハ或稅目ニ於テ五圓(面稅年額低下ノ場合ハ其ノ額)以上ニ達スルトキハ他ノ稅目ニ係ル調査ヲ省略シ差支ナシ
- 府稅(邑面稅)中他人ト共同シテ納ムルモノニシテ各自ノ分擔不明ノモノハ之ヲ平分シ各自ノ納稅ニ併算ス
- 選舉人名簿調製ノ期日ヨリ選リ一箇年前ヨリ引續キ府(邑面)内ニ住所ヲ有スルヤ否欄  
イ 有無字中其ノ一字ヲ明瞭ニ抹消スベシ
- 其ノ他欄  
イ 本欄ニハ府制第九條第一項各號(邑面制第九條第一項各號)所定ノ事項ニ付記載ス  
ロ 禁治產又ハ準禁治產ノ宣告ノ有無ハ裁判所ニ就キ官報ニ依リ又ハ原籍地ノ行政廳ニ照會スル等適宜ノ方法ニ依リ調査ス  
ハ 破產者ニ關シテハ府廳(邑面事務所)備付ノ破產者名簿ニ依ルノ外適宜ノ方法ニ依リ調査ス  
ニ 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタリヤ否及六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタリヤ否ハ府廳(邑面事務所)備付ノ犯罪人名簿ニ依ルノ外裁判所、犯罪即決官署、軍法會議等ニ就キ又ハ適當ナル方法ニ依リ調査ス  
ホ 陸海軍現役關係等ハ軍隊ニ付キ又ハ適當ノ方法ニ依リ調査ス

〔京城例〕

選舉權欄

- 6 選舉權欄  
イ 有無字中其ノ一字ヲ明瞭ニ抹消スベシ
- 7 選舉權行使中止ノ事由及期間欄  
イ 府稅(邑面稅)滯納處分中ナリヤ否ハ府稅(邑面稅)滯納整理簿ニ依リ調査ス
- 三 獨立ノ生計ヲ營ムヤ否ニ付テハ慎重ノ調査ヲ遂ゲ之ヲ認定シ萬違算ナキヲ期スベシ
- 四 本調書ハ選舉權ヲ有スル者ト選舉權ヲ有セザル者トニ分チ、イ、ロ、ハ別ニ口座ヲ設ケ編綴スルモノトス

朝鮮地方選舉取締規則

昭和四年九月三十日  
朝鮮總督府令第八十三號

改正 昭和六年三月總令二一號 八年二月一八號 一〇年二月一七號 一一年五月三三號

- 第一條 本令ハ道會議員、府會議員、邑會議員、學校評議會會員及學校組合會議員ノ選舉(以下單ニ選舉ト稱ス)ニ付之ヲ適用ス
- 第二條 選舉ヲ管理スル府尹、郡守、島守、邑面長又ハ學校組合管理(以下單ニ選舉管理者ト總稱ス)ハ選舉會場(以下單ニ會場ト稱ス)ノ取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得
- 第三條 選舉人ニ非ザル者ハ會場ニ入ルコトヲ得ズ但シ會場ノ事務ニ關係法規

- 從事スル者、會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者、警察官吏又ハ選舉管理(以下單ニ必要アリト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラズ)
- 第四條 會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧嘩ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハザルトキハ之ヲ會場外ニ退出セシムルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ會場外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉管理者ハ會場ノ秩序ヲ紊ルノ處ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルコトヲ妨ゲス
- 第四條ノ二 道會議員、府會議員又ハ邑會議員ノ候補者タラントスル者ハ選舉期日ノ告示アリタル日ヨリ道會議員ニ在リテハ選舉期日前七日迄ニ、府會議員又ハ邑會議員ニ在リテハ選舉期日前三日迄ニ其ノ旨ヲ選舉管理者ニ届出ヅベシ
- 道會議員ノ選舉人又ハ府會議員若ハ邑會議員ノ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者他人ヲ道會議員ノ候補者又ハ府會議員若ハ邑會議員ノ候補者ト爲サントスルトキハ選舉期日ノ告示アリタル日ヨリ道會議員ノ候補者ニ在リテハ選舉期日前七日迄ニ、府會議員又ハ邑會議員ノ候補者ニ在リテハ選舉期日前三日迄ニ選舉管理者ニ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得
- 前二項ノ届出アリタルトキハ選舉管理者ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ
- 議員候補者タルコトヲ辭シ又ハ其ノ推薦ヲ取消シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選舉管理者ニ届出ヅベシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

ス

第四條ノ三 前條第一項ノ議員候補者又ハ前條第二項ニ規定スル推薦者(推薦者數人アルトキハ其ノ代表者)自己又ハ其ノ推薦シタル議員候補者ノ爲ニ選舉運動者ヲ選任シタルトキ(推薦者自ラ選舉運動者ト爲ルトキヲ含ム)ハ直ニ其ノ住所及氏名ヲ選舉區域所轄ノ各警察署ニ届出ヅベシ其ノ選舉運動者ニ異動アリタルトキ亦同ジ

第四條ノ四 第四條ノ二第三項ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタル議員候補者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出アリタル選舉運動者ニ非ザレバ道會議員、府會議員又ハ邑會議員ノ選舉運動ヲ爲スコトヲ得ズ但シ選舉期日ノ告示アリタル後ニ於テ演説又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於ケル選舉運動ヲ爲スコトヲ得ズ

第六條 選舉運動者ハ選舉運動ノ爲ニ要スル飲食物、船車馬等ノ供給又ハ旅費、宿泊料其ノ他ノ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

第七條 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者又ハ虚偽ノ申立ヲ爲シ會場ニ入りタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

氏名ヲ詐稱シ其ノ他詐偽ノ方法ヲ以テ選舉ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 左ノ各號ニ掲グル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 投票ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメザル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ金錢、物品其ノ他ノ財産上ノ利益若ハ公私ノ職務ノ

供與、其ノ供與ノ申込若ハ約束ヲ爲シ又ハ變態接待、其ノ申込若ハ約束ヲ爲シタルトキ

二 投票ヲ爲シ若ハ爲サザルコト又ハ選舉運動ヲ爲シ若ハ止メタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ前號ニ掲グル行爲ヲ爲シタルトキ

三 議員又ハ會員ノ候補者(以下單ニ候補者ト稱ス)タルコト若ハ候補者タルコトヲ止メシムル目的ヲ以テ候補者若ハ候補者タルコトヲ止メシムル目的ヲ以テ當選人ニ對シ第一號ニ掲グル行爲ヲ爲シタルトキ

四 候補者タルコト若ハ候補者タルコトヲ止メタルコト又ハ當選ヲ辭シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ候補者タリシ者、候補者タルコトシタル者又ハ當選人タリシ者ニ對シ第一號ニ掲グル行爲ヲ爲シタルトキ

五 前各號ノ供與、變態接待ヲ受ケ若ハ要求シ又ハ其ノ申込ヲ承諾シタルトキ

第九條 選舉ニ關シ左ノ各號ニ掲グル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 選舉人、候補者、候補者タルコトナル者、選舉運動者又ハ當選人ニ對シ暴行若ハ威力ヲ加ヘ又ハ之ヲ拐引シタルトキ

二 交通若ハ集會ノ便ヲ妨ゲ又ハ演説ヲ妨害シ其ノ他偽計詐術等不正ノ方法ヲ以テ選舉ノ自由ヲ妨害シタルトキ

第十條 選舉ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職

第十條

選舉ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

官吏又ハ吏員其ノ資格ニ於テ選舉人ニ對シ其ノ投票セントシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示ヲ求メタルトキハ二月以下ノ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタルトキハ六月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ表示シタル事實虚偽ナルトキ亦同ジ

第十二條 會場ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ三月以下ノ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

濫リニ投票容器若ハ之ニ準ズベキモノヲ開キ又ハ投票容器若ハ之ニ準ズベキモノノ中ヨリ投票ヲ取出シタル者ハ六月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 投票ヲ偽造シ又ハ其ノ數ヲ増減シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 第四條ノ三又ハ第四條ノ四ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十五條 第五條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 當選人其ノ選舉ニ關シ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

本令ニ掲グル罪ノ時効ハ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

關係法規

第十七條

當選人其ノ選舉ニ關シ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ檢事局又ハ即決官署ノ長ハ其ノ旨ヲ關係道知事及選舉管理者ニ通知スベシ但シ當選人學校評議員ナルトキハ關係道知事及郡守又ハ島司ニ通知スベシ

第十八條 本令中選舉管理者ニ關スル規定ハ投票管理者、選舉分會長又ハ投票分會長ニ、會場ニ關スル規定ハ投票所、選舉分會又ハ投票分會ニ、官吏ニ關スル規定ハ待選官吏ニ之ヲ適用ス但シ第四條ノ二及前條ノ選舉管理者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則 (昭和八年二月總令第十八號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

道制施行前ニ於ケル道會議員ノ選舉運動ニ付テハ朝鮮地方選舉取締規則ヲ適用ス

附則 (昭和十四年三月一日總令第二十二號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

道知事必要アリト認ムルトキハ當分ノ内朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ面ヲ指定シ其ノ面ノ協議會員ノ選舉ニ付本令ヲ適用セザルコトヲ得

府制第九條第一項及邑面制第九條第一項ニ規定スル府税及邑面税指定

昭和六年一月二十七日 朝鮮總督府告示第二十五號

改正 昭和十一年一月總令二號 一五年七月七四九號

府制第九條第一項及邑面制第九條第一項ニ規定スル府税及邑面税ヲ昭和六年四月一日ヨリ左ノ如ク指定ス

昭和二年朝鮮總督府告示第九十九號ハ昭和六年三月三十一日限り之ヲ廢止ス

昭和十一年三月三十一日以前ニ於ケル戸別税ハ之ヲ戸別税附加税ト看做ス

府 税

地稅附加稅

營業稅附加稅

戶別稅附加稅

特別地稅附加稅

家屋稅附加稅

特別營業稅

邑面稅

地稅附加稅

營業稅附加稅

戶別稅附加稅

特別地稅附加稅

家屋稅附加稅

特別營業稅

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年朝鮮總督府令第四十七號ハ之ヲ廢止ス

### ● 地方税ノ賦課ニ關スル件

昭和十二年一月八日  
朝鮮總督府令第五號

改正

昭和十三年八月總令一六九號 一三年一月二二〇號 一四年九月一五二號 一五年七月一五九號

第一條

道又ハ府邑面ノ内外ニ涉リ營業所ヲ設ケテ爲ス營業又ハ其ノ收入ニ對スル本税ヲ分別シテ納メザル者ニ對シ道又ハ府邑面ニ於テ營業稅附加稅又ハ鑛產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ關係道知事又ハ府尹邑面長協議ノ上其ノ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ  
前項ノ協議調ハザルトキハ其ノ一郡島内ニ止マルモノニ付テハ郡守又ハ島司、其ノ數府郡島ニ涉ルモノニ付テハ道知事、其ノ數道ニ涉ルモノニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二條

前條ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生ズルコトナキ營業所アルトキハ他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト看做シ本稅額ノ歩合ヲ定ムベシ

第三條

第一條ニ規定スル府邑面稅ノ賦課ニ關シテハ道ニ於テ數道ニ涉ル營業又ハ收入ニ對スル營業稅附加稅又ハ鑛產稅附加稅ノ賦課ニ關シ

關係法規

### ● 府制施行規則第五十五條第一項及邑面制施行規則第五十七條ノ二第一項ノ規定スル府邑及邑面稅指定

昭和十四年四月二十八日  
朝鮮總督府告示第三百五十八號

府制施行規則第五十五條第一項及邑面制施行規則第五十七條ノ二第一項ノ規定ニ依リ左ノ府邑面稅ヲ指定ス

大正十年朝鮮總督府告示第三百四十四號ハ之ヲ廢止ス  
助興稅

### ● 天災ニ依リ地稅附加稅ヲ免除セラレタル者ノ選舉ニ關スル資格要件ニ關スル件

昭和七年四月七日  
朝鮮總督府令第三十八號

災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル爲其ノ年分ニ限り地稅附加稅ヲ免除セラレタル者ノ府制又ハ邑面制ニ規定スル選舉ニ關スル資格要件ニ付テハ其ノ免除ニ係ル地稅附加稅ハ之ヲ免除セラレザルモノト看做ス

附則

〔京城例三〕

〔京城例三〕

付其ノ本稅額ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ其ノ歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ道ニ於ケル本稅額ト看做ス

第四條 削除

第五條

道又ハ府邑面ノ内外ニ涉ル鑛區ニ付鑛區稅附加稅ヲ賦課セントスルトキハ鑛區ノ地表面積ニ依リ本稅額ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スベシ  
前項ニ規定スル鑛區ノ鑛業權者ハ鑛區ヲ其ノ地表面積ニ依リ關係道又ハ府邑面ニ區分シ鑛業權設定ノ登錄アリタル日ヨリ五十日以内ニ關係道知事又ハ府尹邑面長ニ申告スベシ其ノ鑛區ノ地表面積ニ増減アリタルトキ亦同ジ

第六條

同一人ニ對シ數道ニ於テ戸別稅ヲ賦課スル場合ニ於テハ各其ノ道ニ於ケル所得ヲ以テ其ノ者ノ資力算定ノ標準タル所得トス其ノ所得ニシテ分別シ難キモノアルトキハ關係道ニ平分ス  
戸別稅ヲ納ムル道以外ノ地ニ於ケル所得ハ納稅義務者ノ資力算定ニ付住所地(朝鮮内ニ住所ヲ有セザル者ニ付テハ朝鮮内ニ於ケル主タル滞在在在)ノ屬スル道ニ於ケル所得ト看做ス  
前二項ニ規定スル所得ノ計算ニ付關係道知事異議アルトキハ朝鮮總督之ヲ定ム

第七條

道又ハ府邑面ノ内外ニ涉リ住所又ハ滞在在在ニ異動アリタル爲新ニ戸別稅又ハ戸別稅附加稅ノ納稅義務ノ發生シタル者ニ對シテハ既ニ他ノ道又ハ府邑面ニ於テ戸別稅又ハ戸別稅附加稅ヲ賦課シタル部分ニ付テハ之ヲ賦課スルコトヲ得ズ

第八條

前條ノ規定ハ學校費戸別稅附加金又ハ學校組合費ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス府ノ第一部特別經濟ノ戸別稅附加稅ノ賦課ト學校組合費ノ賦課トノ間及府ノ第二部特別經濟ノ戸別稅附加稅ノ賦課ト學校

費戶別稅附加金ノ賦課トノ間ニ付亦同ジ

第九條 削除

第十條 削除

第十一條 削除

第十二條 府尹邑面長ハ其ノ府邑面ノ住民ニ非ザル者(法人ヲ除ク)ノ

當該府邑面内ニ於テ生ズル其ノ年分所得及其ノ所得ノ基本タル事實

ヲ毎年四月一日ノ現在ニ依リ其ノ月末日迄ニ其ノ住所地ノ所轄府尹

邑面長ニ通報スベシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ府邑面ニ於テ戸別稅ノ賦課ヲ受クル者ナルト

キハ其ノ旨ヲ併セテ通報スベシ

第十三條 削除

第十四條 第十二條ノ規定ニ依リ通報ヲ爲シタル後其ノ通報事項ニ顯

著ナル異動ヲ生ジタルトキハ其ノ都度之ヲ通報スベシ

第十五條 道及府邑面ハ南滿洲鐵道株式會社ガ朝鮮ニ於テ左ニ掲グル

業務ヲ處理スル爲所有シ使用シ若ハ占有スル土地家屋物件、同會社

ガ當該業務ヲ處理スル爲行フ行爲若ハ營業又ハ同會社ノ當該業務ヨ

リ生ズル所得若ハ收入ニ對シ地方稅ヲ賦課スルコトヲ得ズ

一 上三峯雄基間ノ鐵道ノ建設改良、保存及運輸並ニ附帶ノ業務

二 雄羅鐵道ノ建設、改良、保存及運輸並ニ附帶ノ業務

三 前二號ノ鐵道運輸ニ關スル海陸聯絡運輸及其ノ設備ノ建設改良

保存並ニ附帶ノ業務

第十六條 道及府邑面ハ朝鮮所得稅令ニ依リ所得稅ヲ免除セラレタル

製鐵事業者ニハ朝鮮營業稅令第十二條第二項ノ規定ニ依リ賦課セラ

レタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ又

ハ其ノ免除セラレタル事業ニ屬スル資本金額、從業者、營業用ノ工

作物若ハ物件、使用動力又ハ收入ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ

但シ府邑面ニシテ特別ノ事情ニ基キ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合

ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ朝鮮所得稅令第二十七條ノ第二項ノ規定ニ依リ所得

稅ヲ免除セラレタル事業ニハ之ヲ適用セズ但シ其ノ事業ガ同令第二

十四條乃至第二十六條ノ規定ニ依リ所得稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得

ベキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 道及府邑面ハ朝鮮所得稅令ニ依リ所得稅ヲ免除セラレタル

人造石油製造會社ニハ朝鮮營業稅令第十二條ノ第二項ノ規定ニ依

リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ又ハ其

ノ事業ニ屬スル資本金額、從業者、製造若ハ加工ノ用ニ供スル器具

機械類、使用動力又ハ收入ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ

第十八條 道及府邑面ハ日本產金振興株式會社ニハ開業ノ年及其ノ翌

年ヨリ十年間朝鮮營業稅令第十二條ノ第二項ノ規定ニ依リ賦課セ

ラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ事業ニ對シ又ハ其ノ收入ヲ

標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ朝鮮總督ノ認

可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條 道及府邑面ハ朝鮮所得稅令第二十七條ノ四ノ規定ニ依リ所

得稅ノ免除ヲ受クル航空機製造會社ニハ航空機製造事業法第二條

ノ許可ヲ受ケタル年及其ノ翌年ヨリ五年間朝鮮營業稅令第十二條ノ

二第二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其

〔京城例三〕

ノ事業ニ對シ又ハ其ノ收入ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ但シ特

第二十條 道及府邑面ハ朝鮮營業稅令第十二條第二項ノ規定ニ依リ

及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ事業ニ對シ又ハ其ノ收入ヲ標準トシテ課

稅スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル

場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條 道及府邑面ハ朝鮮所得稅令第二十七條ノ六及朝鮮營業稅

令第十二條第一項ノ規定ニ依リ所得稅及營業稅ノ免除ヲ受ケタル輕

金屬製造會社ニハ所得稅ヲ免除セラレタル期間朝鮮營業稅令第十二

條第三項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル期間朝鮮營業稅令第十二

ノ免除セラレタル事業ニ對シ又ハ其ノ所得稅ヲ免除セラレタル收入

ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ朝鮮總督ノ

認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條 道及府邑面ハ國際電氣通信株式會社ニハ朝鮮營業稅令第

十二條ノ三第一項ノ規定ニ依リ營業稅ヲ免除セラレタル期間同條第

二項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル營業稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ事

業ニ對シ又ハ其ノ收入ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ但シ特別ノ

事情ニ基キ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年朝鮮總督府令第二十二號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ第五條第一項ニ規定スル鑛區ヲ有スル鑛業權者ハ同

條第二項ノ規定ニ準ジ本令施行後三十日以内ニ關係道知事又ハ府尹邑

關係法規

〔京城例三〕

第十三條中家屋稅ニ關スル規定ハ昭和十一年度分ヨリ之ヲ適用ス

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年朝鮮總督府令第十六號(南滿洲鐵道株式會社ニ對スル地方

稅ノ賦課ニ關スル件)及昭和十三年朝鮮總督府令第十二號(製鐵事業

法ニ依ル製鐵事業者及人造石油製造事業法ニ依ル人造石油製造會社ニ

對スル地方稅ノ免除ニ關スル件)ハ之ヲ廢止ス

附則 (昭和十五年七月朝鮮總督府令第五百九十九號)

本令ハ昭和十五年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ第十五條ノ改正規定ハ昭和

十五年七月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十五年三月三十一日以前ノ法人ノ事業年度ノ終了シタルモノニ對

スル第一種所得稅附加稅、特別所得稅及特別所得稅附加稅ノ賦課ニ關

シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

傳染病豫防令第二十二條ニ依

ル地方公共團體ノ義務ニ關ス

ル件

大正八年四月八日

朝鮮總督府令第六十一號

改正 昭和三年五月總令二四號

第一條 傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ道知事ハ府、面ヲシテ左ノ

施設ヲ爲サシムルコトヲ得但シ第一號中醫師ノ雇入及第三號ノ事項

ハ府又ハ面制第四條ノ三ニ依リ指定シタル面ニ限り之ヲ命ズルコト

ヲ得

一 醫師及人員ヲ雇入レ又ハ器具、藥品其ノ他ノ物件ヲ設備スルコト

- 二 清潔方法、消毒方法ヲ行ヒ又ハ鼠族、昆蟲等ノ驅除及之ニ關スル施設ヲ爲スコト
  - 三 傳染病院、隔離所又ハ消毒所ヲ設置スルコト
  - 四 傳染病院、隔離病舎ニ收容シタル患者ヲ治療スルコト
  - 五 傳染病豫防令第十七條第七號又ハ第八號ニ依リ市街部落ノ全部又ハ一部ニ對シ家用水ノ使用ヲ停止シタル場合ニ於テ其ノ停止期間家用水ノ供給ヲ爲スコト
- 第二條** 左ノ費用ハ府面ノ負擔トス
- 一 府、面ニ於テ施設シタル前條各號ノ費用
  - 二 府、面ニ於テ發見シタル傳染病貧民患者、死者ニ關スル諸費
  - 三 府、面ニ於テ施行シタル種痘ニ關スル諸費
  - 四 傳染病豫防令第十三條ノ二ノ規定ニ依ル傳染病豫防委員ニ關スル諸費
  - 五 府、面ニ於テ傳染病豫防救治ニ從事セシメタル者ニ給スベキ手当、療治料及其ノ遺族ニ給スベキ救助料、弔祭料
  - 六 前各號ノ外府、面ニ於テ施行シタル傳染病豫防事務ニ關スル諸費
- 傳染病豫防令第八條ニ依ル交通遮斷隔離ニ關スル諸費及交通遮斷隔離ノ爲一時營業ヲ失ヒ自活シ能ハザル者ノ生活費ハ府又ハ面制第四條ノ三ニ依リ指定シタル面ニ在リテハ府又ハ面ノ負擔トシ其ノ他ニ在リテハ地方費ノ負擔トス
- 第三條** 府、面ニ於テ前條第一項第二號ニ依リ支出シタル費用中其ノ府、面以外ノ居住者ノ爲ニ支出シタル者ハ地方費ヨリ之ヲ補償スベシ
- 第四條** 第二條ニ依ル府、面ノ支出ニ對シテハ道知事ノ必要ト認ムル

### 傳染病豫防令(拔萃)

大正四年六月五日  
副令第二號

限度ニ於テ地方費ヨリ補助スベシ

第二條第二項及前項ニ依ル地方費ノ支出ニ對シテハ必要ト認ムル限度ニ於テ國庫ヨリ補助スルコトアルベシ

**附則**  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條 傳染病豫防上必要ナル施設及費用ノ負擔ニ關スル地方公共團體ノ義務ニ付テハ朝鮮總督之ヲ定ム

### 健康診斷又ハ檢診ノ爲要スル費用負擔ノ件

大正十二年三月三十一日  
朝鮮總督府令第六十一號

改正 昭和二年三月總令一〇號

貸座敷娼妓取締規則第二十三條又ハ藝妓置屋營業取締規則第八條ニ依リ行フ健康診斷又ハ檢診ノ爲要スル費用ハ府又ハ面ノ負擔トス

前項ニ依リ負擔セシムヘキ費用ノ範圍及面ハ道知事之ヲ定ム

**附則**  
本令ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 種痘令實施ニ關スル件

大正十二年七月  
官通牒

〔京城例三〕

- 二 前號所要經費ヲ府面豫算ニ計上スルニ付テハ年度開始後ニ付此ノ際一般經費ニ對シ出來得ル限り緊縮ヲ加ヘシメ之ガ爲府稅又ハ面賦課金ノ増徴ヲ來サザル範圍内ニ於テ適當ニ措置セシムルコト
- 三 種痘令施行規則第七條ニ依ル要種痘者名簿ノ作製及同附則第二項ニ依リ面長ヨリ所轄警察署長ニ對スル通知等ニ關シテハ府、面ハ警察署トノ間ニ於テ充分聯絡協調ヲ保持セシメ實施上萬遺漏ナキヲ期セシムルコト

### 傳染病豫防費補助內規

大正八年四月  
朝鮮總督府內訓第四號

- 第一條** 大正八年朝鮮總督府令第六十一號第二條ニ依ル府面ノ支出額ニ對シテハ府ニ在リテハ五分ノ一、面ニ在リテハ三分ノ一ヲ地方費ヨリ補助スベシ
- 府面ノ支出額其ノ負擔ニ堪ヘスト認ムルトキ其ノ他特別ノ事由アルトキハ道知事ハ豫メ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ歩合以上ヲ補助スルコトヲ得
- 第二條** 前條ニ依リ地方費ヨリ府面ニ補助シタル額ニ對シ國庫ハ其ノ全額ヲ補助スルモノトス
- 第三條** 府令第二條第二號及同第三條ニ依ル地方費ノ支出額ニ對シ國庫ハ二分ノ一ヲ補助スルモノトス
- 第四條** 本令ニ於テ支出額トハ支出ニ伴フ收入、本令ニ依ラサル補助金、補償金又ハ寄附金ノ額ヲ控除シタル支出精算額ヲ謂フ

關係法規

**第五條** 府令第一條第三號ノ工事落成シタルトキ又ハ傳染病流行ノ爲臨時ニ多額ノ費用ヲ要シタルトキハ事情ニ依リ其費途ニ限リ打切精算ヲ爲サシメ補助スルコトヲ得

**第六條** 府、面ヨリ申請セル支出精算額適當ト認ムルトキハ之ヲ査定シ其ノ査定額ニ對シテ補助スルコトヲ得

**第七條** 道知事ハ府、面ノ支出ニ關スル左記様式ノ精算表及其ノ説明書之ニ對スル地方費補助額及其ノ理由ヲ記載セル書面並第三條ニ關スル精算表(左記様式ニ準ス)及其ノ説明書ヲ添附シ年度經過後第一條第一項ノ補助ニ付テハ三月内其ノ他ノモノニ付テハ一月内ニ朝鮮總督ニ國庫補助ノ申請ヲ爲スヘシ但シ第五條ノ補助又ハ府令第二條第二項若ハ同第三條ノ支出ニ依リ臨時ニ多額ヲ要シタルトキハ本條ノ期限ニ拘ラズ打切精算ノ上補助申請ヲ爲スコトヲ得

傳染病豫防費支出額精算表

種目	費用	建築費	修繕費	借地料	借家料	計
傳染病院						
隔離病舎						
隔離所						
消毒所						
合計						

種目	費目	給料	手當	旅費	計
醫員					
雇員					
小使					
人夫					
合計					

種目	費目	備品費	消毒費	鼠疫患者又は被隔離者以外食費以	計
清潔方法					
消毒方法					
種痘					
傳染病院					
隔離病舎					
隔離所					
消毒所					
遮斷隔離					
及生活費					
貧民患死者諸費					

●府尹又ハ面長ノ管掌スル戶籍事務ノ費用負擔ニ關スル件

大正十二年三月二十三日  
朝鮮總督府令第四十三號

朝鮮民事令ニ依リ府尹又ハ面長ノ管掌スル戶籍事務ノ爲要スル費用ハ府又ハ面ノ負擔トス

附則

本令ハ大正十一年制令第十三號中朝鮮民事令第十一條例至第十一條ノ九ノ改正ニ關スル規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十二年三月總令第六十四號ニ依リ大正十二年七月一日ヨリ施行)

●京城府ニ於ケル京畿道地方費負擔ニ關スル件

大正十四年四月一日  
朝鮮總督府令第三十五號

京城府ハ京畿道地方費ノ支辨ニ屬スル消防費ノ一部ヲ負擔スベシ

〔京城例一〕

前項ノ規定ニ依リ京城府ノ負擔スベキ額ハ京畿道知事朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●國稅徵收令

明治四十四年十一月  
制令第十四號

改正 大正二年二月制令一號 三年三月六號 一〇年五月九號  
昭和九年四月一二號

第一條 國稅ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ニ依ル

第二條 國稅徵收法中勅令トアルハ朝鮮總督府令、帝國トアルハ朝鮮大藏大臣トアルハ朝鮮總督、市町村トアルハ府邑面、市町村長トアルハ府尹邑面長、市町村吏員トアルハ府邑面吏員ニ該當ス

第三條 國稅徵收法中質權又ハ抵當權ニ關スル規定ハ之ヲ典當權ニ準用ス

第四條 同一年度ノ國稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スベキ同一稅目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第五條 國稅徵收ノ費用ハ府邑面ノ負擔トシ國庫ニ納付シタル税金ノ百分ノ三ニ相當スル金額及納稅告知書一通ニ付二錢ノ割合ヲ以テ計

關係法規

算シタル金額ヲ其ノ府邑面ニ交付ス

〔京城例一〕

第六條 差押物件見積價格五十圓未滿ノモノハ隨意契約ヲ以テ之ヲ賣却スルコトヲ得

第七條 本令ハ國稅以外ノ公課ノ滯納アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

附則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム(明治四十四年十二月總令第五百十六號ヲ以テ明治四十五年一月一日ヨリ施行)

附則

(昭和九年四月三十日制令第十二號)  
本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國稅徵收令第七條ノ公課ニ關スル件

大正五年六月  
官通牒

全羅北道長官ノ伺出ニ係ル首題ノ件左記ノ通御了知相成度及通牒候也

記

問 府又ハ學校組合ニ於テ徵收スル使用料、手数料、過料等公法上ノ收入ハ國稅徵收令第七條ニ所謂公課ニ該當スルモノト解シ可然哉

答 御意見ノ通

### ●府條例中公課ノ課率又ハ金額 決定方法ニ關スル件

昭和十二年六月八日  
道通牒

府稅、使用料又ハ手數料等ノ課率又ハ金額ハ府制施行規則若ハ府條例ニ定ムル制限内ニ於テ毎年度豫算ヲ以テ定ムルコトニ相成居ルモノアル處豫算樣式改正後ノ今日ニ在リテハ取扱妥當ナラザルニ至リタルノミナラズ其ノ課率又ハ金額ヲ府民ニ周知セシムル機會ナキヲ以テ今後左記ニ依リ取扱相成度依命通牒ス

記

- 一 府稅、使用料又ハ手數料等ノ課率又ハ金額ニシテ府制施行規則又ハ府條例ニ定ムル制限以内ニ於テ毎年度決定ヲ要スルモノハ別個ノ議案ヲ以テ府會ノ議決ヲ經府尹之ヲ定ムルコトト爲スコト
- 二 毎年度決定シタル課率又ハ金額ハ府尹之ヲ告示スルコト
- 三 當該條例ノ改正ニ付テハ夫々認可アリタルモノトシテ處理シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベキモノニアリテハ朝鮮總督ニ道知事ノ認可ヲ受クベキモノニアリテハ道知事ニ報告スルコト

### ●朝鮮汚物掃除令

昭和十一年六月五日  
制令第八號

府ニ於ケル汚物ノ掃除ニ關シテハ汚物掃除法ニ依ル但シ同法中市トア

置クベシ

**第六條** 當該吏員ハ掃除ノ實況ヲ監視シ必要ナル事項ヲ施行スル爲キノ事由ヲ告知シテ私人ノ土地ニ立入ル事ヲ得

**第七條** 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキハ當該吏員ニ於テ之ヲ施行シ其ノ費用ハ市ニ於テ之ヲ支辨スベシ

前項ノ處分ハ豫メ履行期間ヲ指定シテ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ必要ノ時限内ニ履行シ得スト認ムルトキハ此ノ限ニアラス

**第八條** 前條ノ處分ヲ爲シタルトキハ市ハ市稅ノ例ニ依リ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

**第九條** 汚物ノ種類汚物掃除並清潔保持ノ方法及施設ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

**第十條** 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

**第十一條** 地方長官ハ區町村、町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテ町村ニ準スヘキ地又ハ其ノ一部ヲ指定シ本法ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ得

關係法規

ルハ府、市稅トアルハ府稅、當該吏員トアルハ當該官吏吏員トス

附則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム(昭和十一年總令第百二十三號ヲ以テ昭和十二年十月一日ヨリ施行)

道知事ハ邑又ハ邑ノ區域ノ一部ヲ指定シ本令ヲ準用スルコトヲ得

### ●汚物掃除法

明治三十三年三月七日  
法律第十一號

改正 昭和五年法律八號

**第一條** 市内ノ土地ノ所有者使用者又ハ占有者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地域内ノ汚物ヲ掃除シ清潔ヲ保持スルノ義務ヲ負フ

**第二條** 市ハ本法其ノ他ノ法令ニ依リ別段ノ義務者アル場合ヲ除クノ外其ノ區域内ノ汚物ヲ掃除シ清潔ヲ保持スルノ義務ヲ負フ

**第三條** 市ハ義務者ニ於テ蒐集シタル汚物ヲ處分スルノ義務ヲ負フ但シ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

**第四條** 市ニ於テ前條ノ處分ヲ爲シタル爲生スル收入ハ市ノ所得トス

**第四條ノ二** 市ハ汚物處理ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ手數料又ハ使用料ヲ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

**第五條** 市ハ汚物掃除ノ施行及實況ヲ監視セシムル爲必要ナル吏員ヲ

〔京城例一〕

### ●朝鮮汚物掃除令施行規則

昭和十一年十二月五日  
總令第百二十四號

〔京城例二〕

**第一條** 朝鮮汚物掃除令ニ依リ掃除スベキ汚物ハ塵芥、煤灰、汚泥、汚水及尿尿トス

**第二條** 土地ノ占有者ハ其ノ地域内ノ汚物ヲ掃除シ清潔ヲ保持スベシ建物ノ敷地ニ付テハ建物ノ所有者建物ナキ土地ニ付テハ其ノ土地ノ所有者ニ於テ當該土地ノ清潔保持ノ爲必要ナル溝渠ヲ築造シ之ヲ維持スベシ

**第三條** 居住ノ用ニ供スル建物ノ所有者ハ其ノ敷地内ニ便所ヲ築造シ之ヲ維持スベシ

尿尿壺ハ耐水材料ヲ以テ之ヲ築造シ適當ナル防水設備ヲ爲スベシ

**第四條** 掃除義務者ハ覆蓋アル容器ヲ備ヘ掃除シタル塵芥ヲ其ノ容器ニ蒐集スベシ

道知事必要アリト認ムルトキハ前項ノ容器ヲ厨芥用雜芥用ニ區別セシメ又ハ同項ノ容器ノ外煤灰用ノ容器ヲ備ヘシムルコトヲ得

前二項ノ容器ハ府ニ於テ之ヲ設備スルコトアルベシ

**第五條** 汚水バ之ヲ公共溝渠又ハ適當ノ場所ニ排泄スベシ但シ土地ノ狀況ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケ之ガ處理ニ付別段ノ施設ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

道知事ハ公共溝渠ニ排泄スルヲ不適當ト認ムル汚水ノ處理ニ付別段ノ施設ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條 尿尿ハ公共溝渠、下水道(道知事ノ指定シタルモノヲ除ク)又ハ河川、運河、池沼等公共ノ用ニ供スル水面ニ之ヲ放流スルコトヲ得ズ但シ道知事ノ許可シタル汚物處理槽ヲ通過シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 府ハ掃除義務者ノ蒐集シタル汚物ヲ一定ノ場所ニ運搬シ塵芥ハ之ヲ焼却スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ道知事ノ認可ヲ受ケ燒却以外ノ方法ヲ以テ之ヲ處理スルコトヲ得

第八條 道知事ハ戸口稀薄ナル地域ノ掃除義務者、廣大ナル土地若ハ建物ヲ占有スル掃除義務者又ハ業態上多量ニ汚物ヲ生ズル掃除義務者ノ掃除シタル汚物ノ處理ニ關シ第四條第一項又ハ前條第一項ノ規定ニ拘ラズ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第九條 道知事特別ノ事由アリト認ムルトキハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内掃除義務者ヲシテ尿尿ノ處理ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 公共溝渠ニ沿ヒタル土地ニ於テ公共溝渠ニ害ヲ及ボス虞アル行爲ヲ爲ス者ハ其ノ害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル施設ヲナスベシ

第十一條 朝鮮汚物掃除令ニ於テ依ルコトヲ定メタル汚物掃除法(以下單ニ汚物掃除法ト稱ス)第四條ノ二ノ規定ニ依リ徵收シ得ベキ手

數料及使用料左ノ如シ

- 一 塵芥及煤灰ノ搬出及運搬ニ關スル手數料
- 二 尿尿ノ汲取及運搬ニ關スル手數料
- 三 塵芥又ハ煤灰容器ニ關スル使用料

第十二條 府ハ其ノ義務ニ關スル場所ノ掃除、掃除義務者ノ蒐集シタル汚物ノ運搬其ノ他汚物ノ處理ニ關シ必要ナル事項ヲ定メ道知事ニ届出ツベシ之ヲ變更シタルトキ又同ジ

第十三條 當該官吏員ハ日出後日没前ニ限り汚物掃除法第六條ノ規定ニ依リ私人ノ土地ヲ立入ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏員ハ別記様式ノ證票ヲ携帯スベシ

第十四條 汚物掃除法第七條第二項ノ規定ニ依ル戒告ハ府尹之ヲ爲スベシ

第十五條 汚物掃除法第八條ノ規定ニ依リ府ニ於テ同第七條ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收セントスルトキハ納入告知書ニ實費ノ内譯ヲ附記スベシ

第十六條 汚物ノ爲又ハ溝渠、便所其ノ他掃除ニ關スル施設ノ爲衛生上危害ヲ受クル者ハ當該官吏員ニ申告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏員ハ之ヲ臨檢スベシ

第十七條 第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

〔京城例一〕

除穢規則ハ昭和十二年九月三十日限り之ヲ廢止ス

昭和十一年十二月五日

朝鮮總督 南 次郎

### 朝鮮汚物掃除令施行細則

昭和十二年九月二十七日  
道令第十八號

第一條 居住者ナキ建物又ハ建物ナキ土地ニハ掃除義務者ノ住所氏名ヲ見易キ場所ニ標示スベシ但シ農耕地ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 朝鮮汚物掃除令施行規則(以下單ニ規則ト稱ス)第二條第二項ノ規定ニ依リ築造スベキ溝渠ハ耐水材料ヲ用ヒ排水上適當ナル勾配ヲ附シ隨時浚泄スベシ

第三條 朝鮮市街地計畫令ノ適用ナキ地域ニ於ケル規則第三條ノ規定ニ依リ築造スベキ汲取便所ノ位置、構造及設備ニ付テハ朝鮮市街地計畫令施行規則第五十四條、第五十五條、第五十七條及第五十八條ノ規定ヲ準用ス

第四條 塵芥容器ハ掃除義務者ノ敷地内ニシテ道路ニ面セザル場所ニ之ヲ設置スベシ但シ所轄警察署長ノ承認ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 掃除義務者ハ土地ノ狀況其ノ他ニ依リ共用ノ塵芥容器ヲ設クルコトヲ得

第六條 規則第四條ノ規定ニ依リ掃除義務者ノ備フベキ塵芥容器ハ左

裏面	汚物掃除監視員之證
表面	第 號 附 名 印

ルト一メチンセ五

本令ハ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス  
道知事ハ邑又ハ邑ノ區域ノ一部ヲ指定シ本令ヲ準用スルコトヲ得  
別記様式  
八センチメートル

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス  
一 道路、公園、廣場、公共溝渠、下水道又ハ河川、運河、池沼等公共等ノ用ニ供スル水面ニ塵芥、煤灰、汚泥又ハ土石類ヲ投棄シタル者  
二 汚物掃除ニ關スル府又ハ他人ノ施設ヲ毀損又ハ汚損シタル者

朝鮮總督府令第二百二十五號  
關係法規



關係法規

- ノ制限ニ從フベシ
  - 一 厚板又ハ耐水材料ヲ以テ汚液ノ漏洩セザル構造トシ適當ノ覆蓋ヲ設クルコト但シ厚板ヲ材料トスルモノニ在リテハ防蝕劑ヲ塗布スルコト
  - 二 煤灰用ノ容器ハ耐火材料ヲ用フルコト
- 第七條** 規則第四條第二項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ塵芥容器ヲ厨芥用、雜芥用又ハ煤灰用ニ區別シ備フベキコトヲ指定シタル場合ハ煤灰ハ煤灰容芥ニ塵芥ハ之ヲ厨芥雜芥トニ分別シ各其ノ容器ニ蒐集スベシ
- 前項ノ指定ハ道知事之ヲ告示ス

**第八條** 塵芥焼却場ヲ設置セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ

- 一 設置者ノ住所職業氏名及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ名稱事務所在地及代表者氏名）
- 二 設置場所
- 三 敷地面積
- 四 建物ノ種別及面積
- 五 塵芥扱場ノ位置面積及構造
- 六 焼却設備ノ型式、構造及其操作方法
- 七 一日ノ焼却最高見込量
- 八 焼却残渣ノ處分方法
- 九 焼却場ニ於テ他ノ事業ヲ爲スモノニ在リテハ其事業内容
- 十 工費及經常費豫算

十 設計書及圖面

- 十一 起工及竣工豫定年月日
- 前項ノ工事竣工シタルトキハ道知事ニ届出デ許可ヲ受クルニ非ザレバ使用スルコトヲ得ズ
- 第一項第二號乃至第五號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ
- 第一項第一號又ハ第九號ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ十日以内ニ道知事ニ届出ツベシ
- 第十一條** 尿尿貯溜槽ヲ設置セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ所轄警察署長ノ許可ヲ受クベシ
- 一 設置者ノ住所、職業、氏名及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者ノ氏名）
  - 二 位置、構造及内容積
  - 三 設置ノ事由
  - 四 周圍四百メートル以内ノ見取圖
- 前項ノ工事竣工シタルトキハ所轄警察署長ニ届出デ検査ヲ受クルニ非ザレバ使用スルコトヲ得ズ
- 第一項第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ所轄警察署長ノ許可ヲ受クベシ
- 第一項第一號若ハ第四號ノ事項ニ變更ヲ生ジ又ハ貯溜槽ヲ廢止シタルトキハ十日以内ニ所轄警察署長ニ届出ツベシ
- 第十二條** 尿尿貯溜槽ハ左ノ制限ニ從フベシ但シ土地ノ狀況又ハ尿尿ノ數量ニ依リ衛生上支障ナシト認ムルトキハ之ヲ斟酌スルコトアル

關係法規

- 十一 周圍五百メートル以内ノ見取圖
  - 十二 設計書及圖面
  - 十三 起工及竣工豫定年月日
- 前項ノ工事竣工シタルトキハ道知事ニ届出デ許可ヲ受クルニ非ザレバ使用スルコトヲ得ズ
- 第一項第二號乃至第六號、第八號又ハ第九號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ
- 第一項第一號又ハ第十一號ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ十日以内ニ道知事ニ届出ツベシ
- 第九條** 塵芥ヲ焼却以外ノ方法ニ依リ處理セントスルトキハ其ノ事由期間、處理方法及處理ノ場所ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ
- 第十條** 尿尿處理場ヲ設置セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ
- 一 設置者ノ住所、職業、氏名及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者氏名）
  - 二 設置場所
  - 三 敷地面積
  - 四 建物ノ種別及面積
  - 五 處理方法
  - 六 一日ノ處理最高見込量
  - 七 處理上副産物ヲ生ズルトキハ其ノ種類及處分方法
  - 八 工費及經常費豫算
  - 九 周圍五百メートル以内ノ見取圖

- 一 道路、鐵道、軌道、人家又ハ井泉ヨリ二十メートル以上ノ距離ヲ保ツコト
  - 二 「コンクリート」煉瓦其他耐水材料ヲ以テ築造シ覆蓋ヲ設ケ周圍ニハ適當ノ塋塹ヲ設クルコト
- 第十三條** 尿尿ハ處理場又ハ貯溜槽以外ニ貯溜スルコトヲ得ズ
- 第十四條** 規則第九條ノ規定ニ依リ掃除義務者ヲシテ尿尿ヲ處理セシムベキ地域及期間ハ道知事之ヲ告示ス
- 第十五條** 土地ノ狀況ニ依リ汚水ヲ公共溝渠又ハ適當ノ場所ニ排泄スルコト能ハザル場合ハ汚水溜ヲ設ケ之ヲ貯溜スルコトヲ得
- 第十六條** 前條ノ汚水溜ヲ設ケントスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ
- 一 設置者ノ住所、職業、氏名及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者ノ氏名）
  - 二 設置理由
  - 三 位置、内容積及構造
  - 四 汚水處分方法
  - 五 起工及竣工豫定年月日
  - 六 一日ニ生ズル汚水最高見込量
  - 七 見取圖（周圍五十メートル以内ノ道路井泉等ト汚水溜トノ距離ヲ明ニセルモノ）
- 前項ノ工事竣工シタルトキハ道知事ニ届出デ検査ヲ受クルニ非ザンバ使用スルコトヲ得ズ

關係法規

第一項第三號又ハ第四號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ  
道知事ノ許可ヲ受クベシ

第一項第一號若ハ第七號ノ事項ニ變更ヲ生ジ又ハ汚水溜ヲ廢止シタ  
ルトキハ十日以内ニ道知事ニ届出ヅベシ

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル汚水ハ除害方法ヲ定メ道知事ノ許  
可ヲ受クルニ非ザレバ公共溝渠、河川、池沼其ノ他公共ノ用ニ供ス  
ル水面ニ排泄スルコトヲ得ズ

- 一 劇毒藥性物質ヲ含有スルモノ
- 二 甚シキ惡臭ヲ發スルモノ
- 三 多量ノ沈澱物ヲ混ズルモノ
- 四 外科手術又ハ屍體解剖ニ因リ生ジタルモノ
- 五 前各號ノ外有害ノ虞アリト認メタルモノ

第十八條 前條ノ規定ニ依リ許可申請書ニハ左ノ事項ヲ具スベシ

- 一 申請者ノ住所、職業、氏名及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ名  
稱、事務所所在地及代表者ノ氏名）
- 二 汚水ヲ生ズル原因、汚水ニ含有スル主タル物質及一日ニ生ズル  
汚水最高見込量
- 三 排泄場所
- 四 除害方法
- 五 一日ノ除害最高見込量
- 六 見取圖（周圍百メートル以内ノ建物、道路、井泉其ノ他ノ地物  
ト排泄場所トノ距離ヲ明ニセルモノ）

前項ノ工事竣工シタルトキハ道知事ニ届出デ検査ヲ受クルニ非ザレ

〔京城例一〕

二 設置場所

三 敷地面積

四 建物ノ種別及面積

五 汚物ノ種類及一日ノ積替量

六 積替方法

七 周圍五百メートル以内ノ見取圖

八 設計書及圖面

九 起工及竣工豫定年月日

前項ノ工事竣工シタルトキハ道知事ニ届出デ許可ヲ受クルニ非ザレ  
バ使用スルコトヲ得ズ

第一項第二號乃至第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ  
道知事ノ許可ヲ受クベシ

第一項第一號又ハ第七號ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ十日以内ニ  
道知事ニ届出ヅベシ

第二十三條 汚物處理場又ハ積替場ノ位置及構造ハ左ノ制限ニ從フベ  
シ但シ土地ノ狀況又ハ汚物ノ種類、數量又ハ處理方法ニ依リ衛生上  
支障ナシト認ムルトキハ之ヲ斟酌スルコトアルベシ

- 一 人家又ハ主要道路ヨリ適當ナル距離ヲ保ツコト
- 二 飲料水ノ水源若ハ水路又ハ井泉ヨリ二十メートル以上ノ距離ヲ  
保ツコト
- 三 敷地ノ周圍ニハ高さ二、八メートル以上ノ塙塹ヲ設クルコト
- 四 適當ナル防臭裝置ヲ爲スコト
- 五 汚物焼却爐ノ煙突ノ高さハ二十五メートル以上トシ防煙裝置ヲ  
關係法規

爲スコト

六 汚物扱場ノ地盤ハ不滲透質材料ヲ以テ築造スルコト

第二十四條 汚物運搬ノ用ニ供スル容器ハ堅牢ニシテ蓋ヲ設ケ臭氣  
ノ發散又ハ汚物ノ漏洩若ハ逸散セザル構造ノモノトスベシ

第二十五條 汚物ノ蒐集運搬ヲ爲ス者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

- 一 尿尿ヲ汲取ルトキ尿尿壺周圍及汲取口ヲ汚穢セザルコト
- 二 運搬器具及汲取器具ノ類ハ隨時洗滌シ清潔ヲ保ツコト
- 三 汚物ヲ逸散又ハ漏洩セシメザルコト
- 四 運搬中ハ必ず蓋ヲ施スコト

第二十六條 運搬義務ノ府ニ屬セザル地域及第十九條各號ノ汚物ノ蒐  
集運搬業ヲ爲サントスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ道知事ノ許可ヲ  
受クベシ

- 一 申請者ノ住所、氏名、生年月日及商號（法人ニ在リテハ其ノ名  
稱、商號、事務所所在地及代表者ノ氏名）
- 二 蒐集運搬セントスル汚物ノ種類
- 三 業務區域
- 四 蒐集運搬ニ付料金ヲ受クルトキハ料金額及徵收方法
- 五 蒐集運搬並ニ貯藏ノ方法及其ノ器具設備ノ概要
- 六 汚物處分方法

前項各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ道知事ノ許可ヲ  
受クベシ

第二十七條 府ニ於テ其ノ義務ニ屬スル汚物ノ蒐集運搬又ハ處理ヲ請  
負ハシメタルトキハ請負契約書ノ寫ヲ添附シ十日以内ニ道知事ニ届

〔京城例三〕

關係法規

出ツベシ請負契約ノ内容又ハ請負人ノ住所氏名ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

**第二十八條** 本令ニ基ク構造設備ニシテ本令ニ違反シ又ハ衛生上危害ヲ生ズル虞アリト認ムルトキハ其ノ使用ヲ制限若ハ禁止シ又ハ構造設備ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

**第二十九條** 本令ニ依リ道知事ニ提出スベキ願届書ハ所轄警察署長ヲ經由スベシ

**第三十條** 第一條乃至第四條、第六條乃至第十一條、第十三條、第十六條乃至第十九條、第二十一條、第二十二條若ハ第二十四條乃至第二十六條ノ規定ニ違反シ又ハ第二十八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

**第三十一條** 前條ニ定ムル罰則ヲ適用スベキ者未成年者、禁治産者又ハ法人ナルトキハ其法定代理人又ハ代表者ニ之ヲ適用ス但シ未成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本令ハ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル屎尿處理場、汚物積替場及塵芥焼却場ハ昭和十五年九月末日迄ニ屎尿貯溜槽ハ昭和十三年六月末日迄ニ本令ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベシ

朝鮮汚物掃除令ヲ準用スベキ邑又ハ邑ノ區域ノ一部ノ指定ハ道知事之ヲ告示ス

上往十里	町	下往十里	町
祭基町	清凉里町	杏堂町	安岩町
馬場町	沙斤町	回基町	龍頭町
典農町	大峴町	鷹峰町	踏十里町
延禧町	新村町	老姑山町	里門町
望遠町	弘濟町	奉元町	東橋町
普光町	漢南町	西營町	合井町
東水庫町	鑄城町	弘智町	付岩町
大興町	土亭町	玉水町	西水庫町
玄石町	倉前町	范芝町	龍江町
唐人町	鷺梁津町	新井町	舊水町
楊坪町	楊花町	賀中町	下水溢町
銅雀町	上道町	本洞町	堂山町
		番大方町	汝矣島町
		新吉町	

〔京城例三〕

五七二ノ一〇

●朝鮮汚物掃除令施行細則第九條第二項ノ規定ニ依ル掃除義務者ニ於テ汚物ヲ處理セシムベキ地域指定ノ件

昭和十二年十月六日  
道告第三百四十號

改正 昭和十五年七月道告二一〇號

朝鮮汚物掃除令施行細則第十九條第二項ノ規定ニ依リ戸口稀薄ナル爲掃除義務者ヲシテ汚物ヲ處理セシムベキ地域ヲ左ノ通定ム

一 京城府内(イ)塵芥ヲ處理セシムベキ地域	
鐘岩町	踏十里町
徽慶町	里門町
滄川町	東橋町
西營町	合井町
新營町	付岩町
金湖町	西水庫町
鹽里町	新井町
楊坪町	楊花町
銅雀町	上道町
	馬場町
	典農町
	延禧町
	新村町
	弘濟町
	漢南町
	鑄城町
	唐人町
	新吉町
	汝矣島町
	沙斤町
	大峴町
	老姑山町
	奉元町
	弘智町
	玉水町
	范芝町
	堂山町

〔京城例三〕

關係法規

五七二ノ一一

●朝鮮汚物掃除令施行細則第二十一條ノ規定ニ依リ汚物ヲ肥料トシテ施スコトヲ得サル地域指定ノ件

昭和十二年十月六日  
通告第三百三十九號

朝鮮汚物掃除令施行細則第二十一條ノ規定ニ依リ惡臭ヲ發スル汚物ヲ肥料トシテ施スコトヲ得ザル地域左ノ通定ム

- 一 京城府 舊京城府内一圓

〔京城例三〕

鍾路一丁目及二丁目表通

〔京城例一〕

●府面ニ於テ徵收シタル國稅納付期限

大正十一年五月二十九日  
朝鮮總督府訓令第二十七號

第一條 日本銀行代理店又ハ國庫金ヲ取扱フ逓信官署所在地ニ在ル府面ニ於テ徵收シタル國稅ハ領收ノ日又ハ其ノ翌日日本銀行代理店又ハ國庫金ヲ取扱フ逓信官署ニ納付スベシ但シ徵收金額百圓未満ナルトキハ毎三分ヲ取纏メ納付スルコトヲ得

第二條 日本銀行代理店又ハ國庫金ヲ取扱フ逓信官署所在地外ニ在ル府面ニ於テ徵收シタル國稅ハ左記期限内ニ日本銀行代理店又ハ國庫金ヲ取扱フ逓信官署ニ納付スベシ

徵收金高 百圓未満	七日以内
徵收金高 百圓以上	五日以内
徵收金高 五百圓以上	三日以内
徵收金高 千圓以上	翌日限

第三條 前二條ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキハ府ニ在リテハ府尹、面ニ在リテハ郡守又ハ島司ヲ經テ道知事ノ承認ヲ受ケ納付期限ヲ變更スルコトヲ得

第四條 道知事前條ノ承認ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ納付期限及變更ヲ要スル詳細ノ事由ヲ具シ報告スベシ

五七三

●朝鮮汚物掃除令施行規則第七條ノ規定ニ依リ毎日一回塵芥ヲ搬出スヘキ地域指定ノ件

昭和十二年十月十八日  
通告第三百五十三號

朝鮮汚物掃除令施行規則第七條第二項ノ規定ニ依リ毎日一回各戸ヨリ塵芥ヲ搬出スヘキ地域左ノ通指定ス

記

京城府 本町自一丁目至五丁目表通

關係法規

關係法規

第五條 前各條ノ規定ハ府面ニ於テ徵收シタル國稅以外ノ國庫金ニ付之ヲ準用ス

納稅施設費ヲ府邑面費ヨリ支出ノ件

昭和七年十一月  
道通牒

府邑面内所在ノ納稅團體ニ對スル助成金ノ交付ハ從來之ヲ認メザル方針ナリシ處斯種稅團體ノ事業内容ニシテ個人ニ金員ヲ交付スルガ如キ間接表彰ニ互ラズ單ニ納稅ノ宣傳等一般ノ獎勵施設ニ止マルモノニ對シ其ノ團體所費一部補助ヲ爲スハ支障ナキコトニ相成リタルニ付御了知相成度シ尤モ各府邑面ノ財政ヲ顧慮スル所ナク劃一的ニ之ガ支出ヲ強要スルガ如キハ適當ナラザルニ付實施ニ當リテハ斯クノ如キ弊害ナキノウ嚴ニ戒メラレタシ  
追テ間接タルト直接タルト間ハズ個人ニ對スル表彰ヲ認メザルコトハ從前ノ通ニ付特ニ申添フ

市場規則

大正三年九月十二日  
朝鮮總督府令第三百三十六號

改正 大正九年四月總令三八號 一三年九月五一號 昭和二年三月一六號 五年五月五三號 六年九月一〇九號  
第一條 本令ニ於テ市場ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一 場屋ヲ設ケ又ハ場屋ヲ設ケザルモ區劃シタル地域ニ於テ毎日又ハ定期ニ多數ノ需要者及供給者來集シ貨物ノ賣買交換ヲ行フ場所  
二 二十人以上ノ營業者一場屋ニ於テ主トシテ穀物、食料品ノ販賣業ヲ行フ場所  
三 委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ノ販賣業ヲ行フ場所  
第二條 市場ハ公共團體又ハ之ニ準ズベキモノニ非ザレバ之ヲ經營スルコトヲ得ズ  
第三條 市場ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ道知事ニ提出シ許可ヲ受クベシ

- 一 名 稱
  - 二 位 置
  - 三 面 積
  - 四 設 備
  - 五 開市日又ハ休業日及市場ノ開閉時刻
  - 六 取引スベキ主ナル貨物ノ種類
  - 七 府面ニ於テ經營スル場合ヲ除クノ外使用料ヲ徵收セントスルトキハ其ノ率及徵收方法
  - 八 管理方法
  - 九 設置ノ理由
- 前項ノ願書ニハ市場ノ設備、位置及其ノ附近ノ狀況ヲ記載シタル圖面ヲ添附スベシ  
第四條 市場ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク之ヲ道知事ニ届出ヅベシ  
第一條第三號ノ市場ニシテ休業日以外ノ休業ヲ爲シタルトキ、其ノ

〔京城例一〕

他ノ市場ニシテ一月以上ニ互ル休業ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同ジハ

第五條 第三條第一項第一號乃至第八號ニ掲ゲタル事項ヲ變更セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

第六條 市場ヲ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク之ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第七條 道知事ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第三條第一項又ハ第五條ノ許可ヲ取消シ又ハ市場ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八條 委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル營業ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ市場經營者ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附シ道知事ニ提出シ許可ヲ受クベシ

- 一 商號、氏名
  - 二 資本金額
  - 三 營業期間
  - 四 營業規程
  - 五 營業所ノ位置
  - 六 貨物ノ種類
  - 七 一年間ノ販賣見込數量及金額
  - 八 一年間ノ損益見込計算
- 營業者其ノ營業上必要ナル設備ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ設備ヲ記載シタル書面及圖面ヲ前項ノ願書ニ添附スベシ  
第九條 前條ノ營業規程ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ  
一 貨物ノ保管及販賣ノ方法ニ關スル事項  
關係法規

〔京城例〕

- 二 仲買人ヲ置クトキハ其ノ資格及加入脫退ニ關スル事項
- 三 販賣手數料ノ率及取立方法、委託者ニ對スル代金支拂方法其ノ他委託ニ關スル事項
- 四 營業時間及休業日ニ關スル事項
- 五 前各號ノ外營業ニ關シ必要ナル事項
- 第十條 第八條第一項第三號ノ營業期間ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得
- 第十一條 第八條ニ依リ許可ヲ受ケタル營業ハ相續ニ依リ之ヲ繼承スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ遲滞ナク之ヲ道知事ニ届出ヅベシ
- 第十二條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者同條第一項第三號、第五號、第六號ノ事項、同條第二項ノ設備又ハ營業規程ヲ變更セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ
- 第十三條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外休業日以外ニ其ノ營業ヲ休止スルコトヲ得ズ
- 第十四條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者ハ營業規程ニ依ル場合ヲ除クノ外其ノ營業貨物ノ販賣委託ヲ拒ムコトヲ得ズ
- 第十五條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ營業ヲ開始シ廢止シ又ハ休業日以外ニ休止シタルトキハ遲滞ナク之ヲ道知事ニ届出ヅベシ但シ營業休止ノ場合ハ其ノ事由ヲ願書ニ記載スベシ  
營業者死亡シタルトキ又ハ解散ニ依リ營業ヲ廢止シタルトキハ相續

人又ハ清算人ヨリ遲滞ナク之ヲ通知事ニ届出ヅベシ

第十六條 道知事又ハ警察署長必要アリト認ムルトキハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者ヲシテ營業ノ狀況及出納計算ノ報告ヲ爲サシメ又ハ之ニ關スル書類帳簿ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十七條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者許可ヲ受ケタル日ヨリ六月内ニ營業ヲ開始セズ又ハ營業休止一月ヲ超ユルトキハ道知事ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

道知事公益上必要アリト認ムルトキハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ許可ヲ取消シ又ハ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第十八條 警察官必要アリト認ムルトキハ市場ニ於テ營業ヲ爲ス者又ハ市場ニ入ル者ニ對シ公安交通又ハ衛生ノ取締ニ關シ臨時必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 許可ヲ受ケズシテ市場ヲ設置シタルトキ  
二 許可ヲ受ケズシテ第八條ニ規定スル營業ヲ爲シ又ハ不實ノ申告ヲ爲シテ第八條ノ許可ヲ受ケタルトキ  
三 第八條ノ許可ヲ受ケタル營業者營業所トシテ許可ヲ受ケタル市場外ニ於テ其ノ營業ヲ爲シタルトキ

第二十條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハトキ  
一 該當スル者ハ一年以下ノ懲役禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
二 許可ヲ受ケズシテ市場ヲ設置シタルトキ  
三 許可ヲ受ケズシテ第八條ニ規定スル營業ヲ爲シ又ハ不實ノ申告ヲ爲シテ第八條ノ許可ヲ受ケタルトキ  
四 第十三條若ハ第十四條ノ規定又ハ第十七條ノ命令ニ違反シタルトキ

第二十一條 第八條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハトキ  
一 該當スル者ハ一年以下ノ懲役禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
二 許可ヲ受ケズシテ市場ヲ設置シタルトキ  
三 許可ヲ受ケズシテ第八條ニ規定スル營業ヲ爲シ又ハ不實ノ申告ヲ爲シテ第八條ノ許可ヲ受ケタルトキ  
四 第十三條若ハ第十四條ノ規定又ハ第十七條ノ命令ニ違反シタルトキ

第二十二條 第十一條、第十二條第二項又ハ第十五條ニ規定スル届出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第二十三條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令ニ規定スル罪ヲ犯シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

第二十四條 第八條ニ規定スル營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ規定シタル罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルコトヲ得ズ

第二十五條 本令ハ主トシテ米ノ賣買取引ヲ爲ス市場ニハ之ヲ適用セズ

附則  
第二十六條 委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル市場ハ當分ノ内公共團體又ハ之ニ準ズベキモノ以外ノ者ニ對シ期限ヲ附シ其ノ設置ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條 本令施行ノ際現ニ存在スル市場ニシテ會社又ハ個人ノ經營ニ屬セザルモノハ道長官ノ指定スル公共團體又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ設置シタルモノト看做ス

第二十八條 本令施行ノ際現ニ會社又ハ個人ニ於テ經營スル市場ハ引續キ之ヲ經營スルコトヲ得

第二十九條 市場ニハ第四條第二項、第五條乃至第七條ノ規定ヲ準用ス

第三十條 不實ノ申告ヲ爲シ第二十六條ノ市場ノ許可ヲ受ケタル者又ハ市場ヲ經營スル會社又ハ個人ニシテ第七條ノ命令ニ違反シタルトキハ一年以下ノ懲役禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 本令施行前許可ヲ受ケ現ニ第八條ニ規定スル營業ヲ爲ス

關係法規

二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十二條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ不實ノ申告ヲナシ第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタルトキ  
二 許可ノ條件又ハ營業規程ニ違反シタルトキ  
三 第十六條ニ規定スル検査ヲ拒ミ營業ノ狀況若ハ出納計算ノ報告ヲ爲サズ又ハ報告ニ不實ノ記載ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ  
四 營業ニ關スル書類帳簿ニ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ故意ニ必要ノ事項ヲ記載セザルトキ

第二十一條 第十八條ニ依ル警察官ノ命令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十二條 第十一條、第十二條第二項又ハ第十五條ニ規定スル届出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第二十三條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令ニ規定スル罪ヲ犯シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

第二十四條 第八條ニ規定スル營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ規定シタル罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルコトヲ得ズ

第二十五條 本令ハ主トシテ米ノ賣買取引ヲ爲ス市場ニハ之ヲ適用セズ

附則  
第二十六條 委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル市場ハ當分ノ内公共團體又ハ之ニ準ズベキモノ以外ノ者ニ對シ期限ヲ附シ其ノ設置ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條 本令施行ノ際現ニ存在スル市場ニシテ會社又ハ個人ノ經營ニ屬セザルモノハ道長官ノ指定スル公共團體又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ設置シタルモノト看做ス

第二十八條 本令施行ノ際現ニ會社又ハ個人ニ於テ經營スル市場ハ引續キ之ヲ經營スルコトヲ得

第二十九條 市場ニハ第四條第二項、第五條乃至第七條ノ規定ヲ準用ス

第三十條 不實ノ申告ヲ爲シ第二十六條ノ市場ノ許可ヲ受ケタル者又ハ市場ヲ經營スル會社又ハ個人ニシテ第七條ノ命令ニ違反シタルトキハ一年以下ノ懲役禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 本令施行前許可ヲ受ケ現ニ第八條ニ規定スル營業ヲ爲ス

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第一條第四號ノ市場ヲ經營スル者及其ノ仲買人ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ許可ヲ受クベシ

前項ニ依リ許可ヲ願出デタル者ハ其ノ許可決定セル迄從前ノ例ニ依リ事業ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行前會社ニ依リ許可ヲ受ケ第一條第四號ノ市場ヲ經營スル會社ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行前許可ヲ受ケ現ニ第八條ニ規定スル營業ヲ爲ス

五七七

關係法規

附則 (昭和六年總令第九號)  
 本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム(昭和六年十一月總令第三百三十七號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行)  
 本令施行ノ際現ニ存スル第一條第四號ノ市場及其ノ市場ヲ經營スル組合ノ組合員ニ關シテハ本令施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

●市場規則取扱手續

大正十二年十月  
 京畿道訓令二十六號

改正 昭和二年六月道訓一〇號

- 第一條 市場規則以下單ニ規第一條第一號乃至第三號ノ市場及規則第八條ノ營業ニ關スル事務ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本手續ニ依ル
- 第二條 府、面ノ經營スル市場ノ設置、廢止又ハ位置變更其ノ他市場ニ關シ重要ト認ムル事項ニ付許可ヲ受ケムトスルトキハ府、面協議會ニ諮問シ其ノ會議録ノ寫ヲ添附スベシ但シ已ム得ザル事由ニ依リ諮問ノ手續ヲ經ルコト能ハザリシ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ詳具スベシ
- 市場ノ設置又ハ其ノ位置、面積、設備若ハ管理方法ノ變更ニシテ府、面ノ歳入歳出ニ關係アルトキハ其ノ市場ノ收支豫算書ヲ申請書ニ添附スベシ
- 第二條ノ二 市場ノ設置又ハ規則第八條ノ營業ノ出願者ガ會社又ハ組合ナルトキハ其ノ定款又ハ組合契約ノ寫ヲ願書ニ添附セシムベシ
- 第三條 府尹、郡守規則第三條、第五條又ハ第六條ノ申請書ヲ進達セ

四 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

- 第四條 府尹、郡守規則第三條、第五條、第六條、第八條又ハ第十二條第一項ノ申請書ヲ申達セントスルトキハ警察署長ノ意見ヲ求メ申請書ニ添附スベシ但シ交通、衛生其ノ他公安ニ關係ナキ事項又ハ輕易ナル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 警察署長前項ノ意見ヲ求メラレタルトキハ交通、衛生其ノ他公安ニ關係スル取締上必要ノ事項ヲ調査シ意見ヲ附シ府尹、郡守ニ送付スベシ
- 第四條ノ二 府尹、郡守ハ入場料又ハ之ニ類スル使用料ヲ徵收スル市場ヲシテ其ノ徵收ノ率ヲ入場者ノ見易キ位置ニ揭示セシムベシ
- 第四條ノ三 府尹、郡守ハ市場ノ經營者ヲ除ク及規則第八條ノ營業者ヲシテ決算期毎ニ其ノ成績ヲ通知事ニ報告セシムベシ
- 第五條 府尹、郡守、警察署長規則第七條又ハ第十七條ノ處分ヲ要スト認ムルトキハ其ノ意見ヲ具申スベシ
- 第六條 警察署長規則第十六條ニ依リ執行シタル事項ニシテ重要ト認ムルモノハ之ヲ報告スベシ
- 第七條 削除
- 第八條 内務部、府、郡及市場ヲ經營スル面ニ於テハ別記様式ニ依リ市場臺帳ヲ設ケ整理スベシ

(別記様式)

市場ノ種類	市場規則第 號	位置	府 町(洞) 通(番) 地
市場ノ種類	市場規則第 號	位置	郡 面 町(里) 番 地

關係法規

- 一 市場ノ設置、廢止又ハ變更ヲ要スル理由ノ適否
- 二 市場敷地ノ所有者及所有者ト市場經營者ト異ルトキハ其ノ敷地使用上ノ關係
- 三 集散區域及一年ノ取引貨物ノ種類別見込數量並ニ價格
- 四 市場所在地及附近二里以内ニ於ケル各部落ノ戶數、人口
- 四ノ二 市場所在地及隣接各面ノ面別重要生産品及消費貨物ノ品目、數量及價格
- 五 附近郡ニ在リテハ道ノ内外 既設市場ノ名稱、距離、開市日及之ニ及ボス影響ノ程度
- 六 地方民ノ利害及其ノ意嚮
- 七 其ノ他參考ト爲ルベキ事項
- 八 許否ニ關スル意見
- 府内ノ市場ニ付テハ前項第四號及第四號ノ二ノ事項、府ノ經營スル市場ニ付テハ前項第一號及第八號ノ事項ハ之ヲ記載スルコトヲ要セズ
- 第三條ノ二 府尹、郡守規則第八條ノ營業ノ願書ヲ進達セムトスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル調査ヲ添附スベシ
- 一 出願者ノ資産及負債並ニ信用ノ程度
- 二 資本金ノ内譯
- 三 其ノ事業ヲ經營スル者ニ在リテハ其ノ事業ノ内容及成績

〔京城例〕

〔京城例三〕

許年月日	許可番號	第 號	存立期間	至自	面積	設備	開市日	休業日	開閉時刻	至自	市場臺帳	使用料		備考	
												市場經營者ノ設備	其ノ他ノ者ノ設備		市場率
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

### ●食糧卸賣市場取締規則

昭和四年九月  
京畿道令第十號

**第一條** 本令ニ食糧卸賣市場トハ市場規則第一條第三號ニ該當スルモ  
クヲ除クノ外競賣ノ方法ニ依リ又ハ競賣ノ方法ニ依ラザルモ道知事  
ノ指定シタル地域内ニ於テ毎日又ハ定期ニ集合スル多數ノ營業者ニ  
對シ鮮魚介類若ハ生果蔬菜類ノ卸賣業ヲ行フ場所ヲ謂フ  
前項ノ地域ハ之ヲ告示ス

**第二條** 食糧卸賣市場ヲ開設セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ道知事ノ  
許可ヲ受クベシ

- 一 名稱
  - 二 位置
  - 三 面積
  - 四 設備
  - 五 開閉時刻及休業日
  - 六 取引貨物ノ品目
  - 七 使用料ノ率及徵收方法
  - 八 管理方法
  - 九 開設ノ理由
- 前項ノ許可ヲ受ケタル者第一號乃至第八號ノ事項ヲ變更セントスル  
トキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ
- 第三條** 市場規則第八條ノ營業ニ該當スルモノヲ除クノ外競賣ノ方法

ニ依リ又ハ競賣ノ方法ニ依ラザルモ第一條ノ地域内ニ於テ毎日又ハ  
定期ニ集合スル多數ノ營業者ニ對シ鮮魚介類若ハ蔬菜類ノ卸賣ヲ行  
フ營業ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ

- 一 商號
  - 二 營業所ノ位置
  - 三 取引品目
  - 四 營業規程
  - 五 出願者自ラ設備ヲ爲ストキハ其ノ設備
  - 六 出願者ト開設者ト異ルトキハ開設者ノ同意ヲ得タルコトヲ證ス  
ル書面
  - 七 資本金額
  - 八 一年間ノ販賣見込數量及金額
  - 九 一年間ノ損益見込計算
- 前項ノ許可ヲ受ケタル者第一號乃至第五號ノ事項ヲ變更セントスル  
トキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

**第四條** 前項ノ營業規程ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 營業時間及休業日ニ關スル事項
- 二 貨物ノ保管及販賣ノ方法ニ關スル事項
- 三 仲買人其ノ他取引参加者ノ資格及ビ加入脱退ニ關スル事項
- 四 保證金手數料及歩戻又ハ獎勵金ニ關スル事項
- 五 代金受渡ノ方法ニ關スル事項
- 六 前各號ノ外營業ニ關スル事項

**第五條** 第二條又ハ第三條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當ス  
ルモノハ左ノ事項ニ該當スルモノトシテ之ヲ開設スルコトヲ禁止ス

〔京城例三〕

ルトキハ遲滞ナク之ヲ道知事ニ届出ヅベシ但シ第四號ノ事項ニ付テ  
ハ相續人又ハ清算人ヨリ届出ヅベシ

- 一 食糧卸賣市場又ハ營業ノ開始
- 二 休業日トシテ定ムルモノノ外食糧卸賣市場又ハ營業ノ休止
- 三 食糧卸賣市場又ハ營業ノ廢止
- 四 開設者若ハ營業者ノ死亡又ハ解散

**第六條** 道知事ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第二條又ハ第三條ノ  
許可ヲ受ケタル者ニ對シ食糧卸賣市場又ハ營業所ノ位置、設備又ハ  
營業規程ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

**第七條** 道知事ハ必要アリト認ムルトキハ第三條ニ規定スル營業ヲ爲  
ス者ヲシテ營業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ官吏ヲシテ營業ノ狀況  
及之ニ關スル書類帳簿ノ検査ヲ爲サシムルコトアルベシ

**第八條** 食糧卸賣市場ヲ開設スル者又ハ第三條ニ規定スル營業ヲ爲ス  
者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ道知事ハ許可ヲ取消シ又ハ  
營業ノ停止其ノ他必要ノ措置ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本令ノ規定又ハ第六條ニ依ル命令ニ違反シタルトキ
- 二 許可ノ條件又ハ營業規程ニ違反シタルトキ
- 三 第七條ニ規定スル検査ヲ拒ミ、報告ヲ爲サズ又ハ事實ヲ隱蔽シ  
タルトキ
- 四 公益ヲ害スル虞アルトキ

**第九條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役禁錮又ハ百圓以  
下ノ罰金ニ處ス

〔京城例三〕

- 一 許可ヲ受ケズシテ食糧卸賣市場ヲ開設シタルトキ
- 二 許可ヲ受ケズシテ第三條ニ規定スル營業ヲ爲シタルトキ
- 三 第三條ノ許可ヲ受ケタル者營業所トシテ許可ヲ受ケタル食糧卸  
賣市場外ニ於テ其ノ營業ヲ爲シタルトキ
- 四 第八條ニ依ル命令ニ違反シタルトキ

**第十條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
ルモノハ左ノ事項ニ該當スルモノトシテ之ヲ開設スルコトヲ禁止ス

- 一 第二條第二項、第三條第二項若ハ第五條ノ規定又ハ第六條ニ依  
ル命令ニ違反シタルトキ
- 二 許可ノ條件又ハ營業規程ニ違反シタルトキ
- 三 第七條ニ規定スル検査ヲ拒ミ報告ヲ爲サズ又ハ報告ニ不實ノ記  
載ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 四 第十一條ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本  
人ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ本人ノ指揮ニ出デザルモノ  
ト雖モ其ノ罰則ヲ本人ニ適用ス
- 五 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者ニシテ法人ノ業務ニ關シ  
本令ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

#### 附則

本令ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ執行ス  
本令施行ノ際現ニ第一條ノ食糧卸賣市場ヲ開設スル者又ハ第三條ニ規  
定スル營業ヲ爲ス者ニ付亦本令ヲ適用ス



### ●日用品市場規則

昭和五年五月  
京畿道令第九號

**第一條** 本令ニ日用品市場ト八十人以上二十人未滿ノ營業者一場屋ニ於テ食料又ハ燃料其ノ他ノ日用品ノ販賣業ヲ行フ場所ヲ謂フ

**第二條** 日用品市場ヲ開設セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受ケベシ

- 一 名稱
  - 二 位置
  - 三 面積
  - 四 場屋ノ構造及其ノ他ノ設備
  - 五 開閉時刻及休業日
  - 六 販賣品目
  - 七 營業者ノ定員
  - 八 地方公共團體以外ノ者ニ在リテハ業務規程
  - 九 位置及附近ノ狀況ヲ表示シタル圖面
  - 十 開設者法人又ハ組合ナルトキハ其ノ定款又ハ規約
  - 十一 一年間ノ收支見込計算
  - 十二 開設ノ理由
- 前項ノ許可ヲ受ケタル者第一號乃至第八號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受ケベシ
- 第三條** 前條ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 使用方法ニ關スル事項

- 二 使用料及保證金ニ關スル事項
  - 三 販賣方法ニ關スル事項
  - 四 衛生保持方法其ノ他管理方法ニ關スル事項
  - 五 前各號ノ外業務ニ關スル事項
- 第四條** 第二條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ道知事ニ届出ヅベシ但シ第三號ノ事項ハ相續人又ハ清算人ヨリ届出ヅベシ
- 一 日用品市場ノ開始又ハ廢止
  - 二 日用品市場ノ休業日トシテ定ムルモノノ外十日以上ニ亙ル休業
  - 三 開設者ノ死亡又ハ解散
- 第五條** 日用品市場ニ於テ營業ヲ爲ス者ハ表記シタル販賣價格ト異リタル價格ヲ以テ商品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第六條** 日用品市場ニ於テ營業ヲ爲ス者ハ道知事ノ指定スル所ニ依リ商品ノ販賣價格及商品ノ度量衡ニ依ル正味量ヲ表記スベシ
- 第七條** 道知事ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第二條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ日用品市場ノ位置、設備又ハ業務規程ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ
- 第八條** 府尹又ハ郡守ハ必要アリト認ムルトキハ日用品市場ノ開設者ヲシテ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ業務ノ狀況及之ニ關スル書類帳簿ノ検査ヲ爲スコトヲ得
- 道知事ハ部下ノ官吏ヲシテ前項ノ検査ヲ爲サシムルコトアルベシ
- 第九條** 日用品市場ヲ開設スル者本令ノ規定、第七條ニ依ル命令、許可

〔京城例三〕

可ノ條件若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ道知事ハ許可ヲ取消シ又ハ業務ノ停止其ノ他必要ノ措置ヲ命ズルコトアルベシ

**第十條** 許可ヲ受ケズシテ日用品市場ヲ開設シタル者ハ三月以下ノ懲役、禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第十一條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第二條第二項、第四條、第五條第一項若ハ第六條ノ規定又ハ第七條ニ依ル命令ニ違反シタルトキ
  - 二 許可ノ條件又ハ業務規程ニ違反シタルトキ
  - 三 第八條ニ規定スル検査ヲ拒ミ、報告ヲ爲サズ又ハ報告ニ不實ノ記載ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 第十二條** 代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本人ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ本人ノ指揮ニ出デザルモノト雖モ其ノ罰則ヲ本人ニ適用ス
- 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者ニシテ法人ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス
- 第十三條** 許可ヲ受ケタル日用品市場又ハ市場規則第一條第二號ニ該當スル市場ヨリ百メートル以内ノ地域ニ於テ五人以上十人未滿ノ營業者一場屋ニ於テ食料又ハ燃料其ノ他ノ日用品ノ販賣業ヲ行フ場所ニ付テハ第二條乃至第四條及第七條乃至第九條ノ規定ヲ準用ス
- 前項ニ依リ準用シタル規定ニ關スル本令ノ罰則ハ前項ノ場所ヲ開設スル者ニ之ヲ準用ス

#### 附則

〔京城例一〕

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存在スル日用品市場又ハ第十三條ノ場所ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ日用品市場又ハ第十三條ノ場所ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一月内ニ第二條第一項第一號乃至第十號ノ事項ヲ道知事ニ届出ヅベシ

前項ノ届出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

### ●府條例發布ノ形式ニ關スル件

昭和十一年五月  
官通際

府條例ノ發布ニ付テハ府公式條例ノ規定ニ依リ其ノ府條例タルコトヲ明記シテ之ヲ爲スベキモノナル處近來其ノ形式區々ニ流レ條例番號ノ外告示番號ヲ附シ又ハ條例廢止ニ關スル條例ヲ告示ヲ以テ公告シタルモノ等ノ事例有之或ハ其ノ效力ニ影響ヲ及ボス場合モ可有之ニ付爾今別紙様式ニ依リ處理セシメ認可申請ノ場合ニ在リテモ其ノ形式ヲ具備セシメラレ度

様式ノ一

何府會(何教育會)ノ議決ヲ經朝鮮總督(何道知事)ノ認可ヲ受ケ何府何條例左ノ通定ム(何府何條例中左ノ通改正ス)

年 月 日

何府尹 氏 名

何府條例第 號

(新設ノ場合)

何々條例

何々

(改正ノ場合)

何々

様式ノ二

何府會(何教育部會)ノ議決ヲ經朝鮮總督(何道知事)ノ認可ヲ受ケ何府何條例廢止ノ件左ノ通定ム

年 月 日

何府尹

氏名

何府條例第 號

何府何條例ハ(何年何月何日限)之ヲ廢止ス

附則

何々

### 朝鮮道路令

昭和十三年四月四日  
制令第十五號

#### 第一章 總則

第一條 本令ニ於テ道路ト稱スルハ一般交通ノ用ニ供スル道路ニシテ行政廳ニ於テ第二章ノ規定ニ依リ路線ノ認定ヲ爲シタルモノヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ道路ノ附屬物ト稱スルハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

- 一 道路ヲ接續スル橋梁、洗越、渡船場及索道
- 二 道路ニ附屬スル支壁、暗渠、水拔、側溝、竝木、柵、道路元標、里程標、修繕擔當區域標、道路境界標及道路標識
- 三 道路ニ近接スル道路修繕用材料ノ常置場
- 四 前各號ノ外朝鮮總督ニ於テ道路ノ附屬物ト定メタルモノ

第三條 本令ニ於テ道路ニ關スル工事ト稱スルハ道路ノ新設、改築及修繕ニ關スル工事ヲ謂フ

第四條 本令ニ於テ他ノ工作物ト稱スルハ堤防、堰堤、護岸、鐵道用橋梁其ノ他朝鮮總督ノ定ムル工作物ヲ謂フ

第五條 道路ヲ構成スル敷地其ノ他ノ物件ニ付テハ私權ヲ行使スルコトヲ得ズ但シ所有權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定若ハ移轉ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 道路、道路附近ノ土地又ハ道路ノ附屬物ニ關スル本令ノ規定ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ新ニ道路、道路附近ノ土地又ハ道路ノ附屬物ト爲ルベキモノニ之ヲ準用ス

第七條 本令ニ依リ行政廳ノ許可ヲ受クベキ事項ニシテ宮内省又ハ國ノ事業ニ係ルモノニ付テハ宮内大臣又ハ當該事業ヲ施行スル官廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ行政廳ト協議シ又ハ其ノ承認ヲ受クベシ

第八條 本令ニ依リ許可又ハ承認ニ因リテ生ズル權利義務ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ移轉スルコトヲ得

〔京城例一〕

前項ノ規定ニ依リ權利義務ノ移轉アリタル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ其ノ權利義務ヲ承繼シタル者ヲ以テ本令ニ依リ許可又ハ承認ヲ受ケタル者ト看做ス

第九條 本令ニ依ル朝鮮總督ノ職權ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得

第十條 左ニ掲グル法令ノ規定ハ道路ニ關シ之ヲ適用セズ

- 一 朝鮮電氣事業令第八條
- 二 朝鮮砂防事業令第十二條
- 三 朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第十六條
- 四 朝鮮電線電話線建設令ニ於テ依ルコトヲ定メタル電線電話線建設條例第一條、第四條及第五條

第二章 道路ノ種類、等級及路線ノ認定

第十一條 道路ヲ分チテ左ノ四種トス

- 一 國道
- 二 地方道
- 三 府道
- 四 邑面道

第十二條 道路ノ等級ハ前條記載ノ順序ニ依ル

第十三條 國道ノ路線ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル路線ニ就キ朝鮮總督之ヲ認定ス

- 一 京城府ヨリ道廳所在地、師團司令部所在地、旅團司令部所在地、要塞司令部所在地、要港部所在地又ハ開港ニ達スル路線
- 二 道廳所在地、開港又ハ樞要ノ地、飛行場若ハ鐵道停車場相互ヲ關係法規

〔京城例二〕

連結スル路線

三 軍事上重要ナル路線

四 經濟上重要ナル路線

第十四條 地方道ノ路線ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル路線ニシテ道内ノモノニ就キ道知事之ヲ認定ス

- 一 道廳所在地ヨリ府郡廳所在地ニ達スル路線
- 二 府郡廳所在地相互ヲ連結スル路線
- 三 道内ノ飛行場又ハ樞要ノ地、港津若ハ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル飛行場又ハ樞要ノ地、港津若ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 四 地方開發上重要ナル路線

第十五條 府道ノ路線ハ府内ノ路線ニ就キ府尹之ヲ認定ス

第十六條 邑面道ノ路線ハ邑面内ノ路線ニ就キ邑面長之ヲ認定ス

第十七條 道知事、府尹又ハ邑面長ハ道、府又ハ邑面ノ爲テ必要ナル場合ニ於テハ前三條ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道外、府外又ハ邑面外ノ路線ニ就キ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ地方道、府道又ハ邑面道ノ路線ノ認定ヲ爲スコトヲ得

第十八條 上級ノ道路ト下級ノ道路ト路線ガ重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ上級ノ道路トス

同級ノ道路ノ路線ガ重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ朝鮮總督特ニ指定スル場合ヲ除クノ外路線ノ認定ノ先ナルモノノ道路トス

#### 第三章 道路ノ管理

第十九條 道路ハ其ノ路線ノ認定ヲ爲シタル行政廳ヲ以テ管理廳トス  
府内ノ國道及地方道ハ前項ノ規定ニ拘ラズ府尹ヲ以テ管理廳トス府  
外ノ國道及地方道ニシテ第十七條ノ規定ニ依リ府道ノ路線ノ認定ア  
リタルモノト重複スル部分ニ付亦同ジ

第二十條 道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ關係アルモノニ付テハ朝鮮總  
督ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依ル管理廳タル關係行政廳ノ一ヲ  
以テ管理廳ト爲スコトヲ得

第二十一條 朝鮮總督ノ管理スル道路ノ修繕及維持ニ關スル管理廳ノ  
職權ニ對シテ第二十三條、第二十六條乃至第三十一條、第三十八條  
第三十九條、第四十五條、第四十七條乃至第四十九條、第五十一條  
第五十二條、第五十八條及第五十九條ノ規定ニ依ルモノハ道知事之  
ヲ行フ  
前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ管理廳ノ職權ヲ行フ道知事ニ之ヲ準  
用ス

第二十二條 道路ノ區域ハ管理廳ノ認定スル所ニ依ル

第二十三條 道路ニ關スル工事ノ施行及道路ノ維持ハ管理廳ニ於テ之  
ヲ爲スベシ

第二十四條 朝鮮總督必要ト認ムルトキハ道知事、府尹又ハ邑面長ノ  
管理スル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ヲ施行スルコトヲ得此ノ  
場合ニ於テハ管理廳ノ職權ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督之  
ヲ行フ

第二十五條 道知事必要ト認ムルトキハ道内ノ府尹又ハ邑面長ノ管理  
スル道路ニ關スル工事ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管理廳

スルモノナルトキハ工事施行者ハ管理廳ノ許可ヲ受ケ期間ヲ定メテ  
通行料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ通行料徵收期間内管理廳ノ定ムル所ニ依  
リ前項ノ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行  
シ及之ガ維持ヲ爲スベシ

第三十四條 管理廳ハ其ノ管理スル道路ノ臺帳ヲ調製スベシ  
臺帳ニ記載スベキ事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十五條 道路ノ構造並ニ道路ノ修繕及維持ノ方法ニ關スル規定ハ  
朝鮮總督之ヲ定ム

第四章 道路ノ占用及道路附近ニ關スル制限

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ管理廳ノ許可ヲ受  
クベシ

一 道路ノ區域内ニ於テ工作物ヲ新築、改築、變更又ハ除却セント  
スルトキ

二 前號ニ規定スル場合ヲ除クノ外道路ヲ占用セントスルトキ  
管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道路ノ占用ニ付占用料ヲ徵收  
スルコトヲ得

第三十七條 前條ノ規定ニ依ル占用ガ法令ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用  
スルコトヲ得ル事業ニ係ルモノナル場合ニ於テ管理廳正當ノ事由ナ  
クシテ其ノ許可若ハ承認ヲ拒ミ又ハ不相當ナル占用料ヲ定メタルト  
キハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督又ハ道知事ハ事業者ノ申請  
ニ依リ占用ヲ許可若ハ承認シ又ハ占用料ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條 道路ニ關スル調査、測量又ハ工事ノ爲必要アルトキハ管  
關係法規

ノ職權ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道知事之ヲ行フ

第二十六條 道路ニシテ他ノ工作物ノ效用ヲ兼ヌルモノアルトキハ管  
理廳ハ他ノ工作物ノ管理者ヲシテ道路ニ關スル工事ヲ施行セシメ又  
ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 道路ノ效用ヲ兼ヌル他ノ工作物アルトキハ管理廳ハ他ノ  
工作物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ他ノ工作物ノ維持ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依ル他ノ工作物ニ關スル工事又ハ他ノ工作物ノ維持ハ  
本令ノ適用ニ付テハ之ヲ道路ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ト看做ス

第二十八條 道路ニ關スル工事ニシテ他ノ工事又ハ行爲ノ爲必要ヲ生  
ジタルモノハ管理廳ニ於テ他ノ工事ノ施行者又ハ行爲者ヲシテ之ヲ  
施行セシムルコトヲ得

第二十九條 道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生ジタル他ノ工事ハ管理廳  
ニ於テ道路ニ關スル工事ト共ニ之ヲ施行スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依ル他ノ工事ハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ道路ニ關スル  
工事ト看做ス

第三十條 管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道路ニ付直接ニ利害關  
係ヲ有スル公共團體又ハ私人ヲシテ道路ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行  
セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十一條 管理廳ニ非ザル者ハ管理廳ノ許可ヲ受ケ道路ニ關スル工  
事ヲ施行シ又ハ道路ノ維持ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 管理廳ハ特別ノ事由アル場合ニ限り地下道、橋梁、渡船  
場又ハ索道ニ付通行料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十三條 第三十一條ノ工事ガ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ニ關  
【京城例一】

【京城例一】

管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ必要ナル場所ニ立入り、他人ノ土  
地ヲ材料置場、通路若ハ假道トシテ一時使用シ又ハ已ムコトヲ得ザ  
ルトキハ立木竹其ノ他ノ障礙物ヲ變更若ハ除却スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ立入又ハ使用ヲ爲サントスルトキハ土地ノ占有者  
ニ、障礙物ノ變更又ハ除却ヲ爲サントスルトキハ其ノ所有者及占有  
者ニ豫メ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第三十九條 非常災害ノ爲必要アルトキハ管理廳ハ道路附近ニ居住ス  
ル者ヲ使役シ、道路附近ノ土地及家屋其ノ他ノ工作物ヲ一時使用シ  
道路附近ノ工作物其ノ他ノ障礙物ヲ變更若ハ除却シ又ハ土石、竹木  
運搬具其ノ他ノ物件（工作物ヲ除ク）ヲ使用若ハ收用スルコトヲ  
得

第四十條 道路附近ノ土地、工作物又ハ竹木ノ所有者又ハ占有者ハ其  
ノ土地、工作物又ハ竹木ノ道路ニ及ボスベキ損害ヲ豫防スル爲必要  
ナル施設ヲ爲スベシ

第四十一條 本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交  
通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル  
工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交  
通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第五章 道路ニ關スル費用及道路ヨリ生ズル收入

第四十二條 道路ニ關スル費用及道路ヨリ生ズル收益ノ範圍ハ朝鮮總  
督之ヲ定ム

第四十三條 道路ニ關スル費用ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ  
外朝鮮總督ノ管理スル道路ニ關スルモノニ在リテハ國庫、其ノ他ノ

道路ニ關スルモノニ在リテハ管理廳タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トス但シ朝鮮總督ノ管理スル道路ノ修繕及維持ニ關スルモノハ道ノ負擔トス

第四十四條 朝鮮總督ノ管理スル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ要スル費用ノ一部ハ朝鮮總督ニ於テ其ノ定ムル所ニ依リ道ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十五條 道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ關係アルモノニ關スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ關係アル道、府又ハ邑面ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十六條 朝鮮總督ガ第二十四條ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ國庫、道知事ガ第二十五條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ道ノ負擔トス

第四十七條 管理廳ガ他ノ工作物ノ效用ヲ兼ヌル道路ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ道路ノ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ他ノ工作物ニ付費用ヲ負擔スルモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十八條 特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルベキ事業又ハ行爲ヲ爲ス者アルトキハ管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業者又ハ行爲者ヲシテ之ガ爲ニ要スル道路ノ修繕又ハ維持ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十九條 管理廳ニ非ザル者ガ第二十六條又ハ第二十八條ノ規定ニ依リ義務ヲ履行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ其ノ義務ヲ履行スル者ノ負擔トス但シ第二十六條、第二十八條又ハ第四十條ノ規定ニ依リ義務ヲ履行スル者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第五十條 管理廳ニ非ザル者ガ第二十六條又ハ第二十八條ノ規定ニ依リ義務ヲ履行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ第四十三條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第五十一條 管理廳ニ非ザル者ガ第二十六條又ハ第二十八條ノ規定ニ依リ義務ヲ履行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ第四十三條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第五十二條 公共團體又ハ私人ガ第三十條ノ規定ニ依リ事務ヲ履行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ第四十三條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第五十三條 第三十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行シ若ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依リ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ當該工事又ハ行爲ヲ爲ス者ノ負擔トス但シ工事又ハ行爲ヲ爲ス者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第五十四條 第三十八條、第三十九條又ハ第五十八條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ補償スベシ

第五十五條 道路ニ關スル費用ノ負擔金ハ朝鮮總督ニ於テ負擔ヲ爲サシムル場合ニ在リテハ國庫、其ノ他ノ行政廳ニ於テ負擔ヲナサシムル場合ニ在リテハ當該行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス第四十

七條ノ規定ニ依ル他ノ工作物又ハ他ノ工事ニ關スル費用ノ負擔金ニ付亦同ジ

第五十一條 第一項及第五十二條ノ規定ニ依ル負擔金ハ前項ノ規定ニ拘ラズ第五十條ノ規定ニ依リ負擔者ノ收入トス

第五十二條 第二項ノ規定ニ依リ負擔金ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ當該工事又ハ行爲ニ付費用ヲ負擔スル者ノ收入トス

第五十三條 道路ノ占用料及道路ヨリ生ズル收益ハ朝鮮總督ノ管理スル道路ニ關スルモノニ在リテハ道、其ノ他ノ道路ニ關スルモノニ在リテハ管理廳タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス

第五十四條 第三十二條ノ規定ニ依リ徵收スル通行料ハ朝鮮總督ノ管理スル道路ニ關スルモノニ在リテハ國庫、其ノ他ノ道路ニ關スルモノニ在リテハ管理廳タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス

第五十五條 第三十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ徵收スル通行料ハ其ノ許可ヲ受ケタル者ノ收入トス

第六章 監督及罰則

第五十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ管理廳ハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可又ハ承認ヲ受ケタル者ニ對シ許可若ハ承認ヲ取消シ、其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ、許可若ハ承認ニ基キテ施設シタル工作物其ノ他ノ物件ヲ變更若ハ除却セシメ、原狀回復ヲ爲サシメ又ハ損害ヲ豫防スル爲メ必要ナル施設ヲ爲サシムルコトヲ得

一 道路ノ狀況ノ變更ニ因リ必要ヲ生ジタルトキ

二 道路ニ關スル工事ノ爲メ必要アルトキ

〔京城例一〕

三 公害ヲ除却又ハ輕減スル爲必要アルトキ  
 四 前二號ノ場合ヲ除クノ外公共ノ利益ト爲ルベキ事業ノ爲必要アルトキ

**第五十九條** 前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ準用ス  
 一 本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ違反シタル者  
 二 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可ヲ受クベキ施設又ハ行爲ヲ許可ヲ受ケズシテ爲シタル者  
 三 不正ノ手段ヲ以テ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者

**第六十條** 本令ニ依ル行政廳ノ職權ノ行使ニ關シ監督上必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

**第六十一條** 行政執行令第五條及第六條ノ規定並ニ之ニ基キテ發スル命令ハ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フベキ作爲又ハ不作爲ヲ行政廳ガ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

**第六十二條** 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニヨリ道知事、府尹又ハ邑面長ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得第五十四條ノ規定ニ依ル補償ニ付不服アル者亦同ジ

**第六十三條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
 一 許可ヲ受ケズシテ道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シタル者

ル者  
 二 不正ノ手段ヲ以テ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者

**第六十四條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
 一 許可ヲ受ケズシテ道路ノ區域内ニ於テ工作物ヲ新築、改築、變更又ハ除却シタル者  
 二 許可ヲ受ケズシテ道路又ハ其ノ附屬物ヲ占用シタル者  
 三 許可ヲ受ケズシテ道路ノ使用ニ對シ通行料其ノ他ノ財物ノ交付ヲ請求シ又ハ之ヲ收受シタル者  
 四 第三十九條ノ規定ニ依ル管理廳ノ命ニ從ハザル者  
 五 第四十條ノ規定ニ違反シテ道路又ハ其ノ附屬物ニ及ボスベキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サザル者  
 六 第四十一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

**第六十五條** 本令ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ第一條第一項ノ道路以外ノ道路ニ其ノ一部ヲ準用スルコトヲ得  
 前項ノ外第一條第一項ノ道路以外ノ道路ニ關シ必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

**附則**  
 本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム  
 本令施行ノ際必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

〔京城例一〕

**第二條** 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス  
 一 國防其ノ他軍事ニ關スル事業  
 二 神社、神祠又ハ官公署ノ建設ニ關スル事業  
 三 社會事業又ハ教育若ハ學藝ニ關スル事業  
 四 鐵道、軌道、索道、專用自動車道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、市場、電氣、瓦斯又ハ火葬場ニ關スル事業  
 五 衛生、測候、航路標識、防風、防火、水害豫防其ノ他公用ノ目的ヲ以テ國又ハ公共團體ニ於テ施設スル事業  
 六 一ノ場所ニ於テ一年三萬五千圓以上ノ製銑能力及一年三萬五千圓以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ以テ營ム製鐵事業  
 前項第六號ノ製鐵事業ノ範圍ハ朝鮮總督之ヲ定ム

**第三條** 前條ノ規定スル事業ノ用ニ供スベキ土地ニ定著スル物件ハ本令ニ準ジ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得  
 土地ニ屬スル土石砂礫ハ本令ニ準ジ之ヲ收用スルコトヲ得

**第三條ノ二** 水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地又ハ前條ニ規定スル物件ニ關スル所有權以外ノ權利ハ本令ニ準ジ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

**第四條** 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ朝鮮總督之ヲ認定ス  
 朝鮮總督前項ノ認定ヲ爲シタルトキハ起業者、事業ノ種類及收用又ハ使用スベキ土地ノ細目ヲ公告ス

●土地收用令

明治四十四年四月十七日  
 制令第三號

改正 大正七年一月制令二號 一五年七月一一號 昭和八年九月二一號

**第一條** 公共ノ利益ト爲ルベキ事業ノ爲必要アルトキハ本令ニ依リ其ノ事業ニ要スル土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

關係法規

- 第五條 起業者前條ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ地方長官ヲ經由シ朝鮮總督ニ申請スヘシ但シ宮内省又ハ國ノ起業ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務官廳ヨリ朝鮮總督ニ協議スヘシ
- 第六條 天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルノ必要アルトキハ府尹又ハ郡守ハ其ノ事業ノ認定ヲ爲スコトヲ得
- 前項ノ使用期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第七條 土地ノ收用又ハ使用ニ關シ關係人ノ受クヘキ損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ
- 第八條 第四條ノ公告アリタルトキハ起業者ハ其ノ土地ニ關シ收用又ハ使用ノ權利ヲ取得スル爲關係人ニ協議ヲ爲スヘシ
- 第九條 前條ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ地方長官ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ同時ニ關係人ニ之ヲ通知スヘシ
- 第十條 第六條ノ使用ニ依リ生スル損失又ハ第二十一條ノ損失ノ補償ニ付協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ス
- 第十一條 地方長官裁決又ハ決定ヲ爲スニ付必要アリト認ムルトキハ鑑定人、事實參考人、起業者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見又ハ供述ヲ聽クコトヲ得
- 第十二條 起業者又ハ關係人地方長官ノ裁決又ハ決定ニ不服アルトキハ裁決書又ハ決定書ノ謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ朝鮮總督ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

〔京城例一〕

- サレ事由アルトキハ之ヲ供託スヘシ
- 關係人ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ土地ヲ起業者ニ引渡シ及物件ヲ移轉又ハ引渡スヘシ
- 第二十條 起業者前條ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ朝鮮總督ノ認定、裁定及地方長官ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ關係人ハ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス
- 第二十一條 第四條ノ公告アリタル後起業者カ事業ヲ廢止變更シタルニ依リテ關係人ノ受ケタル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ
- 第二十二條 起業者過失ナクシテ關係人ヲ確知スルコト能ハサルトキ又ハ關係人其ノ義務ヲ履行スルコト能ハサルトキハ而長ハ關係人ニ代ハリテ之ヲ處理スヘシ
- 第二十三條 義務者本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ一定ノ期間内ニ終了スル見込ナキトキハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ハ義務者ノ負擔ト爲スコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ義務ノ履行ヲ強制スルコトヲ得
- 第二十四條 第十七條及前條ノ費用ヲ納付セサル者アルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得
- 第二十五條 第十一條ノ呼出ヲ受ケタル鑑定人又ハ事實參考人故ナク之ニ應セサルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 第二十六條 鑑定人虛偽ノ鑑定ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第二十七條 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル起業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

關係法規

- 前項ノ裁定ヲ求メタル場合ト雖土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セス
- 第十三條 第四條ノ公告アリタル後起業者カ二年内ニ土地物件ニ關スル權利ヲ取得セサルトキハ事業ノ認定ハ其ノ效力ヲ失フ但ノ地方長官ノ裁決ヲ求メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十四條 土地ノ使用カ五年以上ニ互ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ關係人ハ其ノ土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得
- 第十五條 收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムルコトヲ得
- 前項ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ物件ノ收用ヲ請求スルコトヲ得
- 第十六條 第四條ノ公告アリタル後地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ土地ノ形質ヲ變更シ、工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得
- 第十七條 地方長官ノ裁決又ハ決定ヲ爲スニ付要スル鑑定人及事實參考人ノ旅費手當其ノ他審査ニ關スル費用ハ起業者ノ負擔トス
- 第十八條 土地物件ヲ收用シタルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其ノ土地物件ニ關スル他ノ權利ハ消滅ス
- 土地ヲ使用シタルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ起業者之ヲ取得シ其ノ土地ニ存スル他ノ權利ノ行使ハ使用ノ期間之ヲ停止ス但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 第十九條 第六條ノ規定ニ依ル使用ノ場合ヲ際クノ外起業者ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ關係人ニ拂渡スヘシ但シ拂渡スコト能ハ

- 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ起業者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス
- 第二十八條 本令ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス
- 本令ニ於テ關係人ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地物件ノ所有者及其ノ土地物件ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ
- 第四條ノ公告アリタル後其ノ土地物件ニ關シテ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十九條 本令ニ規定スルモノノ外土地ノ收用又ハ使用ニ關シ左ニ掲クル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム
  - 一 事業準備ノ爲他人ノ土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル場合ニ關スル事項
  - 二 二以上ノ行政區劃ニ涉ル事業ニ付地方官ノ認定、裁決又ハ決定ヲ爲ス場合ニ關スル事項
- 附則 本令施行ノ地域及期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム
- 附則 (昭和八年九月制令第二十一號) 本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム但シ本令中專用自動車道ニ關スル規定ハ朝鮮自動車交通事業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- (昭和八年十月制令第十四號) 以テ昭和八年十月十五日ヨリ施行

### 朝鮮市街地計畫令

昭和九年六月二十日 制令第十八號

#### 第一章 總則

- 第一條 本令ニ於テ市街地計畫ト稱スルハ市街地ノ創設又ハ改良ノ爲

ニ必要ナル交通、衛生、保安、經濟等ニ關スル重要施設ノ計畫ニシテ市街地計畫區域ニ付施行スベキモノヲ謂フ

第二條 市街地計畫區域及市街地計畫ハ其ノ區域ニ關係アル府會、邑會又ハ面協議會ノ意見ヲ開キ朝鮮總督之ヲ決定ス

朝鮮總督前項ノ決定ヲ爲シタルトキハ市街地計畫區域及市街地計畫ノ要領ヲ告示ス

第三條 市街地計畫事業ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ行政廳之ヲ執行ス

朝鮮總督特別ノ必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ行政廳ニ非ザル者ヲシテ其ノ出願ニ依リ市街地計畫事業ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

市街地計畫事業執行者ハ事業著手前其ノ實施計畫ニ付朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ但シ事業執行者行政官廳ナルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

朝鮮總督前二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示ス

第四條 市街地計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政廳ニ非ザル者之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス

第五條 前條ノ規定ニ依リ市街地計畫事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔スル國又ハ公共團體ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ市街地計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ同條ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第六條 道路、廣場、河川、港灣、公園其ノ他朝鮮總督ノ定ムル施設ニ關スル市街地計畫事業ニ必要ナル土地、其ノ土地ニ定著スル物件

石ノ類ヲ採取セントスル者ハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

道知事ハ前項ノ規定ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 第六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地ノ管理及處分ニ關シ必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十二條 朝鮮總督必要ト認ムルトキハ市街地計畫事業ニ依リ生ジタル營造物ノ管理者ヲ指定スルコトヲ得

第十三條 市街地計畫ニ關スル調査ノ爲必要アルトキハ當該官吏又ハ吏員ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ他人ノ土地ニ立入りテ測量若ハ調査ヲ爲シ又ハ已ムヲ得ザルトキハ其ノ土地ニ存スル障害物ヲ變更若ハ除却スルコトヲ得市街地計畫事業執行者ニ於テ事業ノ爲必要アルトキ亦同ジ

前項ノ規定ニ依ル行爲ニ依リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ國又ハ事業執行者ニ於テ其ノ損害ヲ補償スベシ

前項ノ規定ニ依リ補償スベキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ道知事之ヲ決定ス

前項ノ決定ニ不服アル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

第十四條 行政官廳又ハ事業執行者ハ住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ書類ノ送付ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ二十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ到達アリタルモノト看做ス

第二章 地域及地區ノ指定並ニ建築物等ノ制限

關係法規

ニシテ事業ノ爲必要ナルモノ及其ノ土地物件ニ關スル所有權以外ノ權利ハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項土地附近ノ土地ニシテ市街地計畫事業トシテノ建築敷地造成ニ必要ナルモノ及其ノ土地ニ關スル所有權以外ノ權利ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ收用又ハ使用スルコトヲ得

第七條 前條ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外土地收用令ニ適用ス

前項ノ規定ニ依リ土地收用令ヲ適用スル場合ニ於テハ第二條第一項ノ市街地計畫ノ決定ヲ以テ土地收用令第四條第一項ノ事業ノ認定、第八條第一項ノ規定ニ依リ告示ヲ以テ土地收用令第四條第二項ノ公告ト看做ス

第八條 第六條ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ヲ爲サントスルトキハ事業執行者ハ第三條第四項ノ規定ニ依リ告示アリタル後朝鮮總督ニ收用又ハ使用スベキ土地物件又ハ權利ノ細目ヲ告示ヲ申請スベシ

前項ノ規定ニ依リ告示アリタル後事業執行者二年以内ニ土地物件又ハ之ニ關スル權利ヲ取得セザルトキハ同項ノ規定ニ依リ告示ハ其ノ效力ヲ失フ但シ事業執行者ガ土地收用令第九條ノ規定ニ依リ道知事ノ裁決ヲ求メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 市街地計畫事業執行者土地收用令第十九條第一項ノ規定ニ依リ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲サザルトキハ朝鮮總督ノ裁定及道知事ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ關係人ガ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第十條 第三條第四項ノ規定ニ依リ告示アリタル後第六條第一項ノ土地ノ境域内ニ於テ土地ノ形質ヲ變更シ、工作物ノ新築改築増築大修繕若ハ除却ヲ爲シ、物件ヲ附加増置シ又ハ道知事ノ指定スル竹木土

第十五條 朝鮮總督ハ市街地計畫區域内ニ於テ住居地域、商業地域又ハ工業地域ヲ指定スルコトヲ得

第十六條 建築物ニシテ住居ノ安寧ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ズ

第十七條 建築物ニシテ商業ノ利便ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ商業地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ズ

第十八條 工場、倉庫其ノ他之ニ準ズベキ建築物ニシテ規模大ナルモノ又ハ衛生上有害若ハ保安上危險ノ虞アル用途ニ供スルモノハ工業地域内ニ非ザレバ之ヲ建築スルコトヲ得ズ

朝鮮總督必要ト認ムルトキハ前項ノ建築物ニシテ著シク衛生上有害又ハ保安上危險ノ虞アル用途ニ供スルモノニ付テハ前項ノ地域内ニ於テ其ノ建築ニ付特別地區ヲ指定スルコトヲ得

第十九條 前三條ニ規定スル建築物ノ種類ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十條 前四條ノ規定ノ適用ニ付テハ新ニ建築物ノ用途ヲ定メ又ハ建築物ヲ他ノ用途ニ供スルモノハ其ノ用途ニ供スル建築物ヲ建築スモノト看做ス

第二十一條 朝鮮總督ハ市街地計畫區域内ニ於テ風致地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル土地ノ形質ノ變更、工作物ノ新築改築増築大修繕若ハ除却、物件ノ附加増置、竹木土石ノ類ノ採取其ノ他風致維持ニ影響ヲ及ボス虞アル行爲ノ禁止又ハ制限ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第二十二條 朝鮮總督ハ市街地計畫區域内ニ於テ美觀地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ美觀上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第二十三條 朝鮮總督ハ市街地計畫區域内ニ於テ防火地區ヲ指定シ其

關係法規

五九一

ノ地區内ノ防火設備又ハ建築物ノ防火構造ニ關シ火災豫防上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

前項ノ地區内ニ於テハ建築ノ部分ヲ爲ス防火壁ハ土地ノ疆界線ニ接シテ之ヲ設クルコトヲ得

**第二十四條** 朝鮮總督ハ市街地計畫區域内ニ於テ風紀地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル建築物又ハ營業ニ關シ風紀上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

**第二十五條** 第十五條、第十八條第二項又ハ第二十一條乃至前條ノ規定ニ依ル地域又ハ地區ノ指定、變更又ハ廢止ハ市街地計畫ノ施設トシテ之ヲ爲スベシ

**第二十六條** 市街地計畫區域内ニ於ケル建築物ハ其ノ敷地ガ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道路敷地ニ接スルニ非ザレバ之ヲ建築スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

**第二十七條** 建築線ハ市街地計畫區域内ニ於ケル道路幅ノ境界線トス但シ特別ノ事由アルトキハ行政官廳ハ市街地計畫區域内ニ於テ別ニ建築線ヲ指定スルコトヲ得

**第二十八條** 市街地計畫區域内ニ於ケル建築物ハ建築線ヨリ突出シテ之ヲ建築スルコトヲ得ズ但シ建築物ノ地盤面下ニ在ル部分ハ此ノ限ニ在ラズ

**第二十九條** 行政官廳ハ市街地計畫區域内ニ於テ市街ノ計畫上必要ト認ムルトキハ建築線ニ面シテ建築スル建築物ノ壁面ノ位置ヲ指定スルコトヲ得

**第三十條** 朝鮮總督ハ市街地計畫區域内ニ於ケル建築物ノ高さ、構造、設備若ハ敷地又ハ其ノ敷地内ニ存セシムベキ空地ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

定ヲ設クルコトヲ得

**第三十一條** 朝鮮總督ノ市街地計畫區域内ニ於ケル學校、集會場、劇場、旅館、工場、倉庫、病院、市場、屠場、火葬場其ノ他其ノ指定スル特殊建築物ノ位置、構造、設備又ハ敷地ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

**第三十二條** 朝鮮總督ハ市街地計畫區域内ニ於ケル建築物ノ工事執行ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

**第三十三條** 市街地計畫區域内ニ於ケル建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ行政官廳ハ其ノ建築物ノ除却、改築、修繕、使用禁止、使用停止其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

一 保安上危險ト認ムルトキ  
二 衛生上有害ト認ムルトキ  
三 本章ノ規定又ハ本章ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ建築物ヲ建築シタルトキ

**第三十四條** 市街地計畫區域ノ決定若ハ變更、地域若ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合ニ於テ從來存在スル建築物ガ其ノ後新ニ建築セラレタリトセバ本章ノ規定又ハ本章ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反スベキモノナルトキハ行政官廳ハ相當ノ期間ヲ指定シ其ノ建築物ニ付前條ニ掲グル必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ措置ヲ命ズルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府邑面ヲシテ損失ヲ補償セシム

**第三十五條** 建築主、建築工事請負人、建築工事管理者又ハ建築物ノ所有者若ハ占有者本章ノ規定若ハ本章ノ規定ニ基キテ發スル命令又

〔京城例〕

ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ二千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

**第三十六條**

前條ノ規定ハ同條ニ掲グル者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者其ノ營業ニ關シ前條ノ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

**第三十七條**

前條ニ掲グル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

**第三十八條**

本章ノ規定ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ建築工事中ノ建築物、建築工事ニ著手セザルモ設計アル建築物又ハ建築物ニ非ザル工作物ニ之ヲ準用スルコトヲ得

**第三十九條**

本章ノ規定ノ全部又ハ一部ノ適用ヲ必要トセザル建築物ハ朝鮮總督之ヲ定ム

**第四十條**

朝鮮總督必要ト認ムルトキハ市街地計畫區域内ニ於テ區域ヲ指定シ本章ノ規定ノ一部ヲ適用セザルコトヲ得

**第四十一條**

本章ノ規定ノ一部ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ市街地計畫

關係法規

〔京城例三〕

畫區域ニ非ザル地域ニ之ヲ準用スルコトヲ得

**第三章 土地區劃整理**

**第四十二條**

本章ニ於テ土地區劃整理ト稱スルハ土地ノ袋トシテノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ本章ノ規定ニ依リ土地ノ交換、分合、地目變換其ノ他ノ區劃形質ノ變更又ハ道路、廣場、河川、公園等ノ設置、變更若ハ廢止ヲ行フコトヲ謂フ

**第四十三條**

市街地計畫區域内ノ土地ニ付テハ土地區劃整理ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ土地區劃整理ニ關シテハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外朝鮮土地改良令ヲ準用ス

**第四十四條**

市街地計畫トシテ決定シタル土地區劃整理ニ付テハ其ノ施行區域内ノ土地ノ所有者ハ朝鮮總督ノ指定スル期限内ニ其ノ施行ノ認可ヲ申請スベシ

**第四十五條**

前條第一項ノ規定ニ依リ土地區劃整理施行ノ認可ヲ受ケタル者豫定ノ期間内ニ土地區劃整理ヲ完了スルコト能ハズト認ムルトキ又ハ其ノ行為ガ事業計畫、規約若ハ法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ認可ヲ取消シ又ハ事業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ取消シタル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ行政廳ヲシテ土地區劃整理ヲ施行セシムルコトヲ得



第四十六條

天災事變其ノ他特ニ急施ヲ要スル場合ニ於テ第四十四條第一項ノ規定ニ依ル土地ノ所有者ノ認可申請ヲ俟ツ暇ナシト認ムルトキハ朝鮮總督ハ行政廳ヲシテ土地區劃整理ヲ施行セシムルコトヲ得

第四十七條

行政廳ハ其ノ施行スル土地區劃整理ノ爲必要アルトキハ換地指定地ヲ指定シテ整理施行地區内ニ於ケル建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命ジ又ハ其ノ占有者ニ對シ立退ヲ命ズルコトヲ得

第十三條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

行政執行令第五條及第六條ノ規定並之ニ基キテ發スル命令ハ行政廳ガ第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條

第四條ノ規定ニ依リ行政廳ノ施行スル土地區劃整理ニ要スル費用ヲ負擔スル公共團體ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ整理施行地區内ノ土地ノ所有者又ハ關係人ヲシテ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十九條

本章ニ規定スルモノノ外行政廳ノ施行スル土地區劃整理ニ付朝鮮土地改良令ヲ準用シ難キ事項ニ關シ必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五十條

本章ニ規定スル土地ノ所有者及關係人ノ意義ニ關シテハ朝鮮土地改良令ノ定ムル所ニ依ル

附則

本令施行ノ期日ハ各規定ニ付朝鮮總督之ヲ定ム

(第一條乃至第十四條及第四十二條乃至第五十條ノ規定ハ昭和九年七月總令第七十七號ヲ以テ同年八月一日ヨリ、第十五條乃至第四十一條ノ規定ハ昭和十年九月二十日ヨリ施行)

防空法(萃拔)

昭和十二年四月二日  
法律第四十七號

第三條 主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ規模大ナル事業又ハ施設ニシテ防空上特ニ必要アルモノニ付行政廳ニ非ザル者ヲ指定シテ防空計畫ヲ設定セシムルコトヲ得

前項ノ防空計畫ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ特殊技能ヲ有スル者ヲシテ防毒、救護其ノ他防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得

第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ其ノ從業者ヲシテ防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得

第九條 防空ノ實施ニ際シ緊急ノ必要アルトキハ地方長官又ハ市町村長ハ他人ノ土地若ハ家屋ヲ一時使用シ、物件ヲ收用若ハ使用シ又ハ防空ノ實施區域内ニ在ル者ヲシテ防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得

行政執行法第五條及第六條ノ規定並之ニ基キテ發スル命令ハ前項ノ規定ニ基キテ爲ス處分ニ依リテ負擔義務ノ履行ヲ市町村長ガ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 第六條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ防空ノ實施ニ從事スル者之ガ爲傷損ヲ受ケ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テハ地方長官、市町村長又ハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本人又ハ其ノ葬祭ヲ行フ者ニ對シ療養又ハ葬祭ニ要スル費用ヲ給スベシ

〔京城例三〕

防空法朝鮮施行令(拔萃)

昭和十二年十一月十七日  
勅令第六百六十一號

ムベシ

〔京城例三〕

第一條 防空法ハ第十三條第二項、第十四條第二項及第二十條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ朝鮮ニ施行ス

第二條 防空法中第十六條及第二十二條ノ規定ヲ除クノ外勅令トアルハ朝鮮總督府令トシ同法第九條中行政執行法トアルハ行政執行令トス

同法中主務大臣トアルハ朝鮮總督トス但シ同法第十一條中主務大臣トアルハ朝鮮總督、朝鮮軍司令官、鎮海要港部司令官トス

同法中地方長官ノ指定スル市町村長トアルハ地方長官ノ指定スル行政廳トシ北海道又ハ府縣又ハ北海道、府縣トアルハ道トシ市町村トアルハ地方長官ノ指定スル行政廳ノ統轄スル公共團體トシ防空委員會トアルハ朝鮮防空委員會トス

防空法施行規則(拔萃)

昭和十二年十一月十八日  
朝鮮總督府令第八十一號

第十條 防空法第十二條ノ規定ニ依ル療養又ハ葬祭ニ要スル費用ハ防空ノ實施ニ從事セシメタル者ニ於テ之ヲ給スベシ

前項ノ費用ノ支給ニ關シ必要ナル事項ハ道知事又ハ防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ニ在リテハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ、道知事ノ指定スル行政廳ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ定

關係法規

### ●警防團規則

昭和十四年七月三日  
朝鮮總督府令第四百四號

- 第一條 警防團ハ防空、水火消防其ノ他ノ警防ニ従事ス
- 第二條 道知事ハ職權又ハ府邑面ノ申請ニ依リ警防團ヲ設置スルモノトス
- 第三條 前條ノ警防團ニ非ラザレバ警防團ノ名稱ヲ用フルコトヲ得ズ
- 第四條 警防團ノ區域ハ府邑面ノ區域ニ依ル但シ土地ノ狀況ニ依リ府邑面内ニ於テ適宜區域ヲ定ムルコトヲ得
- 第五條 警防團ハ團長、副團長、分團長、部長、班長及警防員ヲ以テ之ヲ組織ス但シ分團長、部長又ハ班長ハ之ヲ置カザルコトヲ得
- 第六條 團長、副團長及分團長ハ道知事、其ノ他ノ團員ハ警察署長之ヲ命免ス
- 第七條 團長ハ團員ヲ統率シ團務ヲ掌理ス  
副團長ハ團長ヲ輔佐シ團長事故アルトキハ之ヲ代理ス  
分團長、部長及班長ハ上長ノ命ヲ承ケ團員ヲ指揮シテ業務ニ従事ス
- 第八條 警防團ハ道知事之ヲ監督ス  
警察署長ハ道知事ノ命ヲ承ケ警防團ヲ指揮監督ス
- 第九條 警防團ハ警察部長又ハ警察署長ノ指揮ニ從ヒ行動スベシ但シ緊急已ムヲ得ザル場合ニ於テハ府尹、邑面長又ハ團長ノ指揮ニ依リ行動スルヲ妨ゲズ

〔京城例三〕

- 部長ハ上職ノ命ヲ承ケ水害警防ノ事務ヲ分擔ス副團長ヲ置カザル水防團ノ團長事故アルトキハ其ノ指定シタル部長之ヲ代理ス  
班長ハ上職ノ命ヲ承ケ水防手ヲ指揮ス
- 第五條 水防團ハ道知事ノ定ムル所ニ依リ左ノ設備ヲ爲スベシ
  - 一 水害警防器具材料藏置場
  - 二 水害警防器具材料
  - 三 水害警防事務用品
  - 四 量水標
- 第六條 團長ハ洪水ノ危険切迫シ警察署長ノ指揮ヲ承クルノ暇ナシト認ムルトキハ直ニ水害警防ノ爲應急ノ措置ヲ爲シ遲滯ナク之ヲ河川管理廳及警察署長ニ報告スベシ
- 第七條 水害ノ場合ニ於テハ河川管理廳ハ河川及其ノ附屬物ノ維持修繕ニ關スル作業ニ付水防團ヲ指揮スルコトヲ得
- 第八條 水防團ハ毎年一回以上水害警防ノ演習ヲ爲スベシ
- 第九條 警察署長必要アリト認ムルトキハ水防團ニ對シ水害以外ノ災害ノ警防等ノ爲出動ヲ命ズルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ水防團ガ其ノ地域外ニ出動シタル場合ニ於テハ其ノ災害地ヲ管轄スル警察署長ノ指揮ニ從フベシ
- 第十條 水防團ハ水害ノ警防若ハ前二條ノ規定ニ依ル場合又ハ儀式等ノ爲警察署長ニ於テ之ヲ命ジタル場合ニ非ザレバ集合又ハ運動ヲ爲スコトヲ得ズ但シ警察署長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十一條 水防團ニ關スル費用ハ府邑面ノ負擔トス

關係法規

### ●水防團規則施行細則

昭和十年七月  
京畿道令第十四號

- 第一章 設置及組織
  - 第一條 府尹又ハ邑面長水防團設置ノ必要アリト認ムルトキハ其ノ事由、名稱、地域、團員ノ定員及給與、水害警防器具材料藏置場、主要ナル水害警防器具材料ノ種類及數量、費用支辨ノ方法其ノ他必要ナル事項ヲ具シ道知事ニ申請スベシ  
前項ニ掲グル事項ヲ變更スルノ必要アリト認ムルトキ亦同ジ
  - 第二條 水防團ノ地域ハ府邑面ノ區域ニ依ル但シ土地ノ狀況其ノ他特別ノ事情ニ依リ府邑面内ノ一部ヲ限リ又ハ二以上ノ府邑面ノ區域ノ全部若ハ一部ニ互リテ之ヲ定ムルコトアルベシ
  - 第三條 水防團ノ名稱ニハ地名ヲ冠シ水防團ノ地域ヲ數區ニ分チタル
- 〔京城例〕  
水防團ノ地域ガ二以上ノ府邑面ノ區域ニ互ル場合ノ費用ノ負擔方法ハ道知事之ヲ定ム
- 第十二條 水防團ノ地域ニシテ二以上ノ警察署ノ管轄區域ニ互ルトキハ本令ニ依リ職權ヲ行フベキ警察署長ハ道知事之ヲ指定ス
  - 第十三條 本令ニ規定スルモノノ外水防團員ノ定員、徽章、服裝給與、服務規律、表彰及懲戒並ニ水害警防ノ方法及演習其ノ他水防團ニ關シ必要ナル事項ハ道知事之ヲ定ム
- 附則  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五九五

トキハ之ニ區名ヲ附ス

第四條 部長、班長及水防手ノ定員ハ左ノ標準ニ依ル

部長 各係ニ一人

班長 水防手十人ニ付一人但シ六人以上ノ端數アルトキハ一人ヲ増スコトアルベシ

水防手 四十人以上但シ各區ニ在リテハ二十人以上トス

水防團ノ地域ヲ數區ニ分チタルトキハ各區毎ニ副團長ヲ置クコトヲ得

第五條 水防團ニ左ノ係ヲ置ク水防團ノ地區ヲ數區ニ分チタルトキハ其ノ區ニ付亦同ジ

一 作業係

水害警防ノ作業ニ當ルモノ

二 供給係

水害警防器具材料及人夫ノ供給並ニ會計事務ニ當ルモノ

三 通信係

水位ノ報告其ノ他ノ通信ニ當ルモノ

四 救護係

人命ノ救護ニ當ルモノ

水害以外ノ災害ノ警防等ノ爲出動シタル場合ニ於ケル事務ノ分擔ハ警察署長ニ於テ適宜之ヲ定ム

第六條 團員ハ其ノ水防團ノ地域内ニ居住スル滿十八歳以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當セザル者ヨリ之ヲ任命ス

一 禁治産者及準禁治産者

二 懲戒處分ニ依リ團員ヲ免ゼラレ又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ若ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ一年以上ヲ經過セザル者

三 其ノ他團體員トシテ不適當ト認ムル者

第七條 團員其ノ職ヲ辭セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ團長、副團長及部長ニ在リテハ道知事ニ班長及水防手ニ在リテハ警察署長ニ願出ヅベシ

第八條 團員左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

一 當該水防團ノ地域外ニ轉住シタルトキ

二 禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第二章 設備

第九條 水害警防器具材料藏置場ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外河岸ノ延長約二千米毎ニ之ヲ設置スベシ

第十條 水害警防器具材料トシテ藏置スベキモノハ鎗木、掛矢、鋏、シヨベル、鋸、鎌、手斧、小車、小舟、擔具、雨具、旗、鐘、提燈、篝火器具及材料、蠟燭、吹、繩、枕木、竹、鐵線、粗朶等トス

道知事ハ水防團ニ於テ藏置スベキ水害警防器具材料ノ種類及數量ヲ指定スルコトアルベシ

第十一條 量水標ハ水害警防上必要ナル箇所ニ設ケ之ニ鮮明ナル目盛ヲ爲シ警戒水位ハ赤色線ヲ以テ表示スベシ

第十二條 水害警防材料藏置場又ハ量水標ヲ設置セムトスルトキハ其

〔京城例〕

ノ位置及構造ニ付道知事ノ認可ヲ受ケ工事竣功シタルトキハ其ノ検査ヲ受クベシ

第十三條 水防團規則(以下單ニ規則ト稱ス)第五條ノ設備ハ毎年四月末日迄ニ之ヲ爲シ警察署長ノ検査ヲ受クベシ

第十四條 水害警防器具材料及水害警防事務用品ニ不足ヲ生ジタルトキハ直ニ之ヲ補充スベシ

第三章 服務規律

第十五條 團長、副團長及部長旅行不在其ノ他ノ事故十日以上ニ互ル場合ニ於テハ其ノ旨警察署長ニ届出ヅベシ

第十六條 團員其ノ住所所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨警察署長ニ届出ヅベシ

第十七條 團員ハ警察署長ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ職務ニ關シ他人ノ附遺ヲ受クルコトヲ得ズ

第十八條 團員災害警防其ノ他職務ニ従事スル場合ニ於テハ別記様式ノ徽章ヲ左腕ニ附スベシ

第十九條 團員ハ上職ノ命令若ハ召集號アルトキ又ハ地域内ニ洪水ノ虞レアリト認ムルトキハ直ニ出動スベシ

前項ノ召集號ハ土地ノ狀況ニ依リ警察署長之ヲ定ム

第二十條 團長ハ出水中團員ヲシテ量水標ニ依リ水位ヲ觀測記録セシメ警戒水位ニ達シタルトキハ直ニ之ヲ警察署長ニ報告シ其ノ指揮ヲ承クベシ

警察署長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告スベシ

第二十一條 規則第六條ノ規定ニ依ル應急ノ措置ハ河川及其ノ附屬物

關係法規

ノ維持修繕ニ止ムベキモノトシ破壊作業等ヲ爲スベカラズ

第二十二條 團長ハ水位警戒水位以上ニ在ル間ハ團員ヲシテ絶エズ河岸ヲ巡回セシメ警戒勤務ヲ爲サシムベシ

第二十三條 規則第八條ノ規定ニ依ル演習ハ少クトモ一回ハ雨季前ニ之ヲ爲スベシ

第二十四條 規則第八條ノ規定ニ依ル演習ヲ爲サムトスルトキハ其ノ計畫ヲ樹テ豫メ警察署長ノ承認ヲ受クベシ

警察署長前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告スベシ

第二十五條 道知事又ハ警察署長必要アリト認ムルトキハ水防團ヲシテ水害警防ノ演習ヲ爲サシムルコトアルベシ

第二十六條 出動シタル團員ハ上職ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ職務ヲ離ルルコトヲ得ズ

第二十七條 出動シタル團員ハ警察署長ノ命アルニ非ザレバ解散スルコトヲ得ズ

警察署長團員ヲ解散セシメムトスルトキハ必ず點檢ヲ行フベシ

第二十八條 水防團出動シタルトキハ團長ハ速ニ出動シタル團員ノ數及死傷者ノ氏名並ニ水防團ノ設備ノ流失、損壞、消耗ノ狀況其ノ他必要ト認ムル事項ヲ警察署長ヲ經由シ府尹又ハ邑而長ニ通報スベシ

第四章 給與、表彰及懲戒

第二十九條 團員ノ給與ノ種類ハ左ノ如シ

一 出動手當

災害警防ノ爲出動シタル者ニ給ス

二 臨時出動手當

〔京城例〕

五九七

關係法規

災害警防以外臨時ニ出動シタル者ニ給ス

三 傷病手当

職務ノ爲負傷シ又ハ疾病ニ罹リ治療中ノ者ニ給ス

四 死亡手当

職務ノ爲死亡シタル者ノ遺族ニ給ス

前項ノ給與ノ支給ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第三十條 水防團又ハ團員災害警防其ノ他職業ニ關シ功勞アルトキハ

道知事之ヲ表彰スルコトアルベシ

第三十一條 團員職務ヲ怠リ其ノ他不都合ノ所爲アリタルトキハ團

長、副團長及部長ニ在リテハ道知事、班長及水防手ニ在リテハ警察

署長之ヲ懲戒ス懲戒ハ解職及譴責ノ二種トス

第五章 雜則

第三十二條 團長ハ毎年四月末日迄ニ水害警防ノ計畫ヲ樹テ道知事ノ

認可ヲ受クベシ

第三十三條 水防團ハ警察署長ノ認可ヲ受ケ水防團事務所ヲ設置スベ

シ

第三十四條 水防團事務所ニハ左ノ書類、簿冊ヲ備フベシ

一 團員名簿

二 水防團出動記録

三 水害警防器具材料及建物ノ一覽表

四 水害警防計畫書(水害警防要圖ヲ含ム)

五 金錢物品受拂簿

六 水害警防關係書類綴

第三十五條 水防團ノ地域ニ以上ノ府邑面ノ區域ニ互ル場合ノ費用ノ

負擔方法ハ關係府邑面ノ協議ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ協議調ハザルトキハ道知事之ヲ定ム

第三十六條 本令ニ依リ道知事ニ提出スル書類ハ警察署長ヲ、團員ノ

警察署長ニ提出スル書類ハ團長ヲ經由スベシ

第三十七條 水防ノ工法ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記様式徽章ハ省略)

水防團員手當支給規程

昭和十年七月三十一日

京畿道訓令第十二號

第一條 水防團規則施行細則第二十九條ノ手當ノ支給ハ本規程ノ定ム

ル所ニ依ル

第二條 出動手當ハ毎回一圓迄(團長、副團長ハ一圓五十錢迄)トス但

シ出動時間十二時間ヲ超ユルトキハ超過時間六時間毎ニ五十錢迄

(團長、副團長ハ七十五錢迄)ヲ加給スルコトヲ得

第三條 水害以外ノ災害ノ警防ノ爲出動シタルトキハ毎回五十錢迄

(團長、副團長ハ七十五錢迄)ノ出動手當ヲ給ス但シ出動時間三時間

ヲ超ユルトキハ超過時間三時間毎ニ五十錢迄(團長、副團長ハ七十

五錢迄)ヲ加給スルコトヲ得

第四條 臨時出動手當ハ毎回一圓迄(團長、副團長ハ一圓五十錢迄)トス

(京城例)

第五條

傷病手当ハ治療費ノ實費額以內ニ於テ之ヲ定ムベシ但シ負傷

又ハ疾病ニ因リ業務ニ就クコト能ハザル場合ニ於テハ休業日數一日

ニ付水防手ニ在リテハ一圓迄ヲ、其ノ他ノ團員ニ在リテハ一圓五十

錢迄ヲ加給スルコトヲ得

第六條 死亡手当ハ二百圓以內ニ於テ之ヲ定ムベシ但シ事情ニヨリ三

百圓迄ヲ支給スルコトヲ得

第七條 水防團員職務行爲ニ因リ負傷又ハ死亡シタル場合ニ於テ他ノ

法令ニ依リ手当ヲ受クルモノナルトキハ本規程ニヨル手当ハ之ヲ支

給セザルモノトス

●國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ノ件

大正五年三月三十一日

勅令第五十七號

國庫出納金端數計算法ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附則

本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公共團體ノ收入及支拂ニ關シ 國庫出納金端數計算法準用ノ件

大正五年八月二十三日

勅令第二百九號

改正 大正九年九月勅令四三六號 一一年三月五五號 一三年一二

關係法規

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其

關係法規

ノ端數ハ之ヲ切捨ツ其ノ全額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス

第二條 國稅ノ課稅標準額ノ算定ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

命令ヲ以テ指定スル國稅ノ課稅標準額ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第三條 分割シテ收入シ又ハ仕拂フ金額ニ在リテハ其ノ總額ニ付第一條ノ規定ヲ準用ス

第四條 分割シテ收入又ハ仕拂フ爲ス場合ニ於テ分割金額一錢未滿ナルトキ又ハ之ニ一錢未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ分割金額又ハ端數ハ最初ノ收入金又ハ仕拂金ニ合算ス但シ地租ノ分納額ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 賣藥印紙及郵便切手ヲ以テ納ムル郵便料金ニ付テハ本法ヲ適用セズ

法律ニ別段ノ定アルモノノ外本法ヲ適用セザルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 本法ハ北海道、府縣、郡、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ收入及仕拂ニ關シテハ之ヲ準用ス

附則

第七條 本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條 明治四十年法律第三十一號ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前納メノ告知ヲ爲シ又ハ仕拂ノ命令ヲ發シタルモノニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

府、邑、面、學校費及學校組合ノ豫算決算關係樣式及豫算調製ニ關スル心得ノ件(拔萃)

昭和八年二月十六日 朝鮮總督府訓令第四號

府、邑、面、學校費及學校組合ノ豫算決算關係樣式及豫算調製ニ關スル心得左ノ通定ム

大正六年朝鮮總督府訓令第二十七號(面ノ歳入出豫算決算並ニ財務ニ關スル簿書樣式)及大正十年朝鮮總督府訓令第一號(學校費ノ歳入出豫算及決算樣式ノ件)ハ之ヲ廢止ス

一 豫算決算關係樣式

- 府歳入出豫算樣式 第一號樣式
- 府特別經濟歳入出豫算樣式 第二號樣式
- 邑(面)歳入出豫算樣式 第三號樣式
- 學校費歳入出豫算樣式 第四號樣式
- 學校組合歳入出豫算樣式 第五號樣式
- 歳入追加(更正、追加更正)豫算樣式 第六號樣式
- 繼續費年期及支出方法樣式 第七號樣式
- 歳入出決算樣式 第八號樣式
- 繼續費收支決算樣式 第九號樣式
- 豫算案付議樣式 第十號樣式

〔京城例〕

豫算案諮問樣式

豫算告示樣式 第十一號樣式

決算報告樣式 第十二號樣式

學校組合決算認定樣式 第十三號樣式

決算告示樣式 第十四號樣式

財產表(財産明細表)樣式 第十五號樣式

豫算調製ニ關スル心得 第十六號樣式

イ 團體ノ經營ニ係ル營造物ヲ其ノ團體ガ使用スル場合ニ於ケル使用料ハ其ノ經營ガ特別會計ニ屬スルト否トヲ問ハズ歳入出共之ヲ豫算ニ計上スベシ(水道使用料、電氣使用料、火葬場使用料等ノ如シ)

ロ 豫算額ハ四位ニ止ムベシ種目ノ金額ニ付亦同ジ附記金額ノ合計ニ端數アルトキハ歳入ハ之ヲ切捨テ歳出ハ之ヲ切上ゲ種目ノ金額ト爲スベシ

ハ 内譯欄ニハ項ノ内譯ヲ掲記シ説明欄ニハ算出ノ根據(數量及單價等)ヲ記載スベシ其ノ詳記ヲ要スルモノハ別紙ニ記載添附スベシ

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

ニ 前年度豫算額欄ニハ前年度當初豫算額ヲ掲記スベシ其ノ本年度ニ計上ナキ廢除科目及廢除種目ニ付テハ本年度分ノ次ニ掲記シ番號ハ之ヲ冠記スベカラズ(款ノ廢除ニ付テハ歳入又ハ歳出ノ經常部又ハ臨時部ノ末尾ニ款ノ名稱及其ノ金額ヲ、項ノ廢除ニ付テハ其ノ款ノ末尾ニ項ノ名稱及其ノ金額ヲ、種目ノ廢除ニ付テハ項ノ末尾ニ種目ノ名稱及其ノ金額ヲ掲記スベシ)

關係法規

ホ 俸給及雜給ハ營造物又ハ工事現場等ニ常時勤務スル者ハ當該費目ニ計上シ其ノ他ノ者ハ事務費ニ統一計上スベシ

補助金、指定寄附金等ノ特定財源ヲ以テ充當スル費目ヲ區分シ得ルモノニ付テハ其ノ附記欄末尾ニ×印ヲ附シ當該金額ヲ附記スベシ

豫算ニハ説明書ヲ添附スベシ説明書ハ各項毎ニ前年度ニ比シ増減ノ理由ヲ記載スベシ新規計上ニ係ルモノハ其ノ計上ヲ要スル理由(事業ニ付テハ其ノ計畫)ヲ記載スベシ

豫算ノ總括的説明ヲ要スルトキハ之ヲ説明書ノ劈頭ニ記載スベシ

チ 臨時事業ニ伴フ不用品賣却代金ノ類ハ歳入ニ臨時部ヲ設クルトキハ之ヲ臨時部ニ計上スベシ

リ 繼續費ノ各年度支出ノ殘額ハ之ヲ繰越金中ニ計上スベカラズ

ニ 繼續費本年度支出額欄ノ附記ニハ其ノ年度分ノ年割額ニ對スル算出ノ根據(數量單價等)ヲ記載スベシ

ル 特別會計ニ屬スル豫算ハ一般會計豫算ノ樣式ニ準ジ之ヲ調製スベシ

特別會計豫算ニハ其ノ表題ヲ左ノ如ク記載スベシ

昭和何年度何府(何々)何費特別會計歳入出豫算

オ (略)













臨時部計	歲入合計
------	------

歲出  
經常部

科	款	項目	豫算額 円	種目	豫算額 円	前年度 豫算額 円		附	明記
						比	較		
一	神社費	一		一 神饌幣帛料				○神饌料 祈年祭	何程
								○祈年祭 例祭	何程
								○幣帛料 祈年祭	何程
								○祈年祭 例祭	何程
二	會議費	一 費用辨償		二 雜費				○備品費 ○消耗品費 ○圖書印刷費	何程 何程 何程
		二 雜給						○雜費	何程
								延何日 日額 何程	何程

〔京城例〕

三 事務費	一 俸給	二 雜給	三 需用費	一 速記者手當 二 何々	何日 一日 何程
					○巡視給 ○給仕給 ○小使給 ○電話交換手給 ○自動車運轉手給 ○臨時備人料 延何人 日額 何程
					何人 一人月額 何程
					○何 ○何 一人年額 何程 ○何 一人月額 何程 前例ニ準ズ
					○備品費 ○消耗品費 ○圖書印刷費 何々 何程

〔京城例〕

























三職業紹介所費		住宅費							
二雜	一俸	三雜	二修繕費	一雜	五雜費	四修繕費	三通信運搬費	四被服費	一何々
給	給	費	費	給	費	費	費	費	
		一借地料	一何修繕費	一手當					
一雇員給									
○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々

〔京城例〕

三日用品(何々)市場費									
一俸	四雜費	三修繕費	二需用費	一備品費	二備人料	三旅費	四宿舍料	五慰勞金	六賄料
給	費	費	費	費	料	費	料	金	料
		一何修繕費		一備品費					
	一何々			二消耗品費					
				三圖書印刷費					
				四通信運搬費					
				五被服費					
○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々

〔京城例〕





三警備費		一雜給	二產業調查費	三何々	一何々	一何々
一備人料	二慰勞金	三消防組手當	四出場手當	五演習手當	六臨時召集手當	七治療手當
○常備消防手給日額 何人何給何程	○機關手給何々 何々何々何程	○組頭何人何額何程 ○副頭何人何額何程 ○小頭何人何額何程 ○消防何人何額何程	○延何回何人何回何程	○何々	○何々	○何々
何程	何程	何程	何程	何程	何程	何程

〔京城例〕

三基本財産造成費		一基本財産造成	二需用費	四雜費	三修繕費	二器具機械費	一器具機械費	八甲祭料
一表彰費	二何々	一何修繕費	一何修繕費	一何修繕費	二消耗品費	三圖書印刷費	四通信運搬費	五何々
○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々	○何々
何程	何程	何程	何程	何程	何程	何程	何程	何程

〔京城例〕

何程何程

○預金利息何程  
 ○證券利息何程  
 ○附金何程  
 ○歲計剩餘金何程  
 ○備人料看手給何程









六財產賣却代	五繰入金	四過年度收入		三寄附金		二道補助金	
		一何稅	二使用料及手數料	一指定寄附	二一般寄附	一何學校補助	二何々
一土地賣却代	一何積立金繰入	三何々					
			一使用料				
			二手數料				
				一何指定寄附			
					○何々		

〔京城例〕

科	款	項	目	預算額	種	目	預算額	前年度		附	明
								預算額	比		
一 小學校(幼稚園)費	一 俸給									○校長給 ○調導何人 ○保姆給 何々	一人月額 何程 何程 何程
七 府債	一 何債									何々	
臨時部計											
歲入合計											

〔京城例〕



三需用費		四修繕費		五雜費	
二備人料	○何々	一何修繕費	○何々	一式日運動會費	○何々
三旅費宿舍料	○何々	二消耗品費	○何々	二生徒獎勵費	○何々
四宿舍料	○何々	三圖書印刷費	○何々		
五慰勞金	○何々	四通信運搬費	○何々		
六賄料	○何々	五被服費	○何々		
七諸給與	○何々				

〔京城例〕

三學校衛生費		二需用費		一基本財產造成		四基本財產造成	
一雜給	○何々	一校醫給	何人 一人月額 何程	一蓄積金	○預金 利子	○證券 利子	○寄附 金
二何々	○何々	二藥品衛生材料費	○何々		○歲計 剩餘金	○何々	○何々
三慰勞金	○何々	三圖書印刷費	○何々				
四雜費	○何々	四被服費	○何々				

〔京城例〕

何程 何程 何程











關係法規

備考

- 一 豫備費ハ決算額欄ニ掲記スベカラズ
- 二 府ニ於テ豫算外ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ支出シタルトキハ豫算科目ニ準ジ整理科目ヲ設ケ其ノ費目ニ該當スル款アルトキハ其ノ款ノ末尾ニ之ヲ掲記シテ其ノ金額ハ款ノ決算額ニ合算シ該當ノ款ナキトキハ臨時部末尾ニ之ヲ掲記シ其ノ金額ハ臨時部決算額ニ合算スベシ
- 三 豫算外支出ノ費目ニハ其ノ冠頭ニ科目順位數ヲ掲記スベカラズ
- 三 繼續費ノ終了年度ノ決算ニハ第九號書式ニ依ル繼續費ノ決算ヲ添附スベシ

(第九號書式)

甲號

繼續費何費收支決算

收入

科	款	項目	種目	豫算額	決算額	比	附記
計							
支出							
科	款	項目	種目	豫算額	決算額	比	附記
				円	円	増	
				円	円	減	
計							
合							

〔京城例〕

備考

- 一 本表ハ繼續費ノ繼續年期中ノモノニ付之ヲ調製シ決算ニ添附スベシ
- 二 科目、種目及豫算金額ハ繼續費收支計算表ノ合計ヲ記載スベシ
- 三 特定ノ收入ナキ場合ハ「繼續費何費支出決算」トシテ收入ノ部ハ掲記スルヲ要セズ
- 四 支出ノ遞次繰越額及使用額ハ豫算額及決算額ノ左側ニ朱書スベシ

乙號

收入

自昭和何年度 何府(何々)繼續費收支決算表

科	款	項目	種目	昭和何年度	昭和何年度	昭和何年度	計	比	附記
計									
支出									
科	款	項目	種目	昭和何年度	昭和何年度	昭和何年度	計	比	附記
				円	円	円	計	増	
				円	円	円	計	減	
計									
合									

關係法規

〔京城例〕



歲入(歲出)合計  
歲入出殘金何圓

金何圓  
翌年度へ繰越

(第十六號様式)

府有(何々)財產表 (昭和何年何月何日現在)

種類	公 用															
	傳染病院		公 園		道路敷地		自動車倉庫		何倉庫		何出張所		何事務所		廳舍	
摘要	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地
區分																
數量																
價額																
備考																

共 公 及

圖書館		職業紹介所		水道工場		何市場		共同便所		屠場		火葬場		墓地	
建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	雜種地	建物	墓地

〔京城例〕

財 用																						
配水線		送水線		揚水裝置		棧橋		船舶		井戶		水源地		住宅		防常詰備所消		運動場		公會堂		
建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	

部 之

合計			何々		電車電路線		軌道		電車		需用者物構		變壓裝置		配電線		送電線		氣罐		汽機		配電盤		發電機		量水器		何唧筒	
諸般備	建物	土地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地	建物	空地		

〔京城例〕









### ●債券發行ノ方法ニ依ル府起積ノ件

昭和九年五月  
官通牒

首題ノ件ニ關シテハ昭和八年十月二十日附及昭和九年三月三十日附ヲ以テ通牒シ置キタル處左記事項留意セシメラレ度

記

- 一 各經濟毎ニ少額宛ノ公債ヲ發行セントスル向アルモ發行額少額ナルトキハ引受困難ナル場合アルノミナラズ發行費用嵩ミ利廻高率ト爲リ採算上却テ不利ナル場合アルニ付各經濟ノ起債ヲ取纏メ一件ノ公債ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合左ノ如ク處理スルコト
- (1) 發行費用、償還費用及雜費ハ發行額ニ應ジ各經濟ニ於テ分擔スルコト
- (2) 每期ノ償還額ハ各經濟毎ニ區分シ得ル様考慮スルコト
- (3) 債券ハ其ノ番號ニ依リ經濟ノ歸屬ヲ明ナラシムル様印刷ノ際考慮スルコト

- (4) 公債條例ハ各經濟毎ニ設定スルコト
- (5) 各經濟毎ニ府會又ハ教育部會ノ議決ヲ經ルコト
- 二 單ニ發行利率ノミヲ以テ計算シ公債ノ利廻ヲ顧慮セザル爲償還利廻ニ比シ却テ低率ナル舊債ヲモ借替ヘントスル向アルニ依リ第七號表ニ示ス方法ニ依リ償還利廻ヲ計算シ其ノ得失ヲ比較ノ上發行額ヲ定ムルコト
- 三 債券發行ノ方法ニ依ル起債ノ議決書ハ第一號表及第二號表ニ依ルコト各經濟ノ公債ヲ取纏メ發行スル場合ハ第二號表ニ準ジ各經濟毎ノ分ノ總括表ヲ申請書ニ添付スベシ
- 四 第一號表乃至第六號表ハ各經濟毎ニ調製スベシ償還利廻ハ各經濟毎ニ算出シ更ニ總括シタルモノニ付テモ算出スベシ
- 五 新債ニ付テハ大正三年官通牒第九號及大正五年官通牒第八十八號ニ基キ書類ヲ添付スベシ

第一號表

府會議決書

- 一 起債金額 何程以内額面百圓ニ付何程
- 一 起債目的 何々充當(舊債償還)ノ爲
- 一 利率 年何程以内
- 一 償還利廻 年何程
- 一 債券發行 昭和 年 月 日
- 一 豫定年月日 何銀行(何證券株式會社)
- 一 引受手數料 額面百圓ニ付何程
- 一 償還手數料 元金償還額ノ千分ノ一 利子支拂額ノ千分

〔京城例一〕

〔京城例二〕

一 据置期間

昭和 年度(何 年 月 日迄)

償還期間及方法

自昭和 年度至昭和 年度 年間年

二 同定額償還ヲ爲スモノトス但シ府財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ又ハ償還期間ヲ短縮スルコトヲ得

据置期間中ハ何月及何月ニ前六月分ノ利子ノミヲ支拂フ六月ニ滿チザル期間ノ利子ハ日割ヲ以テ計算ス

一 償還財源

何々々

備考

- 一 本表ニハ第二號表ノ償還豫定年次表ヲ添付スベシ
- 二 發行條件確定セザルモノニ付テハ利率又ハ手數料ニ付テハ其ノ限度、引受先ニ付テハ單ニ銀行、會社又ハ個人ト記載シ置クモ妨ゲナシ

第二號表

何府第 回公債償還豫定年次表

年	度	九	月	三	月	計

關係法規

備考

一 公債條例ニ定ムル每期ノ元金償還額ヲ掲記スベシ (第三號様式)

何府第 回公債(一般經濟)發行調書

一 公債發行額

內 譯

一 舊債借替額

內 簡保資金分

一 何銀行分

一 新債

內 何工事費充當債

一 何費充當債

一 公債引受手數料(額面一〇〇)

一 舊債期限前償還手數料

內 第 回公債元金 圓ノ千分ノ一

一 簡保資金分 圓ノ千分ノ二

一 何銀行分 圓ノ千分ノ五

一 證券印刷費、公告費其ノ他雜費

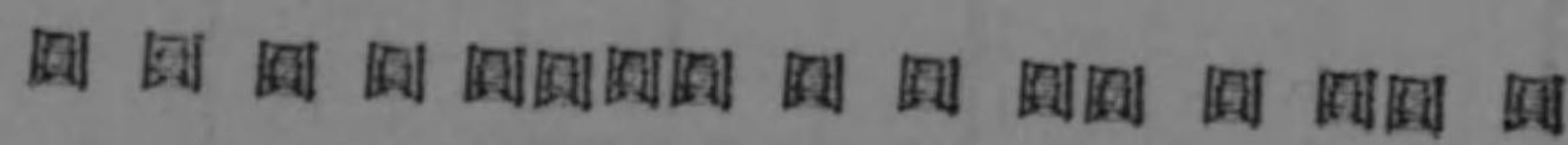
合 計

內 一般經費支辨

差引公債發行額

備考 一 舊債借替額ハ第六號表ノ計ヲ記載スベシ

二 一般經費支辨額ニ付テハ其ノ財源ヲ別ニ説明スベシ



關係法規

第四號表

何府第	同公債(一般經濟)償還豫定表
發行額	
利率	
償還期間	

年度	債券發行後ノ要支拂額		償還手數料 元金千分ノ一 利子千分ノ二	合計	財源	財源過不足	未償還 元金
	元金	利子					
計							

備考

- 一 償還財源欄ニハ第五號表ノ計ト新償還財源トノ合計額ヲ記載スベシ
- 二 元利償還額欄中元金ハ第二號表ノ通掲記スベシ

第五號表

何府一般經濟借替ヲ要スル舊債償還豫定表

年度	何府		計	何府		計	何府		計
	元金	利子		元金	利子		元金	利子	
計									

〔京城例〕

備考

- 一 第六號表ニ掲ゲタル舊債ノ償還年次表ヲ集計スベシ
- 二 新債ニ付テモ本表ニ準ジ調製スベシ其ノ償還財源ニ付テハ別ニ詳細説明スベシ

第六號表

何府一般經濟借替ヲ要スル舊債表

種別	目的借入額	昭和		昭和	昭和	以上	未償還引	利率	償還終期	借入先
		月現在	月現在							
計										

〔京城例三〕

第七號表

公債償還利廻計算方法

支拂利子總額+引受手數料+價格較差+發行費用+償還費用總額  
 發行額-(引受手數料+發行費用+價格較差+繰上償還費用)=依ル運轉積數=償還利廻

備考

- 一 支拂利子總額トハ償還期間中ニ支拂フベキ利子ノ總額ニシテ据置利子ヲ含ム(第四號表参照)
- 二 發行費用トハ證券印刷費、募集公告費其ノ他ノ雜費ノ合計額ヲ謂フ(第一號表及第三號表参照)
- 三 價格較差トハ額面ヲ割引シテ公債ヲ發行スル場合ニ於ケル額面額ト手取額トノ差額ヲ謂フ
- 四 償還費用トハ元金償還手數料、利子支拂手數料、償還公告費及舊債繰上償還手數料ノ合計額ヲ謂フ(第三號表及第四號表参照)
- 五 運轉積數ノ計算方法左ノ如シ

關係法規